

第 1 回 向日市民温水プールあり方検討会議 次第

日時：令和 5 年 7 月 1 1 日（火）

午後 3 時 3 0 分～

場所：向日市役所本館第 7 会議室

1 開 会

2 委員の紹介

3 議 事

（1）会長の選任

（2）副会長の選任

（3）会議の公開について

（4）市民温水プールの概要と向日市の現状について

（5）市民温水プールに対する考えについて

（6）その他

4 閉 会

市民温水プールあり方検討会議 委員名簿

	氏名	所属等
1	松永 敬子	龍谷大学 経営学部 教授 (スポーツサイエンスコース)
2	木村 作彦	鶏冠井区長
3	藤田 太美雄	上植野町自治連合会長
4	大川 猛	向日市商工会 副会長
5	梅田 一美	向日市スポーツ推進委員 副会長
6	高橋 登	向日市スポーツ文化協会 次長 兼 市民体育館館長
7	黒木 美幸	市民公募委員
8	近藤 容子	市民公募委員
9	長谷川 みゆき	市民公募委員
10	山本 哲也	市民公募委員

(順不同・敬称略)

向日市民温水プール あり方検討会議

第1回（令和5年7月11日）

1 市民温水プールの概要について

市民温水プールの概要①（設置目的等）

施設名称

向日市民温水プール

設置年月

平成7年1月（1995年1月）

設置目的

市民の健康づくりと体力向上を図り、
市民のふれあいを高めることを目的とする



主な設備

25m×8レーン（温水プール）

幼児用プール（温水プール）

キャノピー（自動開閉式窓）

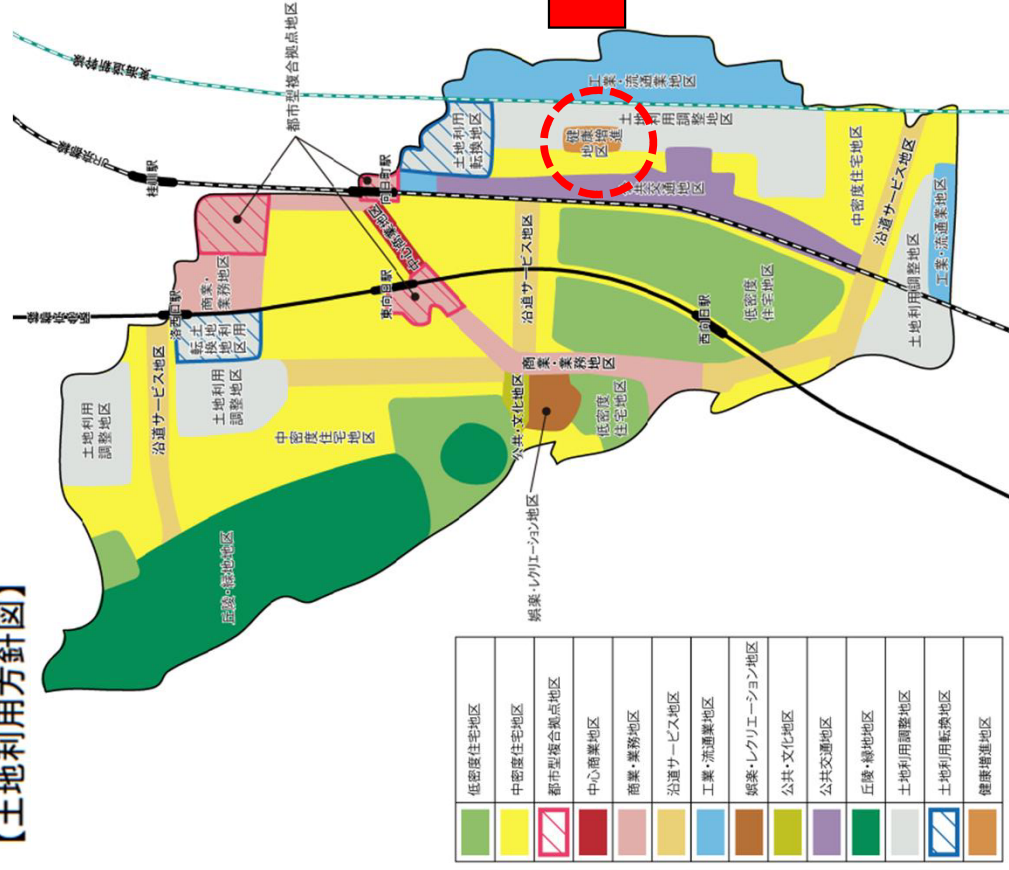
採暖室、更衣室、会議室

ギャラリー（観覧室）



市民温水プールの概要②（位置付け）

【土地利用方針図】

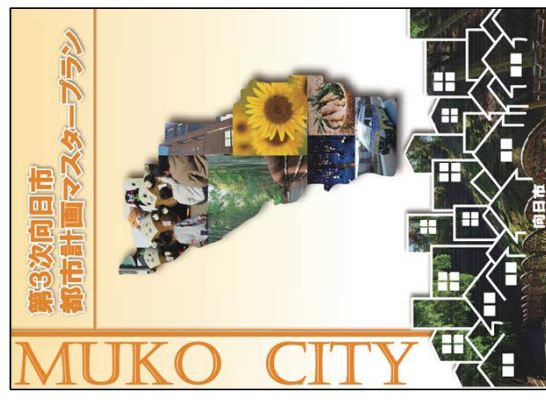


第3次向日市都市計画マスタープラン

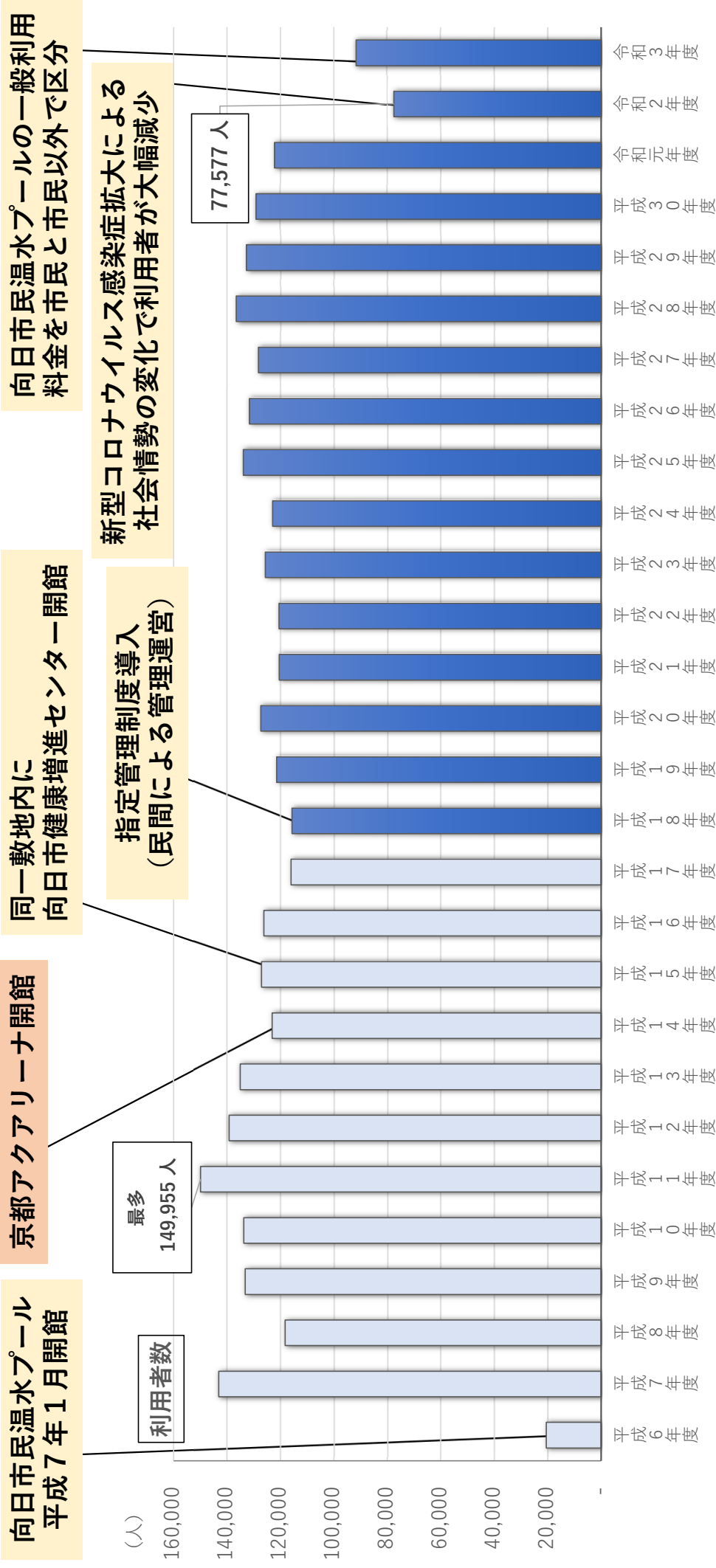
計画期間：令和2年3月（2021年）～令和12年3月（2030年）

健康増進地区

市民体育館、市民温水プール、市民ふれあい広場周辺を市民が気軽に健康づくりに楽しめる**健康増進地区**に位置付けています。



市民温水プールの概要③（利用者数の推移）



※プールの利用のみ

施設の老朽化について

■既存施設で運営継続するには、大規模な修繕が必要

- ・開館から25年以上が経過し、機械設備等の老朽化が顕著
- ・改修費用（機械設備の更新含む）だけで、概算で少なくとも10億円以上が必要と見込まれる

■既存施設の機械設備を更新する場合

- ・施設規模が大きいため、設置すべき機械設備も大型なものが必要で費用も高額となる
- ・耐用年数の関係で一定期間が経過すれば再度更新が必要となるが、その際も大型な設備の購入が必要となる



チラーユニット



濾過機

修繕箇所	概算費用	修繕箇所	概算費用
内装及び屋根修繕工事等	3億2,600万円	濾過機	4,400万円
プール本体	1億9,800万円	空調修繕	4,200万円
天井修繕	1億6,300万円	防災設備	1,700万円
可動式屋根	9,800万円	中央監視装置	1,700万円
チラーユニット	8,800万円	変電設備	1,300万円

※上記以外にも、修繕箇所あり

サウニング型市場調査

■調査概要

実施時期：令和3年5月～7月（2021年5月～7月）

内容：「向日市民温水プール及び向日市健康増進センターの今後の活用方法や管理運営のあり方」について、民間事業者の意見を求める

■主な意見

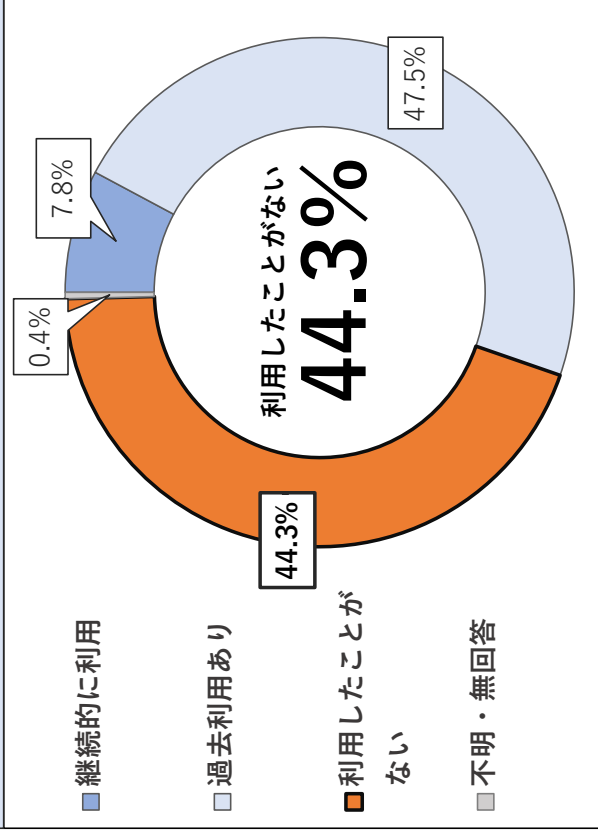
- 1 民間と比較し、施設規模が大きく維持管理費が高い
- 2 長期的な維持管理費を考慮すると改修よりも建て替えが安い
- 3 施設規模が過大であるため、ダウンサイジングすべき
- 4 学校の水泳授業を集約し、学校プールの維持管理費を削減
- 5 会費の値上げなど一定の受益者負担が必要

市民温水プールに関するアンケート調査①

■調査結果

実施時期 令和4年6月（2022年6月）
対象 18歳以上の向日市民 5,000人（無作為抽出）
有効回答数 1,853件（37.1%）

問1：利用状況について



年齢層	継続利用	過去利用あり	利用なし	不明・無回答	回答合計
20歳未満	6.5%	67.7%	25.8%	0%	31件
20～29歳	9.8%	50.0%	40.2%	0%	102件
30～39歳	10.1%	41.2%	48.7%	0%	199件
40～49歳	13.1%	50.9%	35.6%	0.3%	320件
50～59歳	5.2%	59.6%	34.9%	0.3%	344件
60～69歳	5.9%	47.5%	46.2%	0.3%	305件
70～79歳	7.6%	39.6%	52.8%	0%	407件
80歳以上	2.8%	35.9%	58.5%	2.8%	142件
不明・無回答	0%	33.3%	66.7%	0%	3件
全体	7.8%	47.5%	44.3%	0.4%	1,853件

参考：利用状況の実態（都度利用）

■市民と市民以外の利用割合

令和3年6月～令和4年3月

向日市民温水プール・一般利用の状況



市外からも集客できているが、

市民の利用割合向上が課題

【向日市民温水プールの利用料金】

料金種別	市民	市民以外
一般（1.5時間以下）	350円	360円
一般（1.5時間以上）	600円	610円

【近隣プール施設の利用料金】

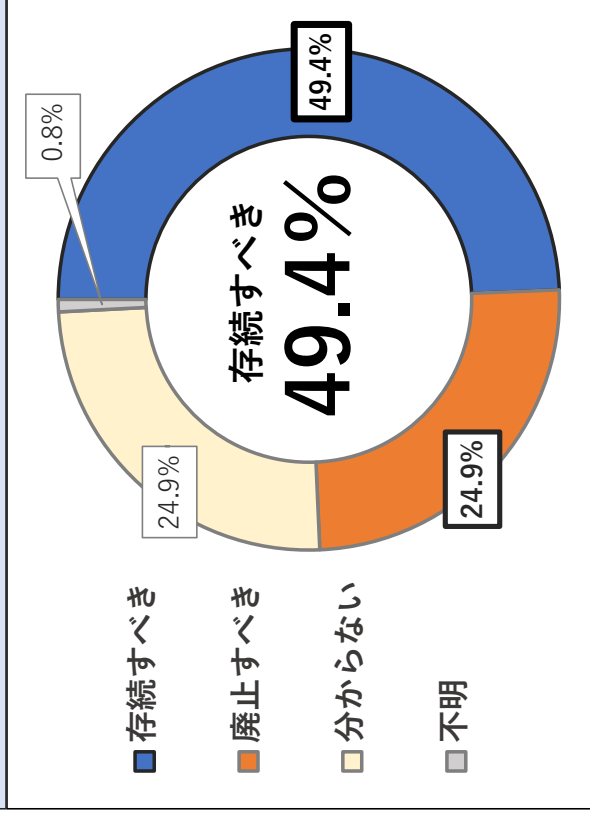
施設名	所在地	利用料金 (一般)
京都アクアリーナ	京都市 右京区	1回 830円
京都府立 伏見港公園プール	京都市 伏見区	3時間 600円
		2時間 400円
		1時間 200円

市民温水プールに関するアンケート調査②

■市民温水プールの存続・廃止について

- ・約半数の方が「存続すべき」、約4分の1の方が「廃止すべき」と回答
- ・20歳～59歳までの方は、半数以上が「存続すべき」と回答

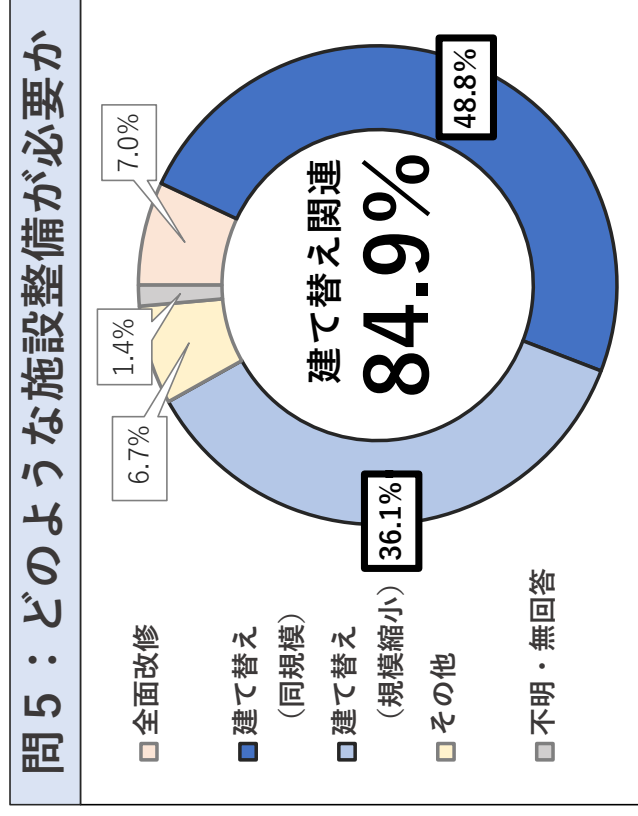
問2：プールの存続・廃止について



年齢層	存続	廃止	わからない	不明・無回答	回答合計
20歳未満	45.2%	19.4%	35.5%	0%	31件
20～29歳	52.9%	21.6%	25.5%	0%	102件
30～39歳	57.8%	19.6%	22.6%	0%	199件
40～49歳	56.9%	22.8%	19.4%	0.9%	320件
50～59歳	51.7%	24.1%	24.1%	0%	344件
60～69歳	48.9%	25.2%	25.2%	0.7%	305件
70～79歳	40.8%	27.0%	30.7%	1.5%	407件
80歳以上	39.4%	35.9%	21.8%	2.8%	142件
不明・無回答	33.3%	0%	66.7%	0%	3件
全体	49.4%	24.9%	24.9%	0.8%	1,853件

市民温水プールに関するアンケート調査③

■「存続すべき」と回答した方への質問



問 1		問 5					
		継続利用	全面改修	同規模 建て替え	規模縮小 建て替え	その他	不明・ 無回答
問 1	継続利用		8.8%	56.6%	29.4%	5.1%	0%
	過去に 利用あり		7.5%	49.4%	34.6%	6.5%	2.0%
	利用なし		4.5%	43.0%	43.4%	8.1%	0.9%
	不明・ 無回答		0%	0%	0%	100%	0%
全体			64件	447件	330件	61件	13件
							915件

【結果】

- ・ 既存施設を全面改修 (およそ20億円) ⇒ 7.0%
- ・ 同規模程度で建て替え (およそ10億円) ⇒ 48.8%
- ・ 規模縮小で建て替え (およそ5億円) ⇒ 36.1%

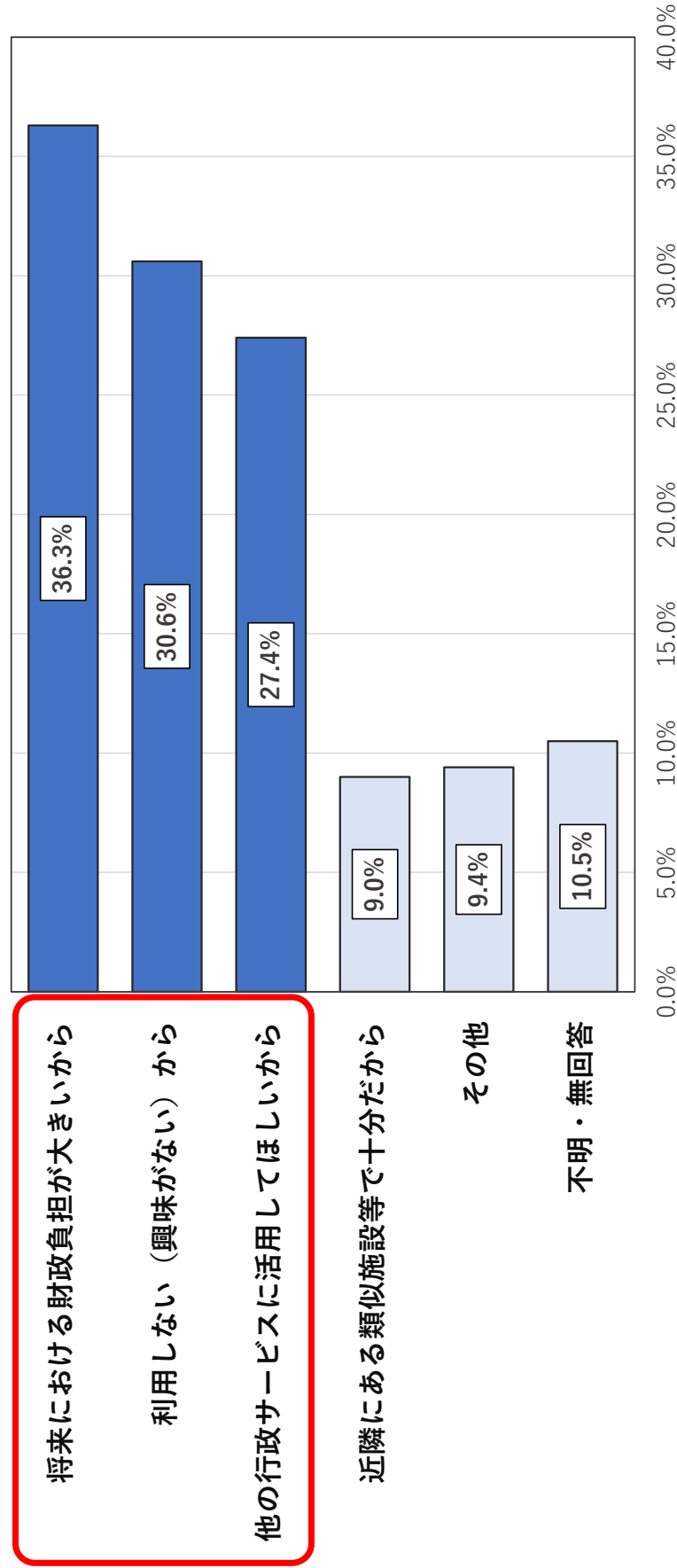
84.9%

多くの方が「建て替え」が必要と回答

市民温水プールに関するアンケート調査④

■廃止すべきと回答した方への質問

廃止すべき主な理由について



2 向日市の現状について

向日市の現状①（人口減少及び高齢化）

■第2次ふるさと向日市創生計画（令和4年度改定版）抜粋

【基本フレーム（人口、土地利用）】

本計画を推進していく上で基本となる将来の人口推計と土地利用構想を、次のように設定します。



※2010～2015年の自然動態及び社会移動を基に2024年以降を推計(住民基本台帳人口ベース)(合計特殊出生率については、率増加傾向を考慮し2024年までは2013～2017年平均1.45とし、その後2010～2014年平均1.33が続くものとする。)

■人口推計

令和4年(2022年)：56,889人

(住民基本台帳 10月1日時点)



令和31年(2049年)：44,023人

(第2次ふるさと向日市創生計画から抜粋)

■65歳以上の人口比率

令和4年(2022年)：26.9%

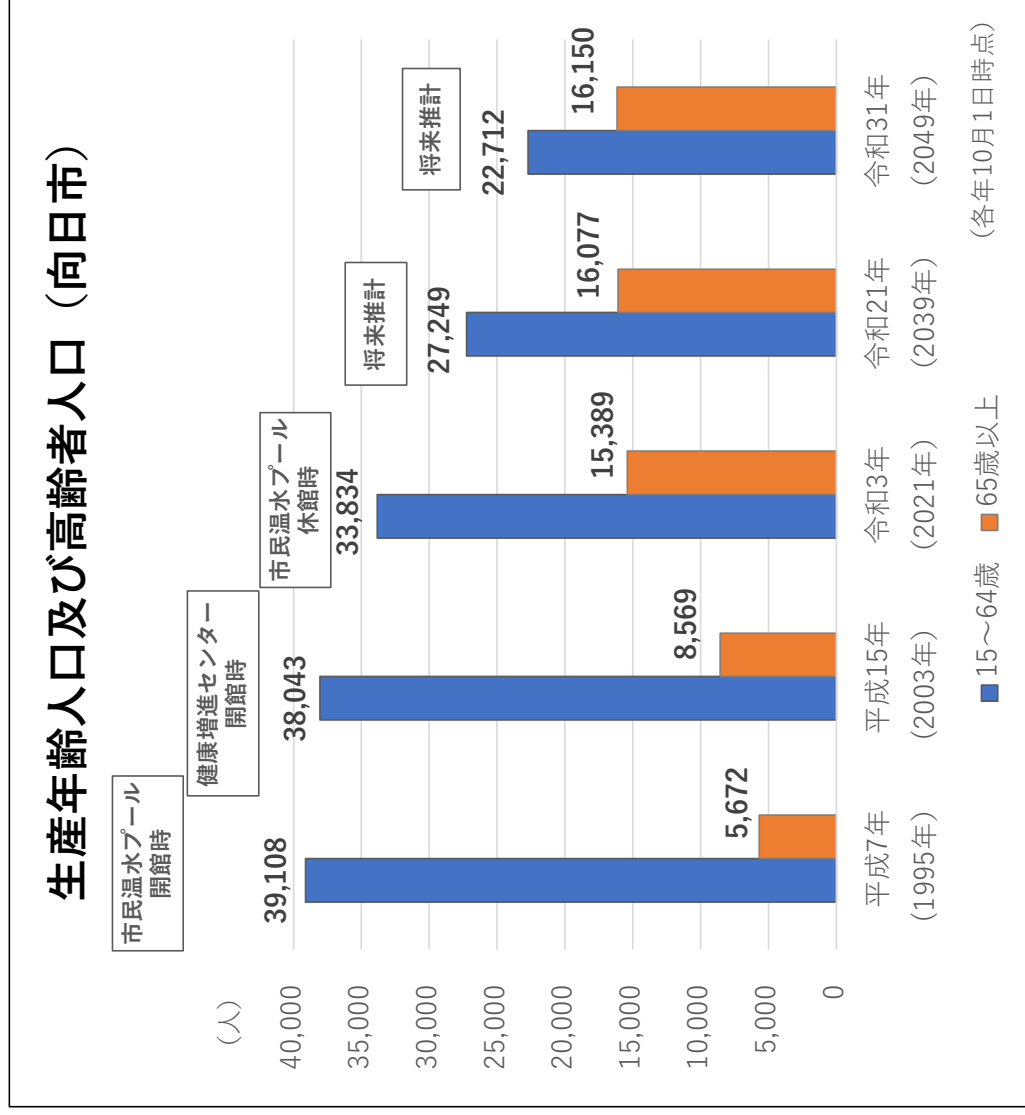
(住民基本台帳 10月1日時点)



令和31年(2049年)：36.7%

(第2次ふるさと向日市創生計画から抜粋)

向日市の現状②（高齢者を支える割合）



■平成7年（1995年）
市民温水プール開館当時

高齢者人口	5,672人	1人
生産年齢人口	39,108人	約6.9人

■令和3年（2021年）
市民温水プール休館時

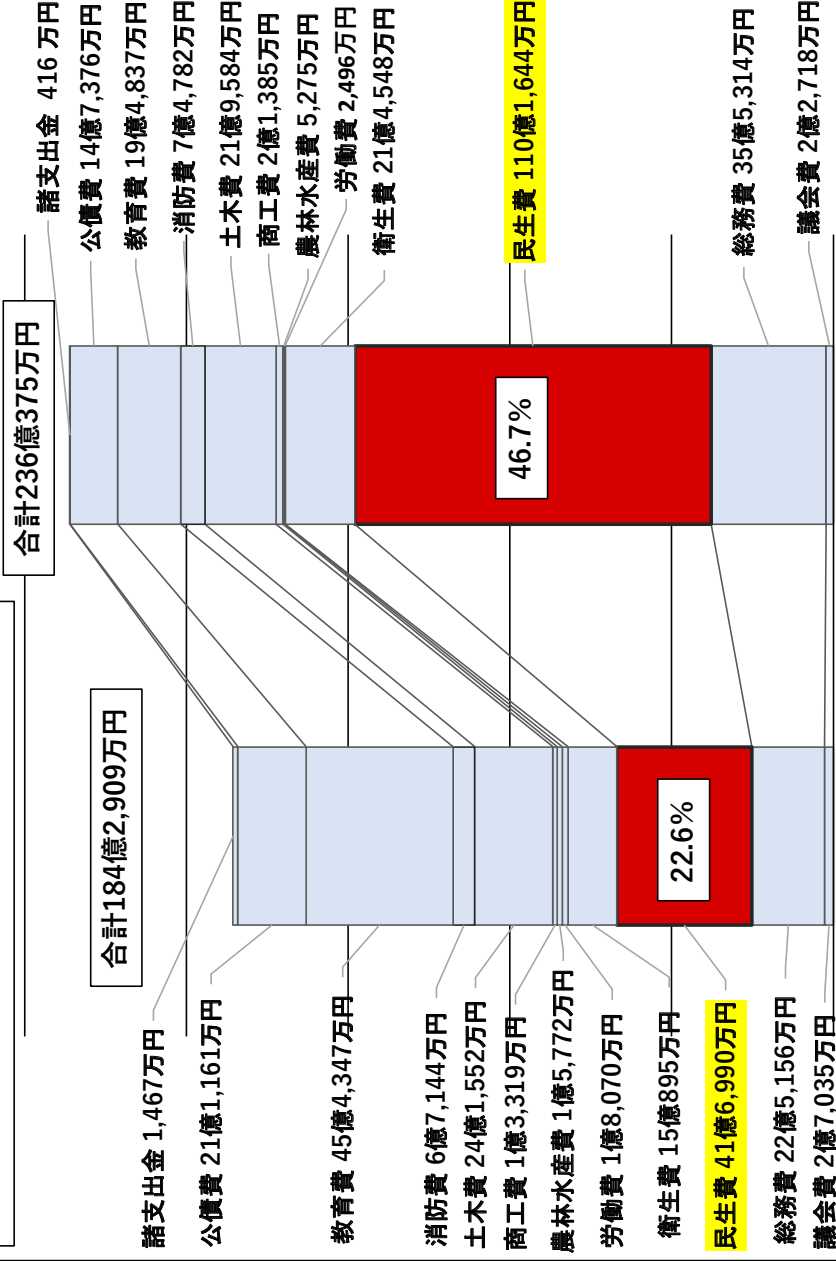
高齢者人口	15,389人	1人
生産年齢人口	33,834人	約2.2人

■令和31年（2049年）
将来推計

高齢者人口	16,150人	1人
生産年齢人口	22,712人	約1.4人

向日市の現状③（財政状況：開館当時との比較）

一般会計 決算状況比較



■ 民生費

高齢者福祉や児童福祉など
社会保障費を含む経費

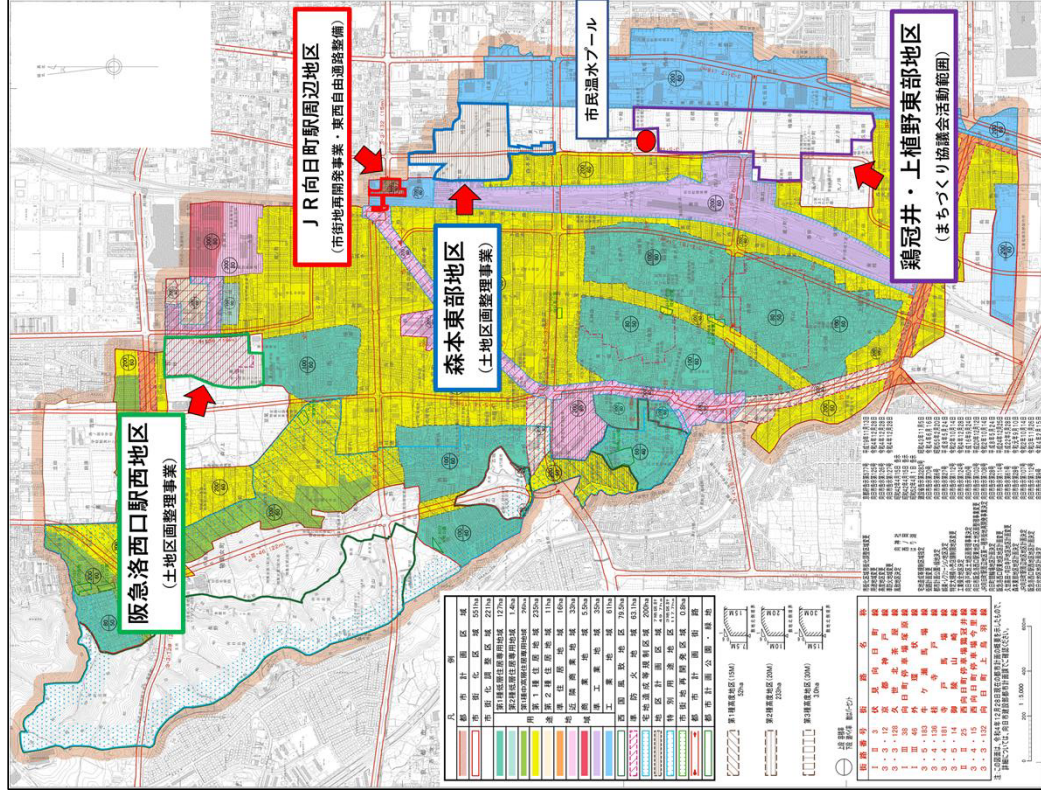
平成 6 年度決算：民生費 41億6,990万円
(1994年度)
(構成比 22.6%)



令和 3 年度決算：民生費 110億1,644万円
(2021年度)
(構成比 46.7%)

構成比が
大幅に上昇

進行中の土地区画整理事業等について



■土地区画整理事業

事業名称	事業期間
向日市森本東部地区 土地区画整理事業	令和元年11月～令和7年3月 (2018年11月～2025年3月)
向日市阪急洛西口駅西地区 土地区画整理事業	令和4年6月～令和9年3月 (2022年6月～2027年3月)

■JR向日町駅東口開設推進事業

事業名称	事業期間
自由通路整備事業	令和4年2月～令和10年3月 (2022年2月～2028年3月)
市街地再開発事業	令和4年2月～令和12年3月 (2022年2月～2030年3月)

市民温水プール隣接地にも

「鶏冠井・上植野東部地区まちづくり協議会」

が昨年（2022年）に発足

ゆめパレアむこう（向日市健康増進センター及び向日市民温水プール）に関する
サウンディング型市場調査の公表について

令和 3 年 9 月 1 6 日

向日市市民サービス部

地域福祉課

向日市では、向日市健康増進センター及び向日市民温水プール（以下、ゆめパレアむこうという）の今後の活用方法や管理運営のあり方について、民間事業者との対話を実施しましたので、その結果を公表します。

1 調査対象施設

ゆめパレアむこう（向日市鶏冠井町上古 8 番地の 1）

2 実施スケジュール

令和 3 年 5 月 1 4 日（金）	調査実施の公表
令和 3 年 5 月 2 7 日（木）	現地見学会・説明会の開催 ※ 参加事業者数：6 社
令和 3 年 6 月 2 2 日（火） ～ 7 月 3 0 日（金）	サウンディングの実施 ※ 参加事業者数：5 社

3 主な意見等

ゆめパレアむこうについて
① 存続意義について ・ 市民の健康増進という面では、役割を果たしてきたが、建設当時と比較して、周辺に類似の民間施設が増えるなど、市民のニーズは変化している。

- ・施設規模が過大であるため、ふさわしい規模にダウンサイジングすることを検討すべき。
- ・今後、人口減少が予想される中で、財政負担を考えれば運営を続けることは難しくなる。
- ・市民体育館にもトレーニング室があり、隣接する公共施設で機能が重複していることからトレーニング室の統廃合を検討すべき。
- ・向日市の人口規模に対して過大な施設ではあるが、長年運営を続け、市民に定着した施設である。

② 機械設備等について

- ・事業規模が同程度の民間事業者の施設と比較して、規模が大きい。そのため、ランニングコストや機械設備の更新時に、余計な費用が掛かっている。
- ・ほぼ全ての機械設備が耐用年数を超過しており更新をすべきだが、公共施設として必要な機能が何か再度検証し、不要な設備があれば廃止すべき。
- ・浴場を完備する公共施設は珍しく、他の自治体ではシャワーのみという施設も多い。
- ・空調機器の更新が必須。良好な管理運営を維持するには、早期対応が必要。
- ・機械設備の更新や修繕費用は、最小限に抑えて概算で3億円～5億円。

管理運営方法について

① 指定管理制度について

- ・雇用確保の面からも指定管理期間を長期（10年）にすることを希望する。
- ・指定管理期間を長期にすることで、長期的な事業を実施できるようになり指定管理料を減額できる可能性も高まる。
- ・会員制から都度利用のみ（定期券や回数券）に運営方法を変更することも可能だが、利用者数の見込みが立たず、指定管理料の増額につながる。
- ・指定管理制度以外では、施設運営、施設管理などの分野ごとに業務委託する運営方法もあるが、費用の増加や市民サービスの質の低下が懸念される。

② 運営及び維持管理コストを低減させる方策について

- ・ 長期的な維持管理コストを考慮すれば、現在の機械設備を更新するよりも、建て替えをして、施設をコンパクトに集約する方が総費用は安くなる。
- ・ 他の公共施設では、幼児用プールを廃止し、体操教室などに改装することで、プールの維持管理コストを低くした施設もある。
- ・ 健康増進センターとプールにそれぞれある受付窓口を一本化することで、人件費を削減できる。
- ・ 自主事業の自由度が上がれば、収入増が見込め指定管理料の減額ができる。
- ・ 昨今の人件費上昇を考慮し、会費の値上げなど一定の受益者負担が必要。

その他について

① 小学校及び中学校のプール授業実施について

- ・ 小学校及び中学校の水泳の授業をゆめパレアむこうに集約することで、学校施設（プール設備）の修繕・維持管理コストが削減できる。
- ・ 送迎バスの費用や大型バスの通行規制など、実施に向けて課題はある。

② 駐車場について

- ・ 駐車場の有料化により滞留時間の適正管理が可能となり、多くの市民が利用できる。
- ・ 出入口導線を変更（出入口を2箇所に増設）し、一方通行とすることで混雑を緩和できる。
- ・ 駐車場内にある公園部分がほとんど機能をしていないことから、全面を駐車スペースに変更すべき。

③ 新型コロナウイルスの影響について

- ・ 同業種では、若年層の利用率が回復傾向にあるが、高齢者の復帰には時間がかかる可能性が高い。
- ・ 「ゆめパレアむこう」も高齢者の利用者が多く、コロナ禍以前の利用状態に戻るかは不明。

④ 民間事業者への譲渡や売却について

- ・ 民間事業者が譲渡を受けた場合、運営に関して採算が合わない。
- ・ 行政の補助が充実しているなど条件が整わなければ、譲渡は難しい。
- ・ 売却は譲渡よりも困難。

4 サウンディング結果を踏まえた今後の方針

今回のサウンディングでは、ゆめパレアむこうが、本市が保有する公共施設としては、規模が大きく、施設の規模縮小を検討すべきというご意見や今後人口が減少する中で、財政負担（維持管理に係る経費）の増大を考えれば、運営が難しくなるのではないかというご意見をいただきました。

本市においては、令和 31 年には人口が約 4 万 4 千人まで減少し、市民一人ひとりの負担増大が予想されることから、今後もゆめパレアむこうの運営を続け、市民サービスを提供していくことが、市民の皆さまにとって必要なことなのかどうか、しっかりと見極める必要があります。

このサウンディングの結果を踏まえて、今後のゆめパレアむこうの長期的な方針について、整理・検討を進めます。

市民温水プールに関する
アンケート調査
結果報告書

令和 4 年 8 月
京都府 向日市

目 次

I	アンケート調査の概要.....	1
1	調査の目的.....	1
2	調査概要.....	1
3	回収結果.....	1
4	報告書の見方.....	1
II	アンケート調査結果.....	2

I アンケート調査の概要

1 調査の目的

本調査は、市民の皆さまから市民温水プールのあり方についてのご意見をお伺いし、今後の検討資料とさせていただくことを目的として実施しました。

2 調査概要

- ◇調査対象者：18 歳以上の向日市民 5,000 人（無作為抽出）
- ◇調査期間：令和4年6月3日（金）～6月24日（金）
- ◇調査方法：郵送配布・郵送回収による本人記入方式

3 回収結果

- ◇配布数：5,000 件
- ◇有効回収数：1,853 件
- ◇有効回収率：37.1%

4 報告書の見方

- ◇回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。
- ◇複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- ◇図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- ◇図表中の「n（number of case）」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。
- ◇本文中の設問の選択肢は簡略化している場合があります。

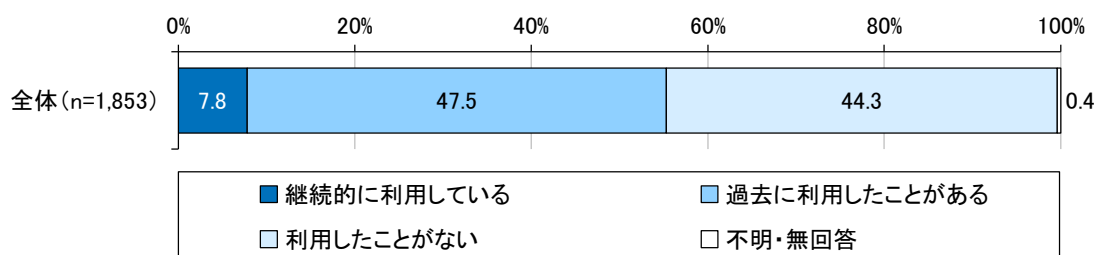
Ⅱ アンケート調査結果

問1 市民温水プールのご利用についてお尋ねします。

市民温水プールの利用状況についてみると、「過去に利用したことがある」が47.5%と最も高く、次いで「利用したことがない」が44.3%、「継続的に利用している」が7.8%となっています。

年齢別にみると、20歳未満では「過去に利用したことがある」が6割台後半となっていますが、70歳以上では「利用したことがない」が5割を超えています。

地域別にみると、物集女町では「利用したことがない」が5割を超えています。



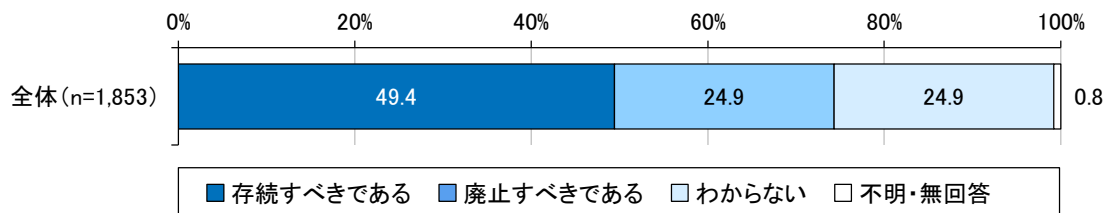
単位: %		継続的に利用している	過去に利用したことがある	利用したことがない	不明・無回答
全体 (n=1,853)		7.8	47.5	44.3	0.4
年齢別	20歳未満 (n=31)	6.5	67.7	25.8	0.0
	20～29歳 (n=102)	9.8	50.0	40.2	0.0
	30～39歳 (n=199)	10.1	41.2	48.7	0.0
	40～49歳 (n=320)	13.1	50.9	35.6	0.3
	50～59歳 (n=344)	5.2	59.6	34.9	0.3
	60～69歳 (n=305)	5.9	47.5	46.2	0.3
	70～79歳 (n=407)	7.6	39.6	52.8	0.0
	80歳以上 (n=142)	2.8	35.9	58.5	2.8
居住地別	物集女町 (n=254)	5.9	39.4	53.5	1.2
	寺戸町 (n=803)	6.8	44.7	48.2	0.2
	森本町 (n=156)	11.5	57.7	30.8	0.0
	鶏冠井町 (n=191)	11.0	51.8	36.6	0.5
	向日町 (n=64)	3.1	51.6	45.3	0.0
	上植野町 (n=380)	8.9	51.8	38.9	0.3

問2 市民温水プールの存続・廃止についてお尋ねします。

市民温水プールの存続・廃止についてみると、「存続すべきである」が49.4%と最も高く、次いで「廃止すべきである」「わからない」がともに24.9%となっています。

年齢別にみると、80歳以上では「廃止すべきである」が3割台半ばとなっています。

地域別にみると、森本町・鶏冠井町・上植野町では「存続すべきである」が5割を超えています。

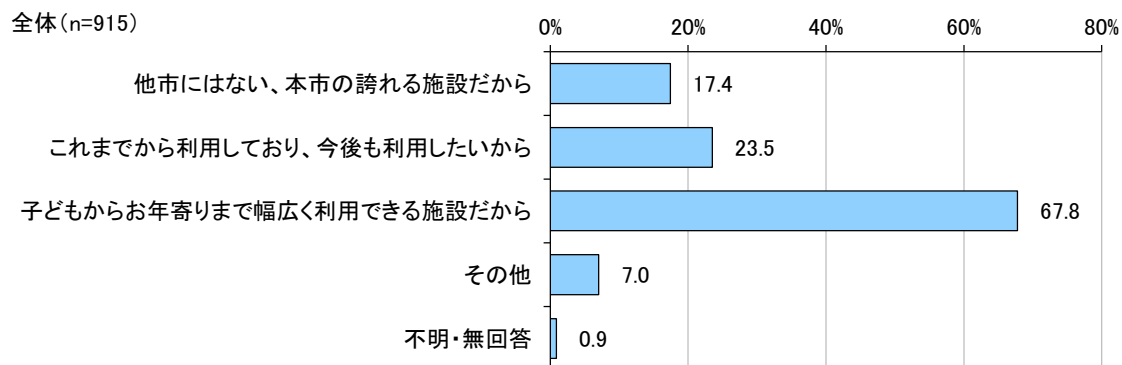


単位: %		存続すべきである	廃止すべきである	わからない	不明・無回答
全体 (n=1,853)		49.4	24.9	24.9	0.8
年齢別	20歳未満 (n=31)	45.2	19.4	35.5	0.0
	20～29歳 (n=102)	52.9	21.6	25.5	0.0
	30～39歳 (n=199)	57.8	19.6	22.6	0.0
	40～49歳 (n=320)	56.9	22.8	19.4	0.9
	50～59歳 (n=344)	51.7	24.1	24.1	0.0
	60～69歳 (n=305)	48.9	25.2	25.2	0.7
	70～79歳 (n=407)	40.8	27.0	30.7	1.5
	80歳以上 (n=142)	39.4	35.9	21.8	2.8
居住地別	物集女町 (n=254)	40.6	26.8	31.5	1.2
	寺戸町 (n=803)	46.1	26.9	26.3	0.7
	森本町 (n=156)	54.5	19.2	26.3	0.0
	鶏冠井町 (n=191)	59.2	20.9	19.4	0.5
	向日町 (n=64)	48.4	28.1	23.4	0.0
	上植野町 (n=380)	55.8	23.4	19.7	1.1

問3 問2で、存続すべきであるにご回答された方にお尋ねします。

その主な理由をお聞かせください。

存続すべきであると考える主な理由についてみると、「子どもからお年寄りまで幅広く利用できる施設だから」が67.8%と最も高く、次いで「これまでから利用しており、今後も利用したいから」が23.5%、「他市にはない、本市の誇れる施設だから」が17.4%となっています。



◆その他回答（主な意見）

今は利用していないが、いずれ利用したいと思っていた

市民の運動不足解消、健康増進のためのスポーツ施設として必要である

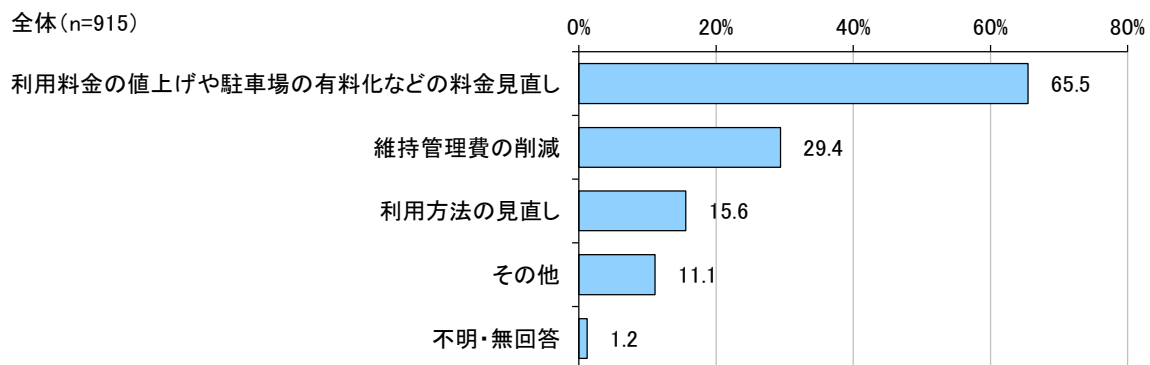
安価で、いつでも遊びに行ける手軽な施設として重宝していた

幅広いコミュニケーションの場として活用できるから

問4 問2で、存続すべきであるにご回答された方にお尋ねします。

存続するための具体策をお聞かせください。

存続するための具体策についてみると、「利用料金の値上げや駐車場の有料化などの料金見直し」が65.5%と最も高く、次いで「維持管理費の削減」が29.4%、「利用方法の見直し」が15.6%となっています。



◆その他回答（主な意見）

③利用方法の見直し

料金の見直しについて、特に向日市民以外の料金を引き上げる
イベントを実施し、新規利用者を呼び込む
フィットネスやダンスなどの人気教室を併設する
学校と連携し、水泳授業に活用してもらう

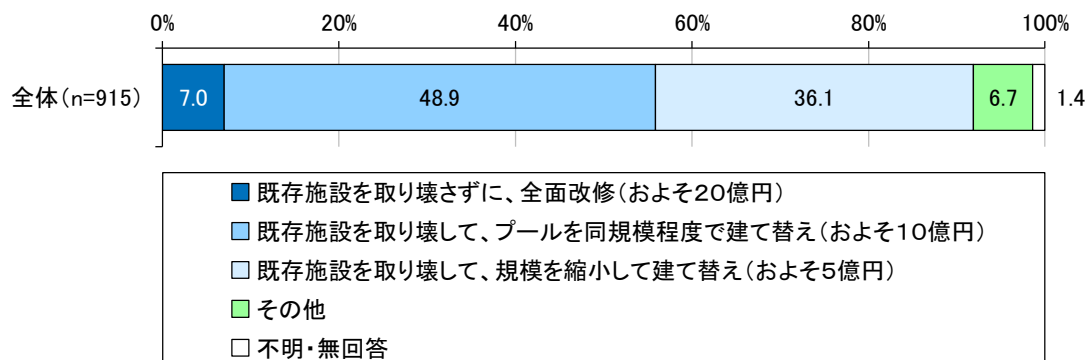
④その他

企業との共同運営や、テナント・スポンサーの募集を行う
向日市単独ではなく、乙訓地域の共同運営を行う
募金やクラウドファンディング、ネーミングライツなどを用いて財政負担を抑える
広範囲にバスを充実させるか、アクセスの良い場所に建て替える

問5 問2で、存続すべきであるのご回答された方にお尋ねします。

今後、長くご利用いただくためには、施設の改修や建て替えが必要となりますが、どのような施設の整備が必要かお聞かせください。

必要だと考える施設整備の方法についてみると、「既存施設を取り壊して、プールを同規模程度で建て替え（およそ10億円）」が48.9%と最も高く、次いで「既存施設を取り壊して、規模を縮小して建て替え（およそ5億円）」が36.1%、「既存施設を取り壊さずに、全面改修（およそ20億円）」が7.0%となっています。



◆その他回答（主な意見）

部分的な改修を行う。特に、可動屋根は不要ではないか

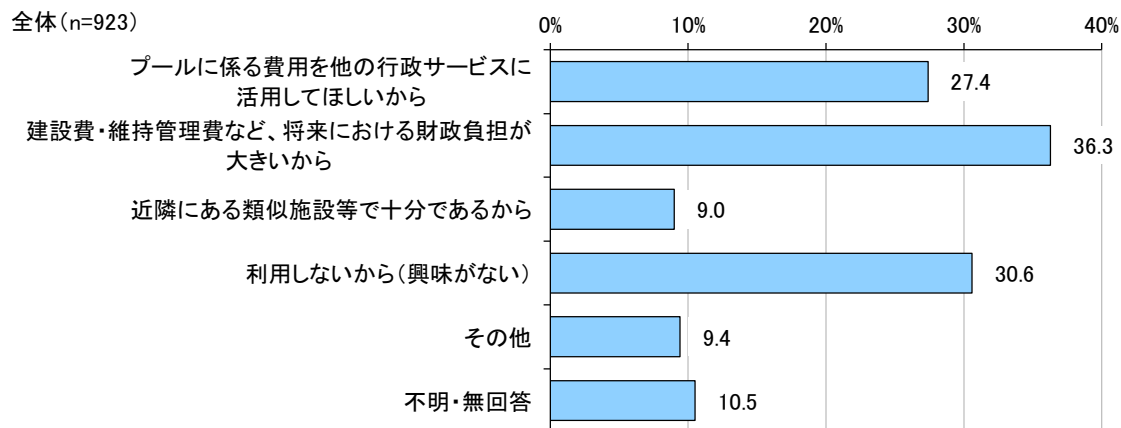
かかる費用の内訳がわからないため、回答が難しい

食品スーパーや温泉施設、公園などを併設し、複合的な利用ができるようにする

今より規模を大きくし、市外からの更なる集客を見込めるプールにする

問6 問2で市民温水プールは、廃止すべきであるにご回答された方にお尋ねします。
その主な理由をお聞かせください。

廃止すべきであると考えてる主な理由についてみると、「建設費・維持管理費など、将来における財政負担が大きいから」が36.3%と最も高く、次いで「利用しないから（興味がない）」が30.6%、「プールに係る費用を他の行政サービスに活用してほしいから」が27.4%となっています。



◆その他回答（主な意見）

立地や公共交通機関などが不便で、利用したくてもできないから

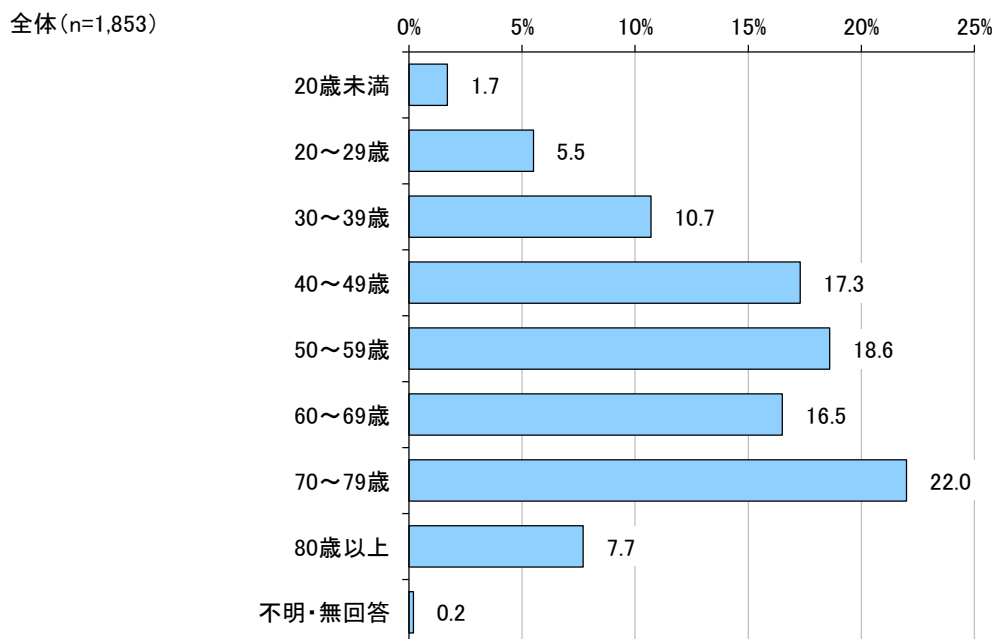
常連の人が占拠しており、利用しづらく感じた

市民以外の利用が多く、向日市の税金を使うのはおかしいと思うから

存在を知らなかったため

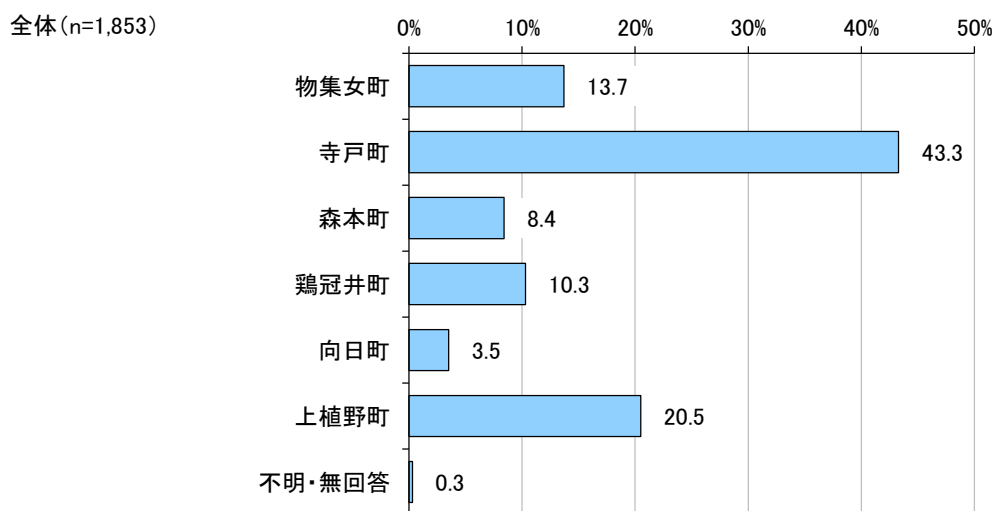
問7 あなたご自身のご年齢についてお尋ねします。

回答者の年齢についてみると、「70～79 歳」が 22.0%と最も高く、次いで「50～59 歳」が 18.6%、「40～49 歳」が 17.3%となっています。



問8 あなたご自身の居住地についてお尋ねします。

回答者の居住地についてみると、「寺戸町」が 43.3%と最も高く、次いで「上植野町」が 20.5%、「物集女町」が 13.7%となっています。



問9 市民温水プールの今後のあり方について、ご意見・ご要望があればご自由にお書きください。

※一部、個人または企業名がある記載は省いております。

また、今回のアンケートの内容と相違するものについても、省いております。

①存続すべきである (480 件)

年齢区分	意見・要望
20 歳未満	誰もが自由に気軽に利用できる施設なので、存続すべき
20 歳未満	向日市のシンボリック的存在であるため、これからも継続させていくべき。市外からの利用者が多いことから、再開する際は料金の値上げを考えてみてはどうか。向日市の未来のために、プールを修理・再開してもらいたい
20 歳未満	プールに行きたいと思っている
20 歳未満	市民プールが本当に大好きなので、料金を上げてでも続けてほしい。水泳部所属のため、個人練習などによく利用していた。これからも使っていきたいと願っている
20 歳未満	会員でない人がいつでも気軽に利用できる施設はなかなかない。市民プールは気軽に利用できるという点でとてもよいと思っている。確かに今のままでは施設が大きすぎると思うため、ダウンサイズして必要最低限の施設で運営を希望する。今はどこのスポーツジムも、泳ぎを習いたい人は会員費にプラスしてスクール料金を払う必要があるため、3か月とか半年とかで区切って、スクールを開いてもらえるとありがたい。料金はもう少し高くても良いと思っている
20 歳未満	健康寿命と直結する施設である。仮に無くすとしても代わりとなる施設を検討してほしい
20～29 歳	29 年半も向日市に住んできたが、「市民温水プール」の存在がわからなかった。もっと広報誌やホームページで宣伝してもらいたい
20～29 歳	子どものためにも、残してほしい
20～29 歳	・向日市は市の面積がもともと小さいため、大規模な箱モノを作るよりも、小さい規模のものを作った方がよいと思う ・上記に加え、ショッピングモールが近隣にあることにより、ファミリー層の転入は今後もあると思う。必ずしも「人口減」になると断言できないのではないかと（参考資料より） ・市営施設のプールやジムはどうしても高齢者向けのイメージがあるため、子ども向けのイベントを開催することで、利用人数増を見込めると思う ・可動屋根や温水についてはあまり必要性を感じない。それよりも、小さくても「プールがある」ことが重要かと思う
20～29 歳	物集女町在住のため、今の市民プールのアクセスは悪い。競輪場をつぶし、その土地に新しい市民プールを建設すべき
20～29 歳	時々利用していたが、ガレージが少なく、停められない時も多々あって残念だった。結構混雑していたように見受けられたため、今後も続けてほしい。市外からの利用料をアップするとよい。また、シャワーは必要だが、風呂とサウナは不要であると思う。トレーニング室についても、時間での料金にし、値上げしても良いと思う
20～29 歳	市民が安心して利用できる施設であってほしい

20～29 歳	市の広報紙で宣伝するべき。このようなプールはなかなかないため、なくなるのは惜しい。市民の健康のためにも残してほしい。規模の縮小は仕方ないことだが、何とか継続できれば良いと思う
20～29 歳	維持費がかかるということであれば、当初市の施設として作ろうということを決めた目的がわからない。赤字が出るという理由で利用料を上げるといった安直な考えでは、集客は見込めない。利用料の値上げを考える前に、もっと見直すことがあるのでは？ 利用者からすると、常連客の態度を不快に感じ、利用をしなくなっている。今一度行政の施策を考え直してほしい
20～29 歳	同規模の民間施設も参考に、多少の利用料増加は受け入れるつもりである。何度か利用者も見かけたため、需要はあると思う
20～29 歳	設備もしっかりしていて、きれいに整えられている点からも十数年間利用していた。規模を縮小してでも継続してほしい
20～29 歳	駐車場は利用者限定にする等、考える必要がある。現在は健康ブームであるため、ジムエリアを広くしてほしい。向日市に住んでいる人は安くするなど、何か特別感が欲しい
20～29 歳	必ず存続してほしい
20～29 歳	今は府外に出ていることが多いため利用機会はほとんどないが、健康や運動の事も考え、また使いたいと考えている
20～29 歳	これからも利用したい
20～29 歳	向日市内にある企業等に協力を募り、ウォータースライダーや流れるプールなど、魅力のあるプールへ建て替えたらいと思う。行きたいと思えるプールに建て替えられなければ存続する意味はないと思う
20～29 歳	市民温水プールの存続有無の方向性を決めるのには、いわゆる「市民の声」も大事にすべきかと思うが、向日市としてどんな指針や見通しがあって、それに市民がどう応えるかが本質かと思う。今回のアンケートの依頼文や内容からは、「プールをどうするか？」の内容以上のことは感じられない。そうではなく、向日市の健康増進や満足度にどれだけプールが寄与していて、その効果と費用を天秤にかけるとどう市民の生活に影響が出るのか…といったことをアンケートに盛り込むよう考えを巡らせてほしい
20～29 歳	向日市の温水プールの認知度は高い印象。その認知度を活かして、このタイミングで使い方を改めても良いと思う。相乗効果がありそうなものとして、コミュニケーションスペースや、家族で遊べる公園、コインランドリー、スーパー銭湯などの併設はどうか。なくすことは簡単だが、残していくことは難しい。そのうえで使い方を見直すことが大事。廃止も一つの方法だが、子育て世代や高齢世代にとっては重要な場である。財源の無駄ではないと感じている
20～29 歳	向日市の唯一の健康づくりで、市民の触れ合い・つながりの場であるため、市民プールの維持の努力を願う
20～29 歳	小さい頃から良く利用していたため、無くなってしまうのは悲しい
20～29 歳	市民プールは今まで通り営業してほしい。企業誘致を積極的に行ってほしい
20～29 歳	市民温水プールは存続してほしいと思っている。今後の在り方としては、以下を提案する。 ・一度すべて取り壊し、屋根のない屋外プールとして夏の間だけ開放する（冬場の維持管理費用の削減および屋外プールなら安く建設できるのではないか） ・改修工事で少し規模を小さくする（今まで通りの屋内温水プールにする）

20～29 歳	温水プール設備があるからこそ人生が楽しい・豊かだと感じる人が必ずいる。その人たちの場所をなくしてしまうことには反対である
20～29 歳	小さい頃から遊び場として利用していた市民プールがなくなるというのは悲しい。幅広い年齢の方が利用できる場である市民プールは、壊すべきではないと考える
20～29 歳	市が運営を委託するのであれば、委託先ありきで建てないと今回のように維持管理の責任の所在の押し付け合いになると思う。閉館にあたって市の公表の仕方が汚かったと思う。先に新聞に公表したこと
20～29 歳	健康増進は医療費の削減等、収益では見えてこないメリットも多くあるように思う。適切な規模を検討し、今後も継続してほしい
20～29 歳	・現在は年配者の利用率が高いため、家族向けや子どもが使用しやすい施設にする方が良い ・駐車場を 2 時間ほどの時間制で有料化（延長料金を払うことで最大数時間使用化） ・プールのみ、サウナのみ、ジムのみで料金発生 ・夏は通常料金より数割増にして、市外と向日市民と少し金額の差をつける ・営業時間を 22 時から 19～20 時頃までにする ・時代にそぐわないお風呂を廃止 ・家族連れが来やすいよう駐車場を改装 ・一日フリーパス券のようなお得券を夏の時期限定で出す ・10 回来場でプール、サウナ、ジムの利用を一回無料にする ・シャワーを 30 分制で有料化し、プールから上ってサッと済ませるだけの物に変更する ・使用されていないジムの器具は撤去する ・近くの保育園や幼稚園へ貸出し ・プール教室やフィットネス教室としても使用できるようにする 取れるところからとことん料金を取らなければ、今後もこのようなことがあった場合、存続はほぼ不可能。今まで無料に近い方法でやり続けてこれたのは、時代の関係か、もしくは偶然である。市で一つのプールを持っていることをもう少し売りにしていくべき。ただでさえ何もない向日市なので、これを売りに向日市の財政を何とかできるのであれば存続も有り
20～29 歳	・幼少の頃から、今年の 3 月まで親子でプールを利用していた。民間のプールでは親子で自由にいくことができないため、公共のプールは必要。向日市の人口が増えるよう、住みたい街になるよう、子育て世代や高齢者に役立つ施設は大きな役割を担っている ・向日市の施設なので、向日市民以外の利用料金をもっと上げてはどうか ・プールを同規模程度で建て替えがされるとよいと思うが、プールがメインなので、サウナは贅沢な設備ではないか ・夏場のみ使用する可動式の屋根も不要。十分に換気できる窓があればそれで良い ・利用者の減少傾向（コロナの影響を除いて）の原因をもっと考えるべき。人口減少が予想されるのならば、市としてやるべきことは、プールの存続を諦めることではなく、どうしたら向日市をもっと魅力的な市にできるかを考えることだと思う ・皆が向日市に住みたいと思う街作り、政策が大切だと思う ・向日市民のために目的をもって作った施設をなくす方向になった場合、少なからず向日市

	は色々な面でマイナスイメージがつくと思われる ・プールの存続を強く希望する
20～29 歳	子ども達が思いっきりボールを蹴ることのできる、広い運動場のようにする
20～29 歳	家族みんなで利用している。特に両親は週3～4回利用していた。小さな子どもからお年寄り、時には障がい者の方とプールでの交流ができてとても良かったと思う。近所の方達もプールに行けず困っている。新しい道路ができたり、JR 向日近辺開発も良い事だが、ゆめパレアのような市民が健康に憩える施設も大事だと思う。ゆめパレアのようなプールは京都市にも長岡京市にも無く、再開を心待ちにしている。また、他の市でお金を使うより、自分達の住んでいる町で使いたい。前向きな方向で、プールでのみんなとの「再会」と「再開」を望む
20～29 歳	・大会の開催による集客 ・スイミングスクールの募集、誘致 ・命名権による収入 ・駅から遠いので、シャトルバスがあれば集客できるのではないかな ・冬季の授業で利用する ・企業から寄付してもらい、その企業の社員に安く利用してもらう ・24 時間トレーニング可とする ・建て替えて、体育館+プールにする。体育館の利用率は高い
30～39 歳	・利用者の7割が向日市外の方とあったが、市税で建てている以上、市外の方の負担額をあげるべき ・お風呂やサウナは必要ないと思う。プール・シャワー・トレーニング室のみのものに建て替えると、駐車スペースも広がる。中央の広場も駐車スペースにするべき ・JR 向日町東口の開発による人口流入もあり、距離も近いので、利用者は増えるのではないかな ・古いものをリフォームするのではなく、新しくした方が金額も少なく、市民の賛同を得られると思う ・ちょうど子どもを通わせようと思っていたところで休館になり、残念。より良く生まれ変わることを期待している
30～39 歳	西宇治体育館のところにある屋外プールや、長岡京市のじゃぶじゃぶ池のような、子どもが使いやすいプールにすると市内・市外からも集客が出来るような気がする。子どもが小さい頃、近所のママたちとよくそのプールを利用していた。京都市からも近いという利便性を活かし、取り壊しではなく良い施設になってほしいと願う
30～39 歳	サウナを作ってほしい
30～39 歳	夏は公園が暑くて利用できないため、子どもとよく利用していた。市民以外も多く利用していたため、市民以外の料金を値上げすればよいと思う。
30～39 歳	自宅から徒歩数分で着き、ジム・ヨガ・プールを利用するのを楽しみにしていた。毎日を快適に過ごせるようになり、とても喜んでいて。地域に住むお年寄りもたくさん利用しており、コミュニティとしての役割や医療費の削減にも貢献していたと思う。実際にどの程度赤字が出ているのかはわからないが、目に見える数字だけでなく、子ども達やお年寄り、市民の健康増進に貢献している点をもっと評価してもらいたい。個人的には、利用料を周りのジム並みに上げてもらったとしても継続的に利用するし、水風呂付きのサウナ、フリーウェイトの追加な

	ど、ダウンサイジングしながらも施設の魅力を高めて、利用者を増やすことも可能だと思う。今ある施設を特に再利用せずに放置すること自体がもったいないと思う
30～39 歳	シャワーの設備があるため、サウナや風呂の設備はなしで良いと思う。駐車場の料金を上げるか、利用料金を上げるかは、どちらかであると助かる。子どもたちがコロナ禍で学校のプールが制限され、プールに入れる機会が少なかったため、温水プールの存在はとてありがたかったが、無くなってしまい、非常に残念である。どうにか存続してもらえることを願っている
30～39 歳	ゆめパレア、市民プールは市民の健康を維持する場となっている。高齢の両親が毎日通っているため、なくなることで運動の機会を失うこと、また市民のコミュニケーションの場でもあるため、交友関係が狭くならないか心配している。一方、ゆめパレアのスイミングスクールに通っている子ども達も運動の場が失われた。ほかのクラブチームへ移籍する子もいるが、月謝の金額も高額となるため、負担になる家庭も多いと考えられる。市の北部の人たちからすればアクセスが悪く、使いづらい場ではあると思うので、プールに子ども用滑り台を設置したり、子育て世帯・若者が活用しやすい場になれば、今後利用者も増えると思う。それから、開閉式の窓や鬼の噴水などは要らないし、無駄なお金の使い方だと思うので、設備等についてはきちんと話し合うことが必要だと思う。北部ばかり開発されているが、向日市南部の発展こそ、今後の向日市を決めるポイントではないか
30～39 歳	・サービスの削減や市民からお金を取るのではなく、国や企業からお金をもらえるように考えてほしい ・市民の交流を増やし、日本の助け合いの文化を残していきたい
30～39 歳	いつか子どもと一緒にに行こうと思っていたら休館になってしまった。手軽に行けるプールだと思うので、ぜひまた再開してほしいと思っている。子どもが小さい時は子どもと一緒に。大きくなったら、親だけが運動のために。年を取っても通いたいと思っていた。さらに維持費がかかってしまうが、利用人数を増やすために、子ども用のプールに滑り台やスライダー、滝が出るといった、少し遊べるようなものがあると親子連れは必ず行くと思う。それから、ネットでの情報を詳しく、写真などもたくさんあると行きやすいと思う
30～39 歳	向日市は小さくて利用できる魅力的な施設が少ないと感じる。小さい子どもも利用できる身近な楽しい施設にも力を入れてほしい。子育てしやすい町づくりをしてほしい。プールはなさないでほしい。健康増進センターの利用者は主に高齢の方のような気がする。そういう施設はスポーツジムなど周辺に施設があるため、市の施設としてはなくても良いと思う
30～39 歳	会員でなくても単発で利用できるプールはありがたい。今までの建物では見た目が古く、新しく来た若い世代には抵抗があるように思う。改装し、清潔になれば若い世代・親子にも来やすくなると感じる
30～39 歳	市民以外の利用者については利用料金を上げるべき。シャワーは無料で利用できるようにし、お風呂・サウナは別途料金を徴収すればよいのではないかな。また、駐車場についても、利用者は無料にし、施設を利用せずに駐車する人については有料にすればよいと思う
30～39 歳	小さな自治体のため、子育て支援センターや図書館の施設が他と比べて見劣りする点は、転入時にがっかりした。そんな中、プールは立派であったため、よく利用していた。ぜひ続いてほしいと思う。せっかく建て替えるチャンスのため、図書館やカフェなど市民に愛される施設に生まれ変わってほしい。人口減少といっても、向日市は立地も良く、東口の開発も控えている

	ため、大切な未来への投資になると信じている。なお、コストの話をするなら、利用者がとても少ない天文館や資料館をまずどうにかするのはどうか
30～39 歳	子どもから高齢者まで幅広く利用し、健康維持や体力づくりに役立つ施設として、できれば今後も利用していきたい。プール後のシャワーは必要だが、お風呂やサウナについては不要であるとする
30～39 歳	健康維持のためにとても良い施設だと思う。何らかの形で残してほしいと思う。規模の縮小や料金の値上げ、またカフェなどのテナントを入れテナント料の収入を得るなどしてはどうか。子連れで利用しやすいカフェなどの店が併設されていれば利用者も増えると思う
30～39 歳	社会情勢をみると、令和 2・3 年度の利用者数はカウントするべきではないと思う。それでも運営が厳しいのであれば、料金の値上げの手段を取るのが妥当ではないか。そもそも、修繕・維持も考えたうえでの建設だったはずだが、どうして今頃廃止の話が出てくるのか？
30～39 歳	規模を縮小してでも市民が気軽に利用できる施設として続けてほしい。子どもが通える市民プールとしてあってほしい
30～39 歳	子どもを連れて気軽に利用できるプールが近くにないため、ぜひ残してほしい。駐車場の料金は取っても良いと思う。きょうと子育て応援パスポートに協賛すれば、少しは子育て世代の利用も増えると思う。ジムやサウナも良いと思うが、お風呂は必要なのか？ と疑問視している。向日市民だけが使えるクーポンを定期的に発行するのもアリだと思う。その際は、デジタル発行がよいと思う
30～39 歳	収益を上げるよう、民間の意見を参考にしてほしいと思う。ただ、民間だけでは賄えない、福祉サービス（高齢者や障がい者の生きがい・健康づくりなど）を行うのも行政の役割だと思う。一般利用者の利用料と割引対象者の利用料で差をつけるなどしても良いのではないかと
30～39 歳	利用料金を少し上げてでも、継続してやってほしい
30～39 歳	市民プールは存続してほしい。料金や駐車料金アップがあっても続けてほしいと願っている
30～39 歳	利用料の改訂。小学生のみの利用を許可し、利用者を増やす等
30～39 歳	市民の健康維持のため、ぜひ検討してもらいたい
30～39 歳	今後もぜひ存続させてほしい
30～39 歳	この施設は必要な場所だと思っている。値上げしても構わないので存続してほしい
30～39 歳	利用料金の値上げはやむを得ないと思うが、向日市民と向日市民以外の利用料金に差を設けるなどし、向日市民の利用料金を抑える検討も必要だと思う。また、改修や建て替えを機に、中高生の利用者も増やせるような施設の充実（スライダー等）も併せて検討してはどうか。公費を投じるだけの施設ではなく、利用者の増加やネーミングライツ等で利益を生み出す施設になる必要があると考える
30～39 歳	参考資料を見た限り、コロナ前は利用者が増えている傾向があったのではないかと。8 月には市民以外の利用者も多いことから、市の貴重な収入源にもなるのではないかと。潰してしまうには少しもったいなく思う
30～39 歳	子どもが気軽に行けるプールがあると助かる。他府県からもファミリーで来られる。流れるプールや滑り台も備えた温水プールにして、収入を増やす計画にしてみてもどうか

30～39 歳	年中泳げる温水プールは、子どもが好きで、父もジムとプールを利用していたが、無くなってしまい残念がっていた。金額が多少上がっても、継続してもらいたい
30～39 歳	正直なところどちらでもよい。向日市には子どもが遊べる施設がないため、そういう施設を作ってもらえるならプールはなくても大丈夫だと思う。今は公園で遊んでいるだけで市民から通報され、警察が来る。子どもたちが元気よく遊べて育つ向日市にしてほしい
30～39 歳	近くにプールがあると子連れでも気軽に行きやすいため、ぜひ存続させてほしい
30～39 歳	向日市に住む子育て世帯にとっては、利用できないと困る施設である
30～39 歳	向日市民が使いやすいプールがあると嬉しい。数時間から低料金で利用できたのがよかったため、今後もそうあってくれるとありがたい。向日市以外からの利用者が多いということから、市民以外の利用料を値上げ、駐車代の徴収などで維持費を捻出できないだろうか。子どもの遊び場の一つとして、残ってくれたらありがたい
30～39 歳	・プールだけなら規模を小さくする方法もあると思う。市民の触れ合いを多くすることも目的とされているため、その部分ももう少し、どんなことをしているかわかれば利用も進むと思う ・施設のこと自体を知らなかったため、知った今後は利用したいと思う。コロナもあるが、転入の際に告知をするなど、利用促進の活動やチラシなどを入れていくべき ・外部の利用者が多いのは、住んでいる人口の問題ではないか。例えば京都市は人口が多いため、利用人数が多いようにも見えるかもしれないが、割合でみると向日市民の利用率が高いのではないか ・直近2年分のデータはコロナで外出を自粛していることもあると思うので、あくまで参考数字とすべきではないか
30～39 歳	子どもがもう少し大きくなったら利用したいと思っていたところに、施設がなくなるかもしれないと聞いて非常に残念に思っている。ジムやプールに通って友達が出来たという話を耳にするため、すべてなくなってしまうのは、子どもや地域のコミュニケーションの場がなくなってしまうようで…規模を小さくしてでも存続してほしいと願う。空いた場所については芝生にする、もしくはこれからの季節は長岡京のじゃぶじゃぶ池のような場所になってくれたらうれしい
30～39 歳	小さい子どもがおり、大きなプールはまだ怖いと、向日市市民プールがなくなってしまうのは悲しい。利用料金の値上げ、駐車料金の値上げで対応できるなら継続してほしい。浅めのプールがあるので、ファミリー客を増やし、ファミリー利用プラン（一か月入り放題など？）や親子利用プランなどを企画してはどうか。また、友人に話をしたとき、向日市温水プールを知らない人も多かったため、もっと広告に力を入れたり、口コミ話題になれば良いと思った。ぜひ、安全に利用を継続してほしい
30～39 歳	近くにいつでも利用できるプールがあつてうれしく、これからも使っていきたいと思っているが、市民全体のニーズはどうか。今後使わないのではもったいないと思う
30～39 歳	近隣に類似施設はなく、魅力的な施設になれば多少料金が上がっても利用者は増える。現在の利用方法や利用者にとらわれず、新たな発想で魅力的な施設へと建て替えてほしい
30～39 歳	小学生のころ、毎年市民プールに行くことがとても楽しかった思い出がある。我が子にも同じように自由に泳げるプールに連れて行ければと思う。プールは維持費などもかかり、大変かとは思いますが、規模を縮小してでも続けてもらえればと思う

30～39 歳	向日市に越してきたばかりで、公共施設の利用は少ないが、いずれ自分の子どもや、また自分自身が気軽に利用できる環境があるとありがたいと思う
30～39 歳	温水プールでなくても、夏季のみの屋外プールで良いと思う。皆が使える施設として存続してもらえたらうれしい
30～39 歳	・小さい子どもと利用できるとてもありがたいプールであるため、続けてほしい ・立派な屋根などではなく、設備もシンプルにして、「シンプル・清潔・広い」プールであれば、もっと利用する人も増えるのではないかな ・色味が暗く、なんとなく暗いイメージがある ・京都の子育て世代は本当に遊ばせるところがなく、飢えている。多少利用料が高くても、きれいで楽しく遊ばせられるなら、喜んでお金を出す。やり方次第で流行りスポットになりそうだと考えている ・子ども用のとても浅いプールがあればうれしい ・コロナで混雑具合が気になるため、ライブで混雑具合がわかればうれしい
30～39 歳	子どもが大きくなったら一緒に利用したいと考えていた。ぜひ存続してほしい。子どもが増えていると思うので、プール＋公園のような、子どもやファミリー層を狙った施設にすると利用者が増えるのではないかな
30～39 歳	存続を希望する。今後子どもが大きくなり、利用することが増える可能性を考えると、料金の値上げはあまりしてほしくない。開館時間を短縮してはどうか。子どもと遊べる場所があると嬉しい。ジム目的のプールは他にもあるが、遊ぶ目的のプールは近場にはないため、遊ぶ目的のプールとして存続してほしい
30～39 歳	二歳の子どもがキッズスクールでスイミングしていた。水が苦手だったのだが、プールに通うようになってからお風呂でも自分で動き回り、すごくうれしそうにしていた。閉鎖になってからはとても寂しそうに、前を通るたびに「プールにもっと行きたかった」と言っている。施設管理等、問題はたくさんあると思うが、親子共々、ゆめパレアが大好きで、利用料等が少し高くなっても構わないので、存続を希望する
30～39 歳	自分の町に市民プールがないのは寂しい。子どもはゆめパレアの一時利用を楽しみにしていた。ぜひまた再開してほしい
30～39 歳	こうした親子連れで気軽に利用できる施設を維持してもらえたら、若い人も転入され、地域の活性化にもつながると思う
30～39 歳	コスパの良さが利用したくなる一因だったが、長く使っていくためには価格の引き上げも仕方ないと思う。自分たちが定年を迎えた後も使えるようなプールにしてもらいたい。いっそのこと、他府県からも遊びに来たくなるような大規模なプールにして、収益化を図るのも良いのではないかな
30～39 歳	子育てを始めて、やはり子どもをプールに通わせたいと思うため、維持できる範囲へ規模を縮小し、それでも財政的に厳しければ駐車場を有料化してでもプールの存続を希望する
30～39 歳	今年の夏は、子どもをどこでプールに連れて行けばいいのかとても悩んでいる。地域の子どもの達のためにもプールをつくってほしい
30～39 歳	子どもと一緒に行くことを楽しみにしていたのに、利用できなくなり残念である。ぜひ存続してほしい

30～39 歳	市民温水プールは、値上げするなどで継続してほしい
30～39 歳	一日でも早く再開してほしい。子どもも早くプールで泳ぎたいと言っている
30～39 歳	今後健康増進のため利用したいと思っていた施設でもあるため、規模を縮小したり、利用料金の値上げなど工夫をしながら存続してほしい
30～39 歳	コロナで利用者が減っているのは当たり前。2022 年～23 年くらいの利用者の回復具合を見るべき。市民が利用しやすい、市民がスポーツ振興を楽しめるように考えることが市役所の責任であり、それを市民に案を求めている時点で職務を全うしていないのではないかと
30～39 歳	・プールにスライダーがあれば、夏だけでなく年中行くとする ・スーパー銭湯を併設してくれたら、利用頻度がかなり上がる ・市民割引はないと、損をした気分になる
30～39 歳	アフターコロナにこそ需要があるはずの施設をなくすのはうまい手とは言えない。もっと市民に活用してもらえ・したいと思えるアピールが必要だと思う。必要とされる施設であることは間違いないと感じる
30～39 歳	規模を小さくし、料金は少し値上げしてでも継続してほしい。向日市とそれ以外は料金を変えるべきだと思う。これから子どもと共に使いたいと思っている。市民はみんな、値段が安いから使いやすいと思っているのではないかと
30～39 歳	向日市内へ引っ越し、子どもができてから、ママ友から「子どもが喜んで利用している」という評判を聞き、我が子も連れて行ってあげたいと思いつつも、機会を逃し休館となってしまう残念に思う。習い事としてではなく、家族みんなでプール遊びとなると市民温水プールが最適だと考えており、ぜひ再開してほしいと思っている。ただ、存続となるとかなりの費用が必要となるため、税金をできるだけ投入せずに実施ということで、規模の縮小や、非市民の料金値上げなど、財政の痛みは最小限でお願いしたい
30～39 歳	親も子どもも、プールがなくなったことをすごく残念に思っている。老朽化しているのは確かで、何か手立ては必要だと思うが、下記の理由から絶対に存続させてほしい。 ・プールでの運動は子どもからお年寄り、障がいがあっても誰でも楽しめて、無理なく健康に効果的 ・温水プールのため年中楽しめる。このような施設は乙訓はじめ京都市でも近くにない ・少子化の中、向日市では子育て世代も増え子どもが増えている現在、今までのようにスイミングスクールを併設することで子ども達の未来への投資となる ・高速道路や鉄道などの交通が充実し、今後ホテルなどの誘致もあると考えられる向日市の遊べる施設として温水プールがあれば、観光客の増加が見込める そのための対策案としては、 ・建て替え施設では、開閉式の壁は作らず費用を抑え、大プール以外にもウォーキングプールや子ども用プール、スライダーの設置などで家族連れの集客を行う ・向日市民も含め、利用料金を上げる ・駐車場の数を増やし、コインパーキングとする。利用者はサービス券を配る ・向日市だけでなく、長岡京市や大山崎町も含め、乙訓全体の健康増進のために存続することを考えていく ・ぐるっとバスはじめ、駅からのシャトルバスやスクールバスなどを充実させ、乙訓地域の活

	性化として考える など、ぜひともすぐにでも検討して、存続させてほしい
30～39 歳	・利用料を上げ、向日市民と他の市の人で料金の差をつける ・プールを利用していない人が駐車場に勝手に停めている。コインパーキング式で、利用者には一定時間無料券を渡すなどしてはどうか ・体育館とプールのジムを統合してほしい ・子どもが幼児だとなかなか行けなかったが、小学校に行くと夏休みがあるため利用したかった
30～39 歳	子育てに優しい町としてスイミングスクールが安く利用できることはとてもセールスポイントとして高いと思う。健康づくり・体力づくりができる施設に、ぜひ税金を使ってほしい。広くて安全で自然の多い公園もつくってほしい
30～39 歳	建物のサイズをもう少し小さくして、駐車場を広くしてほしい。有料になっても良い。25m プールや小児用の浅いプールは、公共の場所にはあまりないため、なくさないでほしい。更衣室にシャワーがあれば、風呂やサウナは必要ないと思う。健康管理の場としても、交友関係の場としても、とても良い施設だと思っている。ぜひ存続させてほしい
30～39 歳	プールは有酸素運動にとっても良く、幼児から高齢者まで幅広く活用してほしいスポーツである。規模を縮小し継続してほしい。大浴場があれば、家での入浴が面倒な単身者にとっても有効。コロナが落ち着き、自由に行動できるようになれば利用者も戻ってくる。ぜひ継続してほしい。資金集めとしてクラウドファンディングなどはどうだろうか
30～39 歳	子どもが3人いるが、以前上の子がスイミングスクールを利用させてもらっていた。下に2才と3才の子がいるが、また通わせたいと思っていた矢先休館になった。車の免許も持っていないため、近くにプールがあるととても助かる。ぜひ存続を願う
30～39 歳	子ども向けの設備などがたくさんあると利用したいと思う
30～39 歳	長時間利用をなくし、短時間の利用で〇〇円としてはどうか
30～39 歳	安全性と衛生面がしっかり管理された施設なら安心して利用したい
30～39 歳	・子ども用のスライダーなどがあれば利用人数の増加につながると思う ・カフェを併設する。プール目的での来場者が、プール以外でも楽しめる施設。子連れが午前中にプールを利用し、帰りにランチなど、レジャーとして楽しめる場所にしてほしい
30～39 歳	子どもを連れて自由に利用できる市民温水プールは、大変便利に利用させてもらっていた。近くに他に子どもを連れていけるプールがないため、ぜひ早期に再開してほしい。また、夢パレアで子どもをスイミングスクールにも通わせていたので、遠くまで行かなければならない。再開のための利用料金値上げ等は構わない
30～39 歳	老朽化は予め分かっていたことなのに、なぜ閉鎖となってから対応を考えるのか。向日市はいつも後手後手の対応で残念に思う。利用者が減少傾向とのことだが、JR 向日町駅東口開発を踏まえても利用者増は見込めないのか。その他、周辺インフラについても後手に回りそうで不安。何も予想も対策もせず、待機児童が増えたりするのではないかな。もっと先を考えて行政を行ってほしい
30～39 歳	子どもから大人まで自由に利用できるプールはなかなか近づくなく、とても貴重である。子どもが3人おり、いつも利用していた。市民の健康推進の面からしても、ぜひ存続させてほしい
30～39 歳	お金をかけても良い施設だと思う

30～39 歳	年々、夏は暑すぎる・冬は寒すぎる・雨が続くなど、子どもが外で遊ぶことができない時季が多い中、室内プールが利用できる場所が向日市にあることは本当にありがたい。京都市の施設もあるが、市民ではないため、料金が高くなってしまったので、向日市民が利用しやすいのは嬉しい。ぜひ存続してほしい
40～49 歳	京都市の伏見港プールのように、夏季のみの外のプールを作り、温水と外のプールの二種類を設けるのはどうか。今後も向日市の人口は増加傾向だと考えるため、利用者はある程度見込めると思う。スポーツジムも、体育館にあるため、近い範囲で重複する施設はもったいないと思う
40～49 歳	子どもが小さい頃からスイミングを習い、休みの日には練習のため市民プールを利用しに行く友達と誰かに出会い、外に出れば広場でまた別の友達に会い、とても楽しいコミュニティ広場だった。コロナ禍でスイミングもやめ、温水プールからも疎遠になった。修繕にこんなに費用がかかるとは知らなかった。駐車場を有料にし、少し利用料をあげても、あの場所を市民が利用できるようなれば嬉しい。健康のために利用したい。今は前を通るたびに寂しい思いをしている
40～49 歳	市外の利用者と市内の利用者の負担は変えるべきだと思う。プール自体は、子どもが幼児の頃に利用させてもらい、非常に良かった。プール（大・小）とシャワーだけで十分なので、残してほしいと思う。向日市単独では財政的に厳しいのであれば、ふるさと納税で寄付を募るなどしてはどうだろうか
40～49 歳	プールそのもののサイズは現状維持で、建物をもっと小さくても良いと思う。低い天井にし、夏の窓オープンもなし。ジムも規模を小さく、現在利用度の高いもののみに限定する。料金はもう少し高くても良い。向日市民と市外の人の二段階料金設定、利用者数が見込める夏期は少し高めにするのもあり。駐車場代も取っていいのではないかな。プールに来ていない人も停めていることがあるように思う
40～49 歳	母が毎日楽しんで利用していた。会費などを値上げしたとしても、お年寄りが体を動かす施設を残してほしいと思う
40～49 歳	向日市民は料金を安いままにしてもらえると継続して利用しやすい。市外の人は申し訳ないが値上げするべきだと思う
40～49 歳	・個人的には、人が少ない方がゆっくり利用できてありがたいが、運営していくにはそうはいかないので何とも言えない。ただ、利用者が増えると利用者間トラブルの発生率が高くなる。そのあたりの問題を解決できれば良いのだが… ・交通の便が非常に悪い。駐車場は有料にするべき。利用者には何らかの優遇措置を加えればよいと思う。以前から利用者以外の駐車が多く、問題となっている
40～49 歳	ここ一年程よく利用させてもらった。使用できなくなってからは下京区や西京極まで行っている。遠くまで行かないといけないため残念で寂しく思っている。気軽に低価格でいつでも利用できる温水プールは魅力的で、将来的には再オープンしてもらいたい。収益等の具体的な案はないが、募集して民間企業に任せる等で何とか再編できないものか
40～49 歳	全国で自然災害が増えているため、避難所としての活用方法も兼ねられる施設を作るのがよいと思う。プールもスイミングスクールの開設ができるように改修出来たらよいと思う。時間や曜日でスイミングスクールと公共プールの日を分けて利用出来たらよいと思う

40～49 歳	健康のため温水プールを利用したい思いはあるため、無くなってしまうのは残念である。近所のお年寄りの方がプール等を利用している様子を見ても、人とのつながりの場となっているようである。規模は小さくなくても良いが、子ども達やお年寄りが利用でき、人とのつながりや健康のための場所として継続していけないかと願う
40～49 歳	子どもと一緒に、雨でも暑くても寒くても行くことが出来てうれしかった。スクールのプールはたくさんあるが、自由に行くことが出来る温水プールは存続してほしいと願う。ただ、費用がかかるのはわかるので、料金見直しや経費の見直しは必要だと思う
40～49 歳	介護予防までの人が運動・入浴できるところがあれば、助かる人が多いと思う
40～49 歳	市の施設として、子ども達にとってもプールは楽しい場所であり、残してほしいと思う。ただ、今後の市の財政状況を考えた場合、適切な金額で運営してほしいとの思いもある。財政状況を踏まえ、適切な規模で運営していける方法を考えてもらいたい
40～49 歳	10 億円以上という費用がどの程度なのかかわからないが、予算が許すなら存続が望ましい。コロナで利用者が減少したのは仕方ないことで、それを理由に廃止するのはどうかと思う。感染収束のめどが立ってから、期間限定で再オープンし、その利用者数によって今後の方針を立ててはどうか。また、お風呂について、誰でも気軽に利用できる入浴施設があると、より利用者数も増えるのではないかと
40～49 歳	ジムなどは必要ない。プールのみを再建してほしい。サウナについても、費用がかかるなら不要である。思い出があるため、できるだけ存続の方針で検討して欲しい
40～49 歳	以前利用していたが、とても安かったため値上げしても良いと思う。向日市民とその他の利用者の値段については差が必要。
40～49 歳	スポーツジムで利用するとコストがかかる。この低価格で利用できる温水プールに価値があると思う。存続を希望する
40～49 歳	無駄に金を使わないでほしい
40～49 歳	向日市民とそれ以外で料金の差がもっとあってもいいと感じている。施設の中に、気軽に入れる飲食スペースや子どもの遊び場があればうれしい
40～49 歳	市民プールがあることは良いことだと思う。駐車場を広く停めやすくしたり、利用料金の見直しなどで、みんなが利用しやすくしてほしい。お風呂はいらないと思う
40～49 歳	向日市民からすると、ちょうど利用しやすい位置にあって便利で、今後年を重ねた時にはジムに行きたいと思っているため、残っていてほしい。市のお金を回すことはできないのか？
40～49 歳	修繕や建て替え用の費用の積み立てはしていなかったのか。当初から利用料金を値上げしたり、他地域の利用者から多く料金を取るなどの対策をしていれば、このような自体は起こらなかった。次に建てる施設は、将来のことを見据えて計画し、向日市に住んで良かったと思えるようにしてもらいたい
40～49 歳	向日市民とそれ以外の料金の差別化
40～49 歳	公共の施設として、プールは残すべきだと考える。市民・市外の利用者の料金差をつけての対応が主となっているため、利用状況をみてバランスの取れる範囲を探るのは必要だと思う
40～49 歳	個人的にはプールを利用していないため、廃止されても問題ないのだが、親子連れや障がい者・高齢者の方等、民間の施設には行きづらい人にとっては市が運営するプール等の施設は必要であると思う

40～49 歳	市民が自由に使えるプールが健康の増進に大きく役立っている。ぜひとも継続を検討してほしい
40～49 歳	今後向日市の人口が増えていくという予測であれば、長く利用価値があると思う。高齢者にとっては健康増進・社会交流の場であり、あった方がよいが、老人福祉センターや保健センターなどの事業がもっと充実したものを増やせるのであれば、それも代わりになると思う
40～49 歳	所在地を考えると、向日市民以外の利用が多くても仕方がない。また、コロナ禍である令和 3 年度の市民／市民以外の利用区分データを提示されてもあまり参考にならないように感じる
40～49 歳	子どもにとっての水遊び・プール遊びはとても大切で、生涯スポーツとしてもプール環境が存続できることを願っている
40～49 歳	向日市外の利用者料金を上げることで、少しは維持費に貢献できるのではないかな
40～49 歳	今は子どもが小さいため、もう少し大きくなったら利用したい。近くにこういった施設があることはとても貴重で、ぜひ残してほしい
40～49 歳	・子どもからお年寄りまで幅広く利用できる温水プールは、今後も向日市に必要だと思う ・既存の開閉式屋根や、新たに子ども用プールには滑り台をつけるなどして、魅力的なプールにしていってほしい。付加価値のあるプールになることで、向日市内・市外近郊の人々も訪れると思う ・今までの料金は子育て世帯としてはありがたく、助かっていた。しかし多少の値上げは想定している。市外の人是一般的なプールの使用料金を設定することによって、向日市民の料金値上がりを少しでも補ってほしい
40～49 歳	長期的に使用できるよう、計画的な公共施設の建設を望む
40～49 歳	・コロナにより、自分や家族の健康を見直す人が多くなったと思う。温水プールは存続すべき ・高齢者だけでなく、全体的な ADL が落ちていることは明白。近場で健康づくりができる場は必要 ・現在は閉鎖しているため、夜は真っ暗で治安も悪く感じられる ・このアンケートにおいて「廃止を望む」が多かったと既成事実を作り上げ、「存続しない」とする方向に持っていこうとするように思える ・向日市の活性化として一翼を担っている。市民プールは市のアピールできることである ・他の無駄に使用している費用を廃止あるいは改善していくべきではないか？
40～49 歳	サウナとお風呂は不要。市内・市外料金の区別をつける
40～49 歳	必ず復活させてほしい
40～49 歳	高齢者と子ども達のために、ぜひ出来るだけ長い開館を望む
40～49 歳	コロナによってそれまで継続的に利用していたプールに行けなくなっていた。利用者の減少はコロナが原因ではないか。お風呂やサウナ、天井の開閉機能は、あれば楽しいが、規模縮小のためになくしたらよいと思う。また、料金を上げてでも継続してほしいが、それによって利用者が減ってしまっただけでは意味がないとも思う
40～49 歳	・向日市民に利用しやすく、市外の方からは値段を高くしてほしい ・サウナや開閉式の屋根は要らない ・プールも健康増進センターも向日市民に必要だとは思いますが、必要なものと不必要なものを見直して、無駄のないように検討してもらいたい
40～49 歳	今後継続していくため、向日市民とそれ以外の利用者の料金に差をつけたり、小中学生のプール授業を市民プールで行い、小中学校のプール授業にかかる費用をカットするなど、有効に活用できる手段を考えていけばよいのではないかな。サウナ・お風呂に関しては必ずしも必要とは

	いえない。建て替え・改修に際して、必要のない部分は撤去して、運営の健全化が図られることを期待する
40～49 歳	医療費削減のためにも、プールやジムなどの健康促進や維持のための施設は必要だと考える。向日町駅の開発を進めるだけでなく、市民が利用できる公共施設にも力を入れてほしい。子どもから高齢者まで様々な年代の人から意見を聞いて新しい施設をつくってほしい
40～49 歳	子育て時には、高い金額を出さなくても水泳を教えたり、水に慣れさせたりと本当に助かった。自身も体力の維持や社会とつながる機会づくりに役立ち、家族みんなこのプールに育ててもらっていた。歴史的な建築物の保存も大切だが、今・未来のためにすべての世代の人が楽しめる・生きがいとなる施設は大切だと思う。最近の市の傾向をみると、ますます子育てしづらく、暮らしにくい町になっていきそう
40～49 歳	プールは市営、風呂などの設備は民間会社に運営を委託し、土地代を収益に変えてはどうか。171 号線も近くにあり、車も多く、スーパー銭湯などの施設があると市民もうれしい。市民と市民以外で料金面を変えても良いと思う
40～49 歳	・お風呂やサウナなどの無くても良い設備や、市内で重複しているジムなどの設備を集約化し、スリム化を図る ・可動屋根は不要 ・プールは全身運動が出来、老若男女問わず幅広い市民が使える設備であるが、維持管理費を考えると、近隣の温水プールで代用するのもいいのかもしれない、と考えることもある
40～49 歳	税金の使い方に疑問を感じている。子育てしやすい向日市だと聞いているが、全く感じられずに残念に思う。プールに通っていた子どもも多くいるが、これ以上そういった子どものためになる場所をなくすのはやめてもらいたい
40～49 歳	向日市民とそれ以外での利用料金に差をもっとつけても良いと思う
40～49 歳	西京極にあるプールのように、きれいに作ってほしい。少々小さくなくても構わないし、スポーツジムはなくてもよい。ふらっと気軽に泳ぐことを楽しめる、きれいなプールであってほしい。カフェもあれば行く回数も増えると思う
40～49 歳	子どものころから、季節に関係なく、一人でも友人ともよく行っていた。家族が出来てからは子どもを連れて、スイミングレッスンにも行かせていた。夫婦共働きで毎日忙しい中、気軽にリフレッシュできる良い施設だと思う。長岡京市や京都市の友人もこの施設が引き続き使用できるようになってほしいと言っている。他市の者は多少利用料が高くても良いと言っていた。自分自身も、市民の利用料が高くなっても構わないと思っている
40～49 歳	ゆめパレアむこうを生活になくしてはならない施設と思っている方が多数いるのであれば存続させてほしい
40～49 歳	・高い会員費を払ってジムに行かなければ自由に運動できるところがなく、市民プールは貴重である ・利用料金の値上げは問題ない ・存続のための費用が市の財源に対してどの程度を占めるのかがわからないが、身の丈に合った規模のものを保持するのが当然だと思う ・市民の利用が少ないのに、他市民のために高額を負担して維持するのは違うと思う

	・ JR の西側に住んでいる者にとって、JR を越えるのは面倒である。場所的な問題もあり、市民の利用者が少ないのではないかな？
40～49 歳	近隣には少ない施設であり、できれば存続が望ましい。利用料が安価であることはうれしいが、そのために経営を圧迫するのであれば、多少の値上げはみな納得するのではないかな
40～49 歳	・ 市民の健康のことを考えるのであれば続けてほしい ・ プールのサイズを小さくすれば経費は抑えられるのではないかな。また、小さい方のプールはなくし、スクールのように、台を水に沈めてスペースをつくればよいのではないかな。時間帯に分けて利用者を考えれば、サイズを小さくしても問題はないのではないかな ・ 令和 2～3 年と利用者が減少したように見えるのはコロナの時期であり、また 3 年に向けて増えているため、市民の考えとしては必要であると思っているのではないかな
40～49 歳	車椅子の障がい者も気軽に利用できるよう、例えば着脱用個室や、介助員その他の配慮を希望する
40～49 歳	昔からある市民温水プール、ぜひ存続を願う。活気ある町づくりには必要だと思う。利用料や時間など、現在までの運営の見直しを。垣根の低い雰囲気はとても利用しやすかった
40～49 歳	福祉の施設なので、単体で赤字だからといって廃止すべきではない。他市と比べて医療費や平均寿命などがどうなっているかをデータ化してほしい。個人的には、小さい子どもがいるため、夏のプールは安価で非常に助かっている。ぜひとも継続してほしい
40～49 歳	子育て世代のためにも存続してほしいと思っている。また、リタイア世代にもとても利用されていると思う。近年コロナで利用者が減っていただけではないかな。向日市民の健康維持のためにも存続してほしい。利用料金・駐車料金は多少なり負担が必要だと思う。なくすのは簡単だが、また作りたいという人が多く出た時に大変ではないかな？
40～49 歳	長年スイミングスクールやダンス教室でお世話になってきたが、突然スクールがなくなってしまった。習い事は通いやすいところがよいと思っているため、大変残念に思う。料金が多少高くなってでも、復活してもらいたいと思っている。駐車料金も取ってもよいし、規模も以前より小さくしても良いと思う
40～49 歳	・ 冬の利用者を増やす取り組み ・ LCC のように、利用したいサービスごとに値段設定をする
40～49 歳	向日町駅の東口に改札が出来れば、シャトルバスやレンタサイクル等でアクセスもしやすくなり、車のない人や子ども連れも利用しやすくなるのではないかな。向日市民以外の利用者の料金をもう少し上げて良いと思う
40～49 歳	子育て世代の交流の場としてとても便利で、利用しやすかった。もう一度利用したいという周りの意見も多いため、ぜひ復活してもらいたい
40～49 歳	今回の向日市の判断で、子どものスイミングスクールをやめなければならなくなった。親子共々ショックを受けている。存続には多額の費用がかかると思うが、市民としては残してほしい気持ちが強い。向日市は小さな市だが、便利さもあり、このような施設があることは魅力にもなると思う。お風呂・サウナは不要。施設規模を小さくし、維持管理費を少なくしてでもぜひ存続を検討してほしい
40～49 歳	大切な市の施設をなくしてほしくない
40～49 歳	市民プールで良く会う人を、西京極のプールでも見かけた。結局、行く人は料金が上がっても行く。電車賃やガソリン代として使うものを向日市に落とせる。実際、お年寄りが多いように

	思ったが、人を増やすには子育て世代を取り込む方法が必要。スイミングスクールとしての魅力も低かったように思う
40～49 歳	子どもと楽しく過ごせ、リラックスできるものであればうれしい
40～49 歳	一部民営化にするなど、存続を希望する
40～49 歳	・屋外の芝生の部分を有効活用すべき ・施設入り口から入って左側のソファの待合空間も有効活用できるはず ・もったいない部分が多いため、維持費の削減や見直しをして再開してほしい ・施設を小さくしてコストを削減するか、収益を見込めるように立て替えてほしい
40～49 歳	普段利用はしていないが、子どもから高齢者まで気軽に全世代が利用できる、市唯一の施設だと思う。他市からの利用者が多いというのは、それだけ魅力的なこと。向日市の宝ではないか。施設が新しくなれば、利用者は格段に増えると思う。駐車場の有料化、市・市外の差別化は必須だと思う。市には長期的運用をする方法を考えてほしい。市民的にはホールよりもプールである
40～49 歳	温水プール、健康増進センターのように、幅広い年代が利用できる施設は、市民の健康維持にとってとても大切な施設であると思う。時代に沿った施設に建て替えるなどして、存続してほしい。サウナや入浴施設は不要。市民としては、市役所の最上階レストラン、各所にあるタッチパネルの電子案内板（あまり利用されておらず、調整中のもの）、向日市検定など、本当に必要なのか疑問に思っている。市税を市民に還元するような使い方を望む。他市と比べ図書館の規模も小さく感じる
40～49 歳	高校の部活動で利用していた。子どもが出来て、一緒に泳ぎたいと思ったが閉鎖されていたため残念に思った。また行ける日が来たら良いと思う
40～49 歳	子どもがスイミングスクールに通っているが、スクールでは自由にできないため、自分の泳ぎの確認や、自由に楽しむために市民プールの子ども用のところをよく利用していた。これからは気軽に子どもも利用できる施設として存続させてもらえると嬉しい。費用面ではやはり縮小せざるを得ないと思うため、子ども用の水深が浅い方はなくして、夏場だけビニールプールを置くなどでも良いと思う。サウナもなくして良いと思う。また、健康増進センターについて、女性専用のエリアがあればうれしい。筋トレについて、男性が近くで待っていると気になってしまうため、利用をためらってしまう。完全に分かれていなくてもよいので、専用エリアがあるとわかれば女性も利用しやすくなると思う
40～49 歳	存続できるように祈っている
40～49 歳	いずれ時間が出来た時には、運動不足の解消のために温水プールを利用したいと思っていた。使いたいときに都度使えるのはこじかないので、残せるのであれば残してほしい
40～49 歳	色々な思い出が詰まった大切な場だったので、休館を知ったときはショックだった。できれば存続を希望するが、これほど多額の費用を要するのかわかり、存続は難しいのかもしれないと考えている。地元の人にとって大切な場だったと思う。他の施設へ通うことが難しい人は、外出・交流の機会が減ってしまうかもしれないと心配に思っている
40～49 歳	今は子ども達が手軽に楽しめるプールが全くない。温水プールは小学生以下の子どもは大人と一緒にでなければ利用できなかったため、利用しづらい面もあったが、近くで安く利用できる

	ため大変ありがたい存在だった。料金を少し高くする、駐車料金を取る等してもいいので、同じようなプールをつくってほしい
40～49 歳	・プールに入りながら新幹線が見えるように建ててほしい。新幹線の見えるプールとして PR するとよいと思う ・新幹線とプール、両方が見えるカフェ（休憩）スペースを設置してほしい ・プール施設内にジャグジーのお風呂を設置してほしい ・向日市民以外の利用料金の差別化 ・駅からの直通バスの運行があるとうれしい
40～49 歳	「ゆめパレアむこう」は、向日市民の健康維持・増進のために必要な施設だと思う。子どもから高齢者、障がいを持った人など、幅広い市民が利用しているのを目の当たりにし、「ゆめパレアむこう」は向日市が誇れる施設だと感じるようになった。間違いなく市民の健康寿命延長に役立っていると思う。労働世代の私自身、税金を納めているのは施設維持のためといっても過言ではない。規模を縮小したとしても構わないので、市民プールの継続を希望する。市民の生きがいや健康づくり、市民の将来の姿について考えてもらいたい。市役所の建て替えや別館建設のためには税金を使うのに、市民のための施設改修には税金を使ってくれないというのは納得がいかない
40～49 歳	規模を縮小するなど費用を抑え、存続を願っている
40～49 歳	・オールシーズン利用できることをもっと知ってもらうべき ・シーズンオフはワイワイスポーツ等で利用できるようにすれば、両方会員増につながるのではないか
40～49 歳	存在は知っていたが詳しく知らなかったため、何らかの形で PR をもっとすれば利用が増えるのに、と思っていた。市民プールを継続してほしいと思っているため、料金が上がったとしても利用したいと考えている。ただ、修繕費用の事を考えると、安易に存続してほしいと言いはない。存続のために寄付を募っても良いのではないかな。そうなった場合、自分は払っても構わないと思っている
40～49 歳	・各町でお得な日をつくるなどで利用しやすくする ・学校の授業でも使用し、水の危険さなどを教えてほしい ・ロッカーは広く、清潔感あふれるようにしてほしい ・駐車場を広く、停めやすくする。小さい子どもがいる家庭は車での移動がベストなので ・夏休みは時間を決めて子どもに無料開放し、保護者にも協力してもらい監視してもらうようにする ・水難事故を減らすために、水に触れることを増やすことも大切
40～49 歳	夏などの季節は濡れた髪を気にせず自転車で帰れたが、寒くなると子どもが風邪をひかないか気になり、利用を控えてしまう。利用時間内に髪を乾かすのは困難なので、一旦受付が終わった後、髪を乾かせるような場所があれば、自転車利用者が行きやすくなるように思っている
40～49 歳	親子で気軽に利用できる施設だったので、今後も続けて利用できるように希望する
40～49 歳	豪華な施設より、運動できる施設をつくってほしい。地域貢献の一環として必要だと思う。向日市民だけでなく、他の市民からも収入が得られる
40～49 歳	コロナに負けず、次世代の子ども達のためにも存続させてほしい

40～49 歳	5 年前に市民になったため利用したことがない。存続してほしい
40～49 歳	玄関前のスペースが無駄に感じる。もう少し駐車場を広げて有料化すればと思う
40～49 歳	・民間企業でも「心と体の健康」が重視されてきた中での廃止はありえないと思う ・多少利用料金が上がるのは仕方ないが、市民以外の料金設定をもっと上げて続けてほしい ・立地的に車の利用が必要なので、駐車料金はあっても良いかもしれない
40～49 歳	子どもからお年寄りまで身近に使用できる市民温水プールは、健康促進に重要な場所だと思う。新たに建て替え、なるべく改修費用を抑えて存続してほしい。そのためには利用料を少し値上げしても問題ないと思う
40～49 歳	まず、このアンケートがなぜ私のところにきたのか何も説明がない。無作為なのだろうか。プールを設立した時にこの様な維持費がかかるということは分かっていたはずではないか。ものすごく立派な市役所が新調されたのに、プールはできないのか
40～49 歳	・向日市は、公共の施設等、はっきり言って大したものがない。その中で温水プールは、市が持つ市民を満足させる数少ない資産である。存続させるべきである ・市民が必要としているかどうかのヒアリングは閉鎖前に行うべき。また、要・不要アンケートではなく、再開前提に具体案を示し、それについてのアンケートをすべき。 ・アンケートについて、「存続するための具体策をお聞かせください」とあるが、これは市民に求めるものではなく、存続させるために考えるのが税金を徴収している市の役割である。少なくとも、市は存続のために具体的にどのような案を出し、誰がどのような検討をしたのか、また誰がどのような根拠で閉鎖の意思決定をしたのかを、責任の所在と共に具体的に示すべき。また問 5 についても同様に、市の財政状況や過去からの財政の改善・成果を示すことなく、「多くの予算が必要なことだけ」を示しており、市民の理解を得ようとするのではなく、反対意見が出しづらくなるだけではないか。参考資料も同様で、向日市以外の人の利用割合が多いとのことだが、それは他の施設でもあるのではないか。同軸での比較データもなく、ただ市民にあまり利用されていないというイメージ作りの資料にしか見えない。向日市民を母数とした場合の割合として多いのか、他市の同様の施設に比べ低いのか、向日市の他の施設に比べて実数としてどうなのかなども示されない、データとして恣意的な要素が多分にある ・そもそも少子高齢化社会の到来や向日市の人口が少ないことなどは、昔から予想がつくことである。その予想ができなかったというのは、現場の方々ではなく、歴代の市長以下、裁量を持つ意思決定層の怠惰である。参考資料では、コロナ禍により温水プールの利用者数減が示されているが、他の向日市が作る施設・道路等は、見合う稼働を得ているのか。温水プールに予算が回らない、財政が厳しいのではなくて、市民の望まないところに無駄にお金を回しているから財政が厳しいのではないか。温水プール閉鎖以前に、まず市はそれを認め改めるべき。無駄な予算を削減し、それを市民が求めている温水プールや安全な道路に使うべきで、その上で不足であれば、利用料の値上げ、土日以外の集客の弱い日の利用客数増等に運営フェーズの検討に移るべき。大前提の改善に向きあうべきである
40～49 歳	・アンケートの送付先を、なぜ世帯主にしないのか、市民の声を多く集めたいというのなら、なぜ市民全世帯に配布しないのか、疑問に感じる。色々な意図が透けて見える。なぜそのことを明記しないのか ・子どもがいるため、ずっと市民温水プールを利用したいと思っていたが、アクセスの不便さ

	から、仕方なく長岡のスイミングスクールを利用していた。バスの拡充を図るなど、もう少し集客の為に努力をした方が良いと思う。例えば、ぐるっとむこうバスの増便や、独自の巡回バスの運行などはどうか ・市民温水プールは、維持費が高いから閉鎖したいのだろうが、市内の公立小学校のプールを閉鎖し、水泳の授業の為に開放した方が、小学校の方でかなり費用を削減できるのではないかな。子どもも、学校のプールが汚く、市民プールの方が嬉しいと言っている。授業の為にバスも出ると良いと思う ・ゆめパレアを利用しない理由は、アクセスの不便さ以外にも、京都市からの利用者が多く、マナーが悪いと聞かからである。一部の常連客がスペースを陣取って動かないため、新規の客が寄り付かないとも聞いている。もう少し運営側も注意した方が良い。市民のための施設なら、市民以外との価格差を大きくしてほしい。あと、喫茶店など、時間潰しできる場所も欲しい。体育館と被っているジムを無くし、喫茶店を作ってはどうか
40～49 歳	・参考資料が本当に参考になった。市民プールは小さくしてもいいので、無理のないように運用してほしい ・サウナは今流行しており、人が呼べると思うが、経費がかかり過ぎるなら考え直すべき ・駐車場の有料化には賛成
40～49 歳	・お風呂やサウナなどの過度な設備は不要 ・建物もシンプルなものにして、費用を少なくして再建設してほしい ・多少の利用料値上げはあっても良いと思う
40～49 歳	今は現在温水プールは利用していないが、年を重ねていくと、もしかしたら利用する・したいと思うかもしれない。向日町駅東口ができることで人口増・税収増の可能性もある。公共の場ということで、経費の使い方が民間より甘い気がする。儲けが少しでも出せるくらいを考える運営は必要。利用する人は利用するし、利用しない人はしないので、利用する人の金額負担は妥当だと思う
40～49 歳	・利用者の延べ人数の近年の減少は、コロナ禍の影響だと思う。年間 13 万人では維持継続が難しいのだろうか ・市民の利用者数が少ないのは向日市の人口推移と連動しているのだろうか。近隣の市の比較施設とのデータの違いはあるのか。運営が成り立っている市民プールがあれば、参考にできることはないか ・スイミングスクールのプールはあるが、家族・子どもを連れて気軽に遊べるプールが無くなるのは残念で、何とか復活してほしい。地域交流の場として必要 ・サウンディング型市場調査について、ゆめパレアむこうが規模が大きいとのことだが、何ができるように、どれくらい規模が大きいのか分からない。プールが大きいのか、健康増進センターが大きいのか。ダウンサイジングは何をどれくらい小さくするのか… ・修繕費用の見込額について、市の予算比でどれだけ圧迫されるのか分かりにくい ・利用料金は上がっても構わない。市民と市民以外の料金の差を付ければよい ・今回の検討施設に何が含まれているのか、よく分からなかった。プールだけの話ではないようだが…民間ジムのようなお風呂、サウナは無くしてもよいと思う。プール、トレーニング室、シャワーだけでよいのではないかな

40～49 歳	一度取り壊し、初めから作り直す方が良い。両センター共、利用者数は、平成 25 年から令和元年の平均は維持できると見込める。民間企業などへの業務委託ができれば、設備投資等の融資も期待できるし、WIN-WIN の関係になるのではないかな。これからのことも考えると、福祉関係も考えながら進めていくべき
40～49 歳	子どもがもう少し大きくなったら連れていきたいと思っていたので、できるだけ存続させてほしい。独身時代、長岡京市在中だったが結構通っていた。ジムに通うより気軽に行けるのでお気に入りだった
40～49 歳	向日市民は優先的に使用出来るよう、一般よりも料金を低く設定し、使用率の低い器具は不要。トレーニングやプールの後のお風呂は気持ちいいが、維持費が高額で厳しいのであれば、温水が出るシャワーのみで良い
40～49 歳	・土地を売却し、建て替え費用にあてる ・駐車スペースが減った分は中央のスペースを駐車場に変換 ・市内外居住者で利用料金の差別化
40～49 歳	向日市民とそれ以外で利用料の差を今以上につける。お風呂とサウナは不要。シャワーのみで良い。我々が支払う税金の使い道として目に見える形で実感できるので、市民温水プールは存続してほしい
40～49 歳	向日市民に恩恵が少なかったように思う
40～49 歳	毎年夏には子ども達と利用している。近くて、広さも丁度良く、大好きなプールである
40～49 歳	市民プールが閉鎖すると聞いた時はとても残念に思った。夏になると子どもとよく利用しており、子どもがとても好きな場所の 1 つだった。存続を考えると料金の見直しなども必要だと思うが、それをしてでも残してほしいと思う。私の父母も今年から利用したいと思っていたようで、残念がっていた。また利用できる日を楽しみにしている
50～59 歳	人口構造の変化、時代のトレンドの変化（高齢者の生き方・子どもの育て方など）を常に先読みして、設置する目的や利用の在り方を、適宜柔軟に変化させ対応できるようにしてほしい。そうして、無駄のない安定した運営をずっと続けてほしい
50～59 歳	プールで健康を維持している人が多くいるので、これからも温水プールは必要だと思う
50～59 歳	市民以外の利用者は値上げすべき。市民の健康増進には役立っていると思う
50～59 歳	向日市が運営するのが厳しい場合、企業にスポンサーを募集して、お金を集めて共同経営をとることを提案する
50～59 歳	存続は大変なことだと思うが、市民プールがなくなってしまうと向日市の魅力がまた一つなくなってしまう。何とか残してほしいと思う
50～59 歳	子どもが小さい頃、よく利用していた。近くにプールがあるということは嬉しかった。子育ても終わり、これからは趣味の活動などができるかと楽しみにしていたが、休館となり寂しく感じた。向日市民として、いろんな年代の人と触れ合える場所があれば良いと思っており、ぜひとも再館を希望している
50～59 歳	規模を縮小しても、予算等を考えればやむを得ないと思う。安心・安全に市民に今後も利用してもらうには、取り壊し・建て直し・規模縮小で低予算でできることを実行してほしい。利用料の微かな値上げは致し方ないと思う

50～59 歳	健康維持のため、家族で毎週通っていた。プールで運動することにより、健康に生活することが出来る。費用がかかる分は、皆で知恵を出し合い、適切な大きさの改修を行い、プールの存続を希望する
50～59 歳	子どもが幼かったころ、スイミングスクールで大変お世話になった。もっと PR すれば、他市町村からの利用もあると思う。まず、水の綺麗なプールにして、利用料金を上げればよいと思う。171 号線からも近く、立地も良いため、無駄を省いた建て替えと運営の仕方、新しい形の市民プールとして復活してほしい
50～59 歳	・向日市の水道代が高いのは仕方ないが、プールの水がかなり薬品臭く、一度行って、それから 10 年以上行っていない。消毒は重要なことだが、他のプールと比べて気になる ・明るい近代的な建物にし、室内憩いのおしゃれなスペースをたくさん作り、カルチャーセンターなどを併設し、もっと市民が集まって楽しい建物になると良いと思う
50～59 歳	健康増進のためにも、温水プールは必要である。参考資料にあったように、風呂やサウナは必要ないと思う。市民の利用を多くするために、巡回バスを増やす、もしくはプール専用送迎バスを運用する。駐車場も増やすべき
50～59 歳	プールを存続させるにしろ、規模を縮小するにしろ、維持管理を利用料に上乗せし、黒字の出る経営を願う。費用がないから存続できない、というのはおかしい。市民会館にあれだけのお金をかけるより、市民プールに回せたのではないかな。施設の老朽化は必ずやってくるのに、なぜそれを見越して利用料を値上げした分をプールの維持管理費にまわすということをしてこなかったのか。規模を縮小したところで、また 20 年・30 年先に同じことにならないよう、きちんとした運営を願う。利益は求めているが、健康推進課なら存続させてこそ意味があると思う。デイサービスなどの施設も大切だが、介護の予防のためにも必要な施設だと思う
50～59 歳	向日市が誇れる自慢のプールだと思っていた。民間企業のプールと違い、比較的安価であったこともありがたかった。健康増進センターやプールは、中高年や高齢者のための運動施設として、今後ますます必要ではないかと考える。JR 向日町駅開発にお金をかけて箱モノを作るよりも、老若男女から継続して愛される、市民が誇れるこの市民温水プールをぜひ再開してほしいと心より願っている
50～59 歳	向日市はだんだんと住みにくい町になっている気がする。統一した考えのもと、まちづくりを希望する。市民プールの問題だけでなく、すべてに無計画さを感じている
50～59 歳	プールがあるから引っ越してくる・家を建てる人もいると思う。なくしてしまうと不満が出ると思う。世間ではプール付きのフィットネスが流行っており、会費として月 8000 円～12000 円支払っている。どうして流行るのか分析し、それよりも安価で利用できれば市民は喜ぶと思う。それから、今の市民プールはおしゃれさが足りていないと感じる。行きたくなるような、向日市民が自慢できるような施設になるよう、楽しみにしている
50～59 歳	JR 向日町駅東口の工事にしても、周りにホテルだとか、マンションだとか。ホテルが建ってどこに行くのか。向日市は観光地でもない。市民にとって必要なことにお金を使ってほしい
50～59 歳	年齢を問わず利用でき、大人と子どもと一緒に楽しめる施設としては、市民が誇れるものだと思う。利用料の値上げはやむなしと思うが、できれば駐車場は現状のまま、あるいは低料金に抑えてもらいたい

50～59 歳	子ども達が幼い時はスクールでお世話になった。自分自身も子ども達とプール・センターを利用していたため、料金値上げや駐車場有料、カットできる部分は進めて、存続を希望する
50～59 歳	今後市民の健康増進のために、高齢者の方々からのコミュニケーションの場としてぜひ存続してもらいたい。多少の規模縮小・利用料の見直しなどはアリだと思う
50～59 歳	子どもが小さい頃たくさん遊ばせてもらった。お年寄りも多かった。年寄りが気軽に運動できる場所はあった方が絶対に良いと思う
50～59 歳	子どもが小学生の頃にスクールに通っていた。なくなるのは残念だと言っている。利用料・施設の縮小・駐車場有料化などを見直し、ぜひ存続を希望する
50～59 歳	プールは規模を縮小してでも存続できればよいと思う。シャワーは必要だが、お風呂やサウナは不要だと感じている。駐車場についても、中央の広場を駐車スペースに変更し、料金を一回100円でも有料化してしまうのも良いと思う。利用料金についても、少し上げて良いと思う
50～59 歳	子どものために存続を希望する
50～59 歳	市民温水プールは向日市の誇れる施設であり、他の市にはないと思うため、存続してほしい。もっと周知させ、利用者を増やすべき
50～59 歳	市外の利用客にはそれなりの料金を設定すればよいと思う
50～59 歳	向日市民にとって良い選択になればと願う
50～59 歳	小さな市なのに立派なプールで、誇れる施設だと思っている。使用料を見直しても良いのではないかな。官民一体での運営も良いかもしれない。民間の料金と差別化するために、利用料の一部を市が負担するなど…また、もっと施設のアピールをしても良いと思う。そのためにも、企業との連携は可能性が広がるのではないかな？
50～59 歳	プールを縮小し、幼児～小学生が楽しめる、キッズプールにしてはどうか。中高生ともなると、スイムキャップをかぶってプールに入るのが格好悪い、恥ずかしいと言ってほとんどの子が利用していない。お年寄りに関しては、いくつものジムやプールがあるため、そこを利用すればよいと思う。少し料金を上げて良いので、プールを存続させていくべき。パーキング代も徴収すればどうだろうか
50～59 歳	民間と提携し、スイミングスクールとして貸し出す。送迎バスの充実。ラーメン屋などの誘致。体育館とのシナジーで、バスケやバドミントンの試合開催等、そもそも人が集まる一帯を目指していく。値上げしても十分行きたい施設一帯を目指す
50～59 歳	市民温水プールの規模を縮小してでも残して、大規模災害時の避難場所としても使える場所になれば良いと思う。また、タケノコやナスの直売所や長岡京跡観光の拠点など、市外からも収益を得られれば良いと思う
50～59 歳	健康増進センターの存続を望む。また、持続可能な維持方法を検討してほしい
50～59 歳	使いたいが、遠いためなかなか行けない。移動しやすいバスなどを有料で考えてもらえと行きやすくなるため使いたい
50～59 歳	利用料金や駐車代が今と同じくらいならば利用しやすいと思う
50～59 歳	こんなアンケートにお金を使っているように、無駄遣いが多くあるように感じる
50～59 歳	可能であれば継続して利用したい
50～59 歳	周知が必要だと思う。施設としてはないよりあった方がよい。利用料金は多少の値上げも必要だが、何らかの補助はあってほしい。コロナが終息すれば利用者も戻ってくるのではないかな

50～59 歳	プールがなくなるのはとても寂しく感じる。市営のプールがあることは、向日市民にとってとてもうれしく、誇れるものだと思う。維持費がかかるのはわかるが、市民とそれ以外で金に差をつけて利用料を取る、駐車代を取る、建て替え費をクラウドファンディングで募るなど、何とか存続できないかと思う
50～59 歳	健康寿命を延ばすためにも、子育てのしやすい町の一環としても、プールの存続を願う
50～59 歳	子どもから老人まで使えて、向日市民以外の人も来たくなるような複合型施設が出来たらよいと思う
50～59 歳	もともとこの施設がつくられた意味を継続してほしい
50～59 歳	利用料金の値上げはやむなしだが、駐車場の有料化は反対である
50～59 歳	JR 向日町も開発されるため、利用者も増えるかもしれない。現在利用しているのは常連の方ばかりで、新しく向日市民になった身としては利用しにくい
50～59 歳	少し時間のある時の短時間の利用時に、すごくありがたく感じていた。コロナ禍でなかなか利用できず、「そろそろ行ってみようかな」と思っていたため、休館は大変残念に思う。ぜひ再開してほしい、そのための多少の値上げや規模の縮小はやむを得ない
50～59 歳	向日市民が使いやすい施設にしてほしい
50～59 歳	向日市以外からも多数来られているが、他市町村や企業からの援助もお願いしてはどうか
50～59 歳	市民プールと体育館は暗くて古いイメージ。いつも車が停まっていた、プールをどれだけの人が利用しているのかわかりにくい
50～59 歳	市民プールの名の通り、市民の誰もが気軽に利用でき、体力向上・健康増進の役に立つものにしてほしいと願っている
50～59 歳	プールに通うことで身体が健康になるだけでなく、コミュニケーションにより心も健康になるため、ぜひ再開してもらいたい。赤字なのであれば、あまり使われていない風呂やサウナをなくせばよい。多少の値上げは仕方ないと思うが、向日市の市税でつくられるのだから、向日市民以外の人には応分の負担をしてもらえばよいのではないかな
50～59 歳	・入浴施設はシャワーだけで良い。無理に安い料金でお風呂やサウナを提供する必要はない ・駐車場も有料化してよい。システムを導入できるのなら、向日市民とそれ以外で駐車料金を差別化できるし、市民も納得できるのではないかな
50～59 歳	全体的な利用料の値上げ、市外者の利用料値上げに賛成している。運動不足による体調変化で医療費を支払うよりよっぽどうれしいことだと思う。向日市民の健康のため、子どもたちのより良い未来のため、ぜひ何らかの形で再建してほしい
50～59 歳	子どもが小さい頃、水泳教室や親子で遊泳などで大変お世話になったプールが休館と知り、とても寂しい思いをしている。既存施設を取り壊して、規模を縮小・料金の見直しなどのできる限り存続の方向でお願いしたい
50～59 歳	駐車場を拡大してほしい
50～59 歳	新型コロナウイルスでの利用減少はやむを得ないことで、ここは乗り越えた後の利用状況をみてから判断しても遅くないと思う
50～59 歳	参考資料を活用し、損益分岐点などの計算をして、新しい施設の規模や内容、料金設定を考えて、福祉面からも必要であると思うので、必要な人がまた利用できるように願う

50～59 歳	子ども達が幼稚園や小学生のころ、よく利用していた。家族でも楽しめてとてもよい施設だと思っているので、ぜひとも存続の方向で願いたい
50～59 歳	将来、人口が4万人くらいになったときには廃止すべき。どうなったら継続をあきらめるのか、先のことを予測しながら運営してほしい
50～59 歳	駐車場を増やし、料金を取るようにしたらよいと思う。向日市民の利用料金を優遇してもらいたい。トレーニングは体育館を利用すればよいと思う。プールは子どもが夏に気軽に利用できるようにしてもらいたい
50～59 歳	今後も with コロナを意識しての生活が続くかもしれない。アプリなどの導入で利用者の分散や利用時間の制限、利用期間を変則的にすることもできるため、予約制にしても良いのではないかな。柔軟性をもって、時代の変化に対応していくことが大事だと思う。今後修繕・運営・維持管理にお金をかけられないのであれば、廃止も仕方ないと思う。施設の設置目的はとても素晴らしく、健康であることは時間や労力、お金の節約にもなる。先を見据えて明るく希望が持てる次世代へつなぐことのできるまちづくりを、多少時間がかかってもやっていってほしい
50～59 歳	プールを娯楽施設と考え、使いこなすことができなければ、建設費・維持費はもったいないが、今後高齢化が進んでいく中、老人福祉施設として、介護予防という観点からも有効活用していけば、贅沢な施設にはならないのではないかな。また近隣の市町村にもどんどん使用してもらっていく方法を模索していくなどして、存続してほしい
50～59 歳	長岡京市在住時代、同市には同様の施設がなかったため、念願叶って向日市民となり、身近で便利で健康的な施設として大変お世話になった。子どもが小さかったため水遊びの相手と監視がメインだったが、いよいよ小学校に上がり、これからは二人で泳げると思っていた矢先の休館でとても残念に思う。老朽化と収支悪化という事態を聞き、やむを得ないとは思いますが……今後の在り方については、コンパクトな向日市に相応したコンパクトな施設で十分だと考えており、ぜひ再建をして再オープンしてもらいたい。具体的には、プールは25m一面にして、開閉式の屋根やサウナはやめる。自転車やぐるっとむこうバスの利用を前提として、自家用車で乗り入れる者からは高い駐車料金を徴収する。その代わり、プール利用者以外にも駐車場を開放する。運営については民間会社に委託することになるだろうが、スイミングスクールだけでなく種々のイベントや大会を企画でき、市税の投入をもっと抑えられる会社を選んでほしい。もちろんネーミングライツも取り入れ、収支が折り合うよう最大限の努力をしてもらいたい。生涯スポーツとして、水泳やアクアスポーツを切り捨てないでほしい
50～59 歳	・向日市民と市民以外の差はつけ、使用料を値上げする ・駐車場は有料にすべき。いつもたくさん車が停まっているが、本当に利用者だけなのか疑問。民間企業に委託し、利用者は優遇料金を適用する ・周辺企業の社員割引などで、企業の協力を促す
50～59 歳	多目的ホールなどの増設
50～59 歳	東京在住時、プールと児童館が併設されており、子ども連れには夏休みなど半日～1日過ごせて便利だった。プール単体ではなかなか集客は難しいと思う。企業の福利厚生の一環として、プールやジムの割引利用の年間契約をするなど、安定した収入源の確保をしてはどうか

50～59 歳	子どもの長期休暇の際、よく利用していた。子どもが水泳教室に通うことになったとき、ママ友との会話で「ゆめパレアは施設が古く、汚いから通わせない」という話を聞いた。老朽化は仕方ないことだが、新しいプールになればそういった需要も見込めるのではないか。残念ながら向日市には、子どもが水遊びできる場も大きな公園もないため、せめてプールだけでも存続させてほしい。それから、魅力的なプールになるための工夫も必要。閑散期でも来館してもらえるような仕組みや、プールの種類が必要なのではないか
50～59 歳	駐車場の有料化・子どもから年配者へのプールレッスンの実施・近隣中学校へのプール使用願い
50～59 歳	これからの高齢化社会には必要な施設だと思う
50～59 歳	医療費削減に向かうための健康寿命延伸のため、要介護予防、リハビリ等の観点からも存続はしてほしいが、向日市の人口から考えても単独で運営するには設備が立派すぎる気はする。乙訓地域の共同運営はどうか。地元で事業所を構える企業、社会福祉法人などと法人契約を結んで優待するなど…
50～59 歳	お風呂とサウナが充実していたら利用者も増えると思う。お年寄りが温水プールで運動しているのでもなくさないでほしい
50～59 歳	入会するにあたり、市民プールを見に行ったが、あまりよくわからず、ちょっと利用するにはどうかな…という点もあった。もう少しわかりやすい市民プールになるのなら、今後利用していきたいと思うが、前回のままであれば不要だと思う
50～59 歳	場所が向日市民には利用しにくいいため、シャトルバスなどがあれば良いと思う。利用料金については、市民と市外の人で分け、市民は安く利用できるようにしてほしい。気軽にスポーツが楽しめて、カフェなどもあり、いろいろな世代が集える場所にしてもらいたい。そのため、安い費用で存続させるよりも、お金をかけてでも利用したいと思える魅力のある施設をつくってほしい。また、ちびっこが走り回って遊べる場所と、静かに利用したい大人である程度分けて利用できるようにしてほしい
50～59 歳	向日市に越してきたとき、周りの田畑の中に佇む、屋根の解放されたプールをみて、すごく牧歌的でよい風景だと思っていた。その一方で、人口5万人の向日市の規模からして、負担が大きいのではないかと感じていた。プールは本来老若男女楽しめる健康増進施設の最たるものだと考えている。コスト面でプールは大きな負担になるのは十分に理解しているが、規模の縮小や市内企業との業務提携、PR などをして何とか存続させほしい。それから、存続する場合は今のニーズからは水質が大事だと思う。これもコストはかかるが、リピーターをつくるにはほかのプールとの差別化が大事だと思う
50～59 歳	向日市以外から来る人との金額の差別化をしても良いと思う
50～59 歳	維持費用は掛かるが、何もない向日市で唯一の施設ではないかと思う。プール使用を通して具体的な健康維持の秘訣を科学的に示してみてもどうか
50～59 歳	プールを歩きたい。再開を望む
50～59 歳	向日市民とそれ以外の利用者の料金差はつけるべき。短時間利用の設定はありがたかったため、今後も継続してほしい。

50～59 歳	・市民の健康維持のため必要不可欠である ・今廃止してしまうと、二度と作れないと思う ・コロナ禍でなければ利用していた。終息したら利用したいし、そう考える人も大勢いると思う ・高齢者向けの健康維持のための教室などがあれば嬉しい ・都度で利用できるのも必要だが、時間帯や曜日を決めての年会費の会員制度があれば良いと思う。特に平日の昼間は学生や会社員は利用しにくいいため、高齢者向けの何かがあれば良いと思う
50～59 歳	建っている場所は元は田んぼだったところで、生活・仕事の間である。その貴重な田んぼをプールのために差し出したことを忘れず、大切に活用してほしい。「プールが赤字だから他のもの」とは簡単にはならない。仮に無くなったら、次は何になるのか。市民と市民以外で利用料の差をつけ、駐車場を充実しつつ相応の駐車料金を取る。お風呂やサウナ、ジムをなくし、市民にプールの存在の周知と利用呼びかけを行う。これらを行い、存続させてほしい
50～59 歳	出来れば存続してほしい。スポンサーを募り、寄付などは望めないだろうか。プールだけでなく、皆で楽しめる施設も作ってほしい。料金の値上げはやむを得ないと思う
50～59 歳	普段の生活では税金の使い方があまり目に見えず、高い税金を払っているのにな……と思うこともあるが、市民が誰でも使える施設があるというのは、使っていなくても必要だと思っていた。全くなくなってしまつて、跡地が民間に売却され、工場などができてしまつたりするのは…と心配している。向日市も高齢化になってきているため、そのような人が健康維持のために使える地元のプールは大切かと思う。トレーニングジムについては近隣の体育館やジムでカバーできるとは思っている
50～59 歳	向日市に住んで 11 年になるが、知らなかった。ただ、これから長生きする人もどんどん増えてくると思う。病気になれば医療費負担も増える。であれば、市の活動としてプールを利用してもらい、健康的に過ごすには…とアピールしても良いのではないか。興味のある人だけでなく、市を挙げてもっと知ってもらふ努力は必要かと思う
50～59 歳	これから子どもの水泳練習にいつでも使えると思っていたところでの施設終了が残念。市民の健康増進や運動機能向上のために必要だと思っている。シャワーは必要だが、入浴やサウナは必要だろうか。そこをなくすだけでも、維持費が抑えられるのではないか。また、子どもにダンスを習わせていたため、本当に残念に思っている。向日市にダンスを習える場は少なく、次に習う場を見つけるのに苦労した。ダンスなどのスタジオも料金を値上げしても構わないので、利用者が年齢問わず増えるようなアピールをし、利用人数が増えるようにしてほしい
50～59 歳	存続できるように願う。そのためには料金の値上げもやむを得ない
50～59 歳	存続するべきだと思う。ただ、存続するためには規模の縮小・利用料金の値上げ・駐車場の有料化などが必要だと思う。プールは大きすぎると思うので、もう少し規模の小さいプールでも十分ではないか

50～59 歳	・ 会員制でないプールはとても貴重なので、規模を縮小してでも存続してほしい ・ 向日市民とそれ以外で、利用料をもっと差をつけてはどうか ・ 少子化で、小学校の児童の数が減っている。各小学校に現状の大きさのプールを保持することは、児童一人当たりのコストの考えでも合理性がなくなるのではないか。小学校のプールを廃止し、市内の小学校の平日利用などに活用できれば、採算の改善もできるのではないか。バスの運行コストもかかるだろうが、一度シミュレーションしてほしい。子どもも冷たいプールでの水嫌いの印象から解放され、先生も雨天の心配なく授業計画を立てることができる ・ 高齢者の健康維持のため近くにプールがあることが望ましい。会員制よりも、体調に合わせてプールに来ることができ、敷居が下がる ・ ゲームやスマホにとらわれがちな子ども達を、外遊びや実体験へいざなうことはとても大事である。プールを縮小して存続させる場合には、空いた場所に BBQ 施設やボール遊びができる空間などを整備してほしい ・ BBQ 施設は、例えば高校生以下しか入場できないようにして、自主的な実体験の場所として開設できないだろうか。大変ユニークな試みで、全国的にも注目されると思う
50～59 歳	プールは過去に利用したことがあるが、水が冷たくて入れなかった。もう少し温度を上げた方がよい。コロナもこれからどうなるかわからない上、水道代も高い。向日市で何とかなる金額ではない。無理のない範囲でしてほしい。ジムも、機械の種類を増やして充実させれば若者や主婦は必ず行く。ジムは今とても流行っているため、続けた方がよい。ランニングマシーンはいない。プロの意見を聞いた方が早い。もったいないと思う
50～59 歳	プールとシャワーだけあればよい。お風呂はスポーツ施設としてはいらないと思う。「お風呂だけでも存続してほしい」という意見の人は、スポーツ施設としてではなく「お風呂」を望んでいると思う。銭湯として切り離して考えたらよいと思う。健康増進センターと合わせて考えるとややこしい
50～59 歳	・ アクセス面で不便なので、駐車場代は向日市民の施設利用者だけでも一定時間無料にしてほしい ・ お風呂はなくて良い。シャワーで十分だが、プールサイドに少し休めるジャグジーや、飲み物だけでも OK な休憩スペースがあると助かる ・ 魅力ある施設にするために運営は民営化または乙訓 2 市 1 町で共同運営し、優遇される人を増やし、利用者の増加を図る ・ インストラクターがいると、続けて利用する人も増えるかもしれない
50～59 歳	駐車場を含めた料金の見直しをして、ぜひとも存続してほしい。向日町競輪の補助事業の補助金は使えないのか？
50～59 歳	気軽に運動ができる、最適な場所であるため存続を強く希望する。中学・高校・企業などの団体に時間貸しをするなど、色々利用方法の見直しはあると思う。市民がアイデアを出し合い、何とか残してほしい
50～59 歳	今回のコンサルティング調査がどのように行われているのかは不明だが、一般的に事業者は確度の低いチャレンジはしない。失敗の少ない方向にしか話を誘導してくれない。サウディングのあり方から推察すれば、縮小ありきと考えられるが、唯一の方針判断は市の（市長の）意志しかないのが現実である。市民に何を求め、どのような街づくりでどのような市政を進め

	ていこうとしているのか…このような時代だからこそ、地域行政のあり方、向日市の市政についてしっかりと考えてほしい。これまでのテーマ型街づくり認定…といった施策も継続しているが、あくまでも活動者側のやる気に依存するレベルの切り貼り施策でしかなく感動や共感の輪を市民に拡散できるレベルに到達しているものは少ないのではないかな。こうした施策は、まさに市政でリーダーシップを取り、目標とする街づくりイメージのもと、これを啓発し、事業化していく意志と行動がなければ絶対に実現しない。サウンディングもこのご時世では必要なプロセスだが、消極的な運用になっていないか。大阪都構想の魅力（維新の人気）はここである。こんなことどうだろう、こうできると思うけどそれでいいかな。…いつの時代も輝くリーダーシップには勝てない。お金がないから、与えていたものを取り上げるようなことを、家族にはしないかと思う。お金がないなら、まず稼ぐ方法がないか改めて考えてほしい。秋には市長が方針発表するとのことで時間はないが、こうした時間に意味はあるのか。きちんとした構想づくりとこれに対するサウンディングを改めて行うスケジュールを発信することに関してはどうなのか。付け焼き刃的に処理してほしくない市民サービスであり、教育問題に匹敵する十分な時間が必要な街づくり施策である。市民オブザーバーにでもなれるのなら、少しは役に立てるかもしれない
50～59 歳	健康維持のためにも存続してほしい
50～59 歳	まだ利用したことはないが、親がサークルの友人と利用していた。交通の便が悪かったが、巡回バスが出来て良かったと思った。最近が高齢になり利用も遠のいているが、近所の方はプールが楽しみ・心地よく疲れて帰り、夜よく眠れると喜んでいる。シンプルな温水プールで良いので、続けてもらいたい。いずれ退職したら、利用したいと楽しみにしている
50～59 歳	今まで一度も利用した事はないが、日々の運動不足が気になりながらも、仕事が忙しく利用するのもまだまだ先になる。徐々に高齢になっていくため、こういう施設があるとうれしく思う。利用者数の減少はイベントなど、集客に結びつくものは無いだろうか。今後、建て替えも視野に入れ、コンパクト化し、経費削減して、存続できればと思う
50～59 歳	建設当初から将来の修繕費を見込めて料金設定すべきだった。コロナ禍前の水準が利用者に戻ったと仮定し、いくらであれば修繕費がペイできるか、案を提示してほしい
50～59 歳	・向日市民は、他市よりも利用料を半額～6割程度に ・中高年の生活習慣病対策に水中ウォーキング用レーンを2レーン作り、手すりをつける。プールサイドにも主要な場所に手すりを ・ネーミングライツや周辺企業の年会費により社員割引をする、クラウドファンディングによる寄付を募る ・ロビーのイスは、コミュニケーションの場として必要 ・観覧エリアは、子どものスイミング教室のみ見えるようにして、大人の歩行、水泳レーンは見えないようにしてほしい ・幼児プールは、使用人数が少なそうであれば、面積を半分に縮小する ・生活習慣病の予防が結果的にも医療や介護費負担の削減になると思う。腰痛や膝痛にも負担のないプールの存続を希望する

50～59 歳	市民が手軽に利用出来る施設はあれば良いと思う。過剰な内容の充実は必要なく、予算の範囲内のもので良い。市が維持できることが一番大切。利用希望の方々のために、資金面において分相応の施設が出来ればと思う。沢山の選択肢はなくて良い
50～59 歳	健康都市宣言のシンボルでもあるため、改修工事をしてでも再開してほしい。家族に障がいのある者がいて、健康維持のためプールを利用していた。値上げも1つの案だが、近隣の大手企業にも協力してもらえないか声掛けしてもらいたい。スイミング教室など、もっと活発に利用してもらえよう働きかけて欲しい。また、そのような短期利用できるようなイベントもしてほしい。二市一町で共同運営できないか、相談を持ち掛けてほしい。必要・不必要な設備を考え、シンプルになってでも再開できるよう願う
50～59 歳	市民プールは、子ども達が小さい頃によく利用していた。私はプールのない学校に通っていた。水泳の授業が出来ないのは泳ぐ事が好きな自分にとってはとても残念だったが、近隣を見ても他府県を見ても、プールがないのは特殊だったんだと感じていたので、市民プールが出来た時には嬉しく思っていた。出来る事なら存続してほしい。近くに同様の施設があると言っても、料金等の理由から、気軽に誰もが利用できるという物ではない。健康増進の面から、このような施設があるのは、市の良い付加価値になると思う。代金の値上げをしたり、少々コンパクトにしたり等、検討の余地は大いにあるが、あの土地を死に土地にせず、市民の暮らしやすさにとって、日々の生活に活力と色どりを与えられるような所にしてほしい。単にプールと言うよりも、交流の拠点の一つになるような試みを考えてもらいたい。その昔、父が市民プール誘致・土地の買収に関わり、土地所有者の理解を取りつけるのに奔走した事、そしてそのせいで、父だけではなく娘の私も誹謗中傷にさらされた事を思い出した。父は「いくらお金と引き換えと言えど、先祖代々の土地を市のため、市民のために提供して下さった方々の想いも、大切にしてほしいなあ」と言っていた。封筒に「つなごう、明日のむこうへ」とあったが、市民プールは、昔も今も、勝山中や向陽高校にプールが無かった事や健康づくりの気運の高まり等から、地域の方々から要望されたものだったと思う。これからも利用者の方々や市民の方々の声を聞き、暮らしやすい向日市にしていってほしい
50～59 歳	・全天候型で一年中利用できる温水の市民プールは貴重。民間ではなく、公共の市民プールというところに価値がある ・高齢化社会へ向かう時代、また With コロナの時代に市民の健康づくりの施設を切り捨ててはいけない。時代に逆行している。健康はお金に勝る。財政負担にばかり目を向けるのではなく、どうすれば継続できるのか十分に検討された形跡がない ・参考資料の市民の意見について、大いに取り入れるべき。市民はこれ以上の施設の改善を望んでいるのではなく、ソフト面での仕組みのアップデートを望んでいる。健康増進センターとの収益の分散もおかしい
50～59 歳	自分の運動のため、また夏休みに子どもを連れて利用していた。規模をそのままに建て替えてほしい。天井は開かなくても良い。料金の変更や営業時間の見直しで存続を希望する
50～59 歳	利用しているので、ぜひ残してほしい
50～59 歳	お風呂とサウナは不要。駐車場をもう少し広くして、駐車料金をもらうべき。プールだけではなく、有料であっても、室内で乳幼児が遊べる場があれば、母子が家で孤立しないのではないか。赤字経営にならないように、有効な施設であってほしい

50～59 歳	健康でいるためにスポーツをすることは良いことだと思う。プールは子どもから老人まで体力にあわせて活動するのに良い施設である。規模は小さくなくても存続してほしい。最近は行っていないが、再開されたら元気な老後のために、新しいコミュニケーション作りのために通いたい
50～59 歳	・気軽に利用できる施設なので、全面改修して存続してほしい ・駐車料金を取ったら良い。利用者以外も平気で停めている ・やはり利用料金は取るべき ・体育館、パレア行きのぐるっとむこうバス便をもう少し増やす ・お風呂も有料化すれば良いと思う
60～69 歳	コロナの時期を除けば、利用者が減少傾向にあるとは言えない。廃止の理由にはならない。向日市は、他と比べ福祉施設が貧弱と考えている。住みやすい市政をするのに、福祉向上の知恵を生む努力を望む。会社も利益が出ない部門を切り捨てるだけでは経営を継続できない。鉄道から離れていて、不便も感じる。商業施設とのコラボ等、年寄り・子どもの利用しやすい巡回バスの充実した設備になるように努力してほしい。この機会に、体育館やジムの充実も併せて検討してもらいたい
60～69 歳	京都市内、大阪などへのアクセスが良く、また歴史のある町としての特色を発展させ、若者たちに魅力のある町づくりをするために、新産業創出、激辛商店街の集約・拡大・誘致、人口増加対策（向日町駅東側再開発等）による市民税増など、向日市全体の税収増対策が必要。その一環として、プールの今後の在り方、またその他の体育館などのスポーツ施設の活用を、それぞれが他府県も活用できるようスポーツのメッカとしての施策も必要と思う
60～69 歳	今後利用するかはわからないが、健康維持とコミュニケーションの場として存続するのがよいと思う。サウナ・風呂はカットして、シャワーのみにするとか、少し利用料金を値上げしても良いのではないかな。コロナ等が終息し、綺麗に改修されれば利用者も増えるのではないだろうか。広報や SNS などを利用し、アピールしていくのはどうか
60～69 歳	プール料金の値上げ、駐車利用料金をもらう、向日市民割引をしないで、高齢者の割引なしでいく。出来るだけ残してほしい
60～69 歳	高齢者・障がい者のリハビリに利用しやすい工夫をしてほしい
60～69 歳	プールは孫のためにも必要だと思う。維持管理に適正な料金設定を行い、市民割引分を市税から負担を希望する
60～69 歳	向日市民プールに長い間通わせてもらった。民間委託される前、スイミングスクールのコーチも向日市の職員で立派な建物からすべて向日市の手で運営されていることに、向日市民として誇りだった。しかし利用者は向日市外の人が多く、プールに多額の税金を投入することに反対されるのもわかる。しかし、健康都市として存続してほしい。市民プールが閉鎖されてから、伏見港に行く。古くても維持できているのは、やはり京都府だからなのか。駐車場代、ロッカー代、入水料など値上げや有料化は当然と思う。現建物は大変立派なため、壊すのはもったいないと思う
60～69 歳	アンケートもコスト削減していくべき。郵送のための印刷物（カラー）・送料がかかっている。紙の回答は手間。集計・分析などの手間がかかり、人件費増につながる。そこで、LINE など

	の SNS を利用し、アンケート費用を削減する。各町（役員会）を通じて募集を図る等してはどうか
60～69 歳	向日市の子ども達が遊べる場所として提供していただきたい
60～69 歳	市は広報誌などカラーでお金をかけないで、市民のための施設などにお金をかけてほしい。高齢者等、健康に対する広報をして利用者を増す。そうすれば健康保険に使用する費用なども少なくなるはず。健康な老人を見かけることも増えると考え。予約制にすれば施設の最大活用ができるのではないかと。まずは清潔・衛生的な施設にしてほしい。行ったら健康になれる……という雰囲気が今の施設にはない。健康な人を増やすことを考えてほしいと切に願っている
60～69 歳	施設は必要であるが、今後の維持費などを考慮しつつ存続したほうがよいと思う
60～69 歳	利用者アンケートを読んで賛同したのは、「お風呂はいらない」という点。民間のスポーツセンターでも、お風呂だけ利用する人がたくさんいる。今、お風呂だけ入るのに料金は取っているのか。コミュニケーションを取りたい人は、ロビーやカフェなどの場所があれば良い。自分自身は中に入ったことがないが…
60～69 歳	・ プールの一つを高齢者やリハビリをする人のためのプールにする ・ 子連れの利用者への割引をする ・ 施設の外に、見栄えの良い植物を植える
60～69 歳	建設と運営をトータルで検討したほうがよいと思う
60～69 歳	向日市に 22 年すんでいるが、今回初めて知った。市民へのアピール不足が利用者減の最大の原因ではないか。市民へのアピールを強化し、利用しやすく駐車場や駐輪場を整備するだけで、十分に利用者は増え、使用料や駐車料を少し上げれば赤字は減る。また、シルバー人材の活用など、市民による自治で運営し、人件費をかけない工夫もできないか？
60～69 歳	今は近くのフィットネスクラブに通っているが、料金が安い。今後、週に 2～3 回、安くて同等の施設なら利用したいと思う。市民のためにもぜひとも継続してほしい
60～69 歳	市民優先の施設にしてほしい。市民とそれ以外で利用料金に差をつけてもらいたい
60～69 歳	維持費がかかるならプールだけで良い。健康増進センターは、体育館に似た施設があるため不要である
60～69 歳	コロナが原因で利用が減ったと思われる。まだ利用者は増えるはずなので、なくさないでほしい
60～69 歳	施設は必要だと思う。存続・維持できるサイズ感で、採算を取れ、プールのない学生達の利用しやすいものにしてほしい
60～69 歳	存続してほしい
60～69 歳	夏になると水の事故が多くなり、知識があれば助かるのに……と思うことがある。小学校の時にしっかり体験できれば、対応も変わってくると思うので、市を挙げて指導できるようなイベントをたくさんしてほしい
60～69 歳	年中を通して老若男女の体力増進に役立つ。また親子のコミュニケーションの場としても最適であり、ぜひとも存続をお願いしたい
60～69 歳	閉鎖されてからは活気がなくなり、寂れていく感じがしている。市民の交流と健康・子育ての場としても、ぜひ再開してほしいと思う。維持管理費については、規模や施設を検討して、再開に向けて知恵を出して欲しい

60～69 歳	向日市らしい素晴らしい施設だと思っている。どのような形でも残してもらいたい
60～69 歳	向日市内の利用が少なく、市外の利用が多いということは、少し高い料金でも魅力があるということだと思う。もっと利便性を良くし、集客を上げることで採算の取れる人気スポットとなるように改装してほしい
60～69 歳	施設は、規模を縮小してでも建て替えがよい。高齢者のみならず、仕事帰りの会社員など利用者のターゲットを拡充し、自己健康管理の意識付けを促すことが重要。交通機関の利便性の良い場所への移転を望む。高齢者社会に向かう昨今、利用しやすい場所が一番である
60～69 歳	立派で充実した施設であることは大変望ましいが、直面する建設費及び先々に必要となる維持管理費を十分考えたうえで計画してほしい。市民の健康増進が目的であるため、温水プール・シャワー室・屋内トレーニングルームのシンプルな施設を建設してほしい
60～69 歳	子ども達の幼い頃の思い出があり、あって当たり前であったプールの今の状態に不安を感じている。一般市民の一個人としては存続を望んでいる
60～69 歳	最近の利用者数の減少はコロナが原因だと考えられるため、今後は増えると思われる。向日市には何もないといつも感じている。子ども達、若い方に楽しんでもらえる場所としてリニューアル・建て替えを希望する。その際、カフェを併設してほしい。廃止してしまえば、向日市の未来は…
60～69 歳	健康に過ごしていくためにプールは必要。ぜひ存続してもらいたい。向日市は昔から障がい者に優しい町だったため、これからもみんないきいきと暮らせる向日市にしていってほしい
60～69 歳	親子やお年寄りが気軽に利用できる施設が近くにあるというのは大切なことだと思う。お風呂やサウナは本当に必要か？ 運動後はシャワーだけで十分かと思う。お風呂だけ入りに行っている人もいるようだが、スポーツ施設として何が必要か、何が市民から一番求められているのかを整理して、なくすのではなく存続する・できる方向で考えていってほしい
60～69 歳	・市民にはありがたい料金だが、市民税を払っていない他市の利用者也同じ料金で利用できるのは納得できない ・存続するためには費用が必要。企業に協力してもらい、その企業の健康増進センターとしても利用してもらえばよい ・存続するには、人が集まる施設でないといけない。老人も子どもも遊べる遊園地や日帰り温泉のような施設をつくってもらえたら、楽しんでお金を払ってくれるのではないかな
60～69 歳	お風呂やサウナだけでも行こうと思える施設に
60～69 歳	向日市民が利用しやすいよう、本来は向日市の中心にあるべき。また、これからの時代は老若男女・障がいの有無・国籍など関係なく誰でも利用しやすい工夫は必要。運営面では向日市民と市民以外の利用料金の差別化や、全体的な値上げは必要だと考える。人集めのために広場などにマルシェを開催するなども考えるべき
60～69 歳	孫をスイミングレッスンに連れて行きたいと思っていた。他の所よりも安いのがよいと思っていた。子育て世代を呼び込むにも、一つの魅力であると感じている。他の市にはない再利用などのリサイクル、SDGs に合う管理費を抑え、市民には安く提供することで新しい住民を増やすようなチャームポイントをつくってもらえればと思う
60～69 歳	存続を希望している。維持管理にもっとお金をかけるべきである。水の綺麗な美しい施設であれば、利用者が増えることが期待できる。公的な大会も誘致できれば良いのではないかな

60～69 歳	向日市も行政のゼロエミッションとして、エネルギーのリサイクルなどを官民一体となってまちづくりをしてほしい
60～69 歳	・改修経費を圧縮し、ランニングコストが低く抑えられるようにして、長く運営可能な施設としてほしい ・市中の企業へ福祉施設会員として、企業規模に応じた年会費を定めて募集を募り、その社員の利用料無料化などの便宜を図る。これで基本ランニング経費が賄えることがベスト ・車での特来場者には駐車料を徴収し、経費回収の一助とする ・利用者数の減員は主にコロナの影響が大きいものであるため、利用人数はまた戻っていくと考えられる。ぜひ存続を図ってもらいたい
60～69 歳	車や自転車に乗れない、市民プールから遠いところに住んでいる市民にも気軽に利用できるように方法を考えるべき。非常にアクセスの悪いところにあるため、今のままでは利用できる市民に限りがある。以前他の市で住んでいた時は、市がプールを活用するいろんな教室や講習などを頻繁に募集しており、格安料金にて開催していたため、一日中利用者がたくさんで、気軽に楽しめた。このような利用方法も良いのではないかな
60～69 歳	水泳のレッスンについて、パワハラなどを行うスポーツ管理会社は必要ない
60～69 歳	市民の利用者が減っている理由をもう少し考え、どうすれば利用者が増えるのか検討してほしい。廃止ではなく、存続する方法を考えてほしい
60～69 歳	今後人口減少の時代に入っていくため、規模の縮小が妥当だと考える
60～69 歳	市民プールは向日市民の健康を考えるうえで重要であり、どんな形でもよいので残してほしい。市民ファーストで考えてもらいたい
60～69 歳	市にプールがあるべきものと思っている。大阪に住んでいたが、子どものころは市のプールに行っていた。市民の子ども達が楽しく遊べるように、近くにプールへ行ける場所があったらよいと思う。また、その場所へ行けるバスがあるとなお行きやすいと思う
60～69 歳	・お風呂やサウナは不要。シャワーのみで良いと思う ・重複している設備は不要 ・過去の使用状況から、トレーニング室のあり方、機械も選びなおす ・できるだけコストを下げられるよう考えるべき
60～69 歳	向日市には文化施設が少なく、子どもから老人までの健康を考えた施設はあった方がよいのではないかな。プールと図書館を合体させるなど、色々考えてほしい
60～69 歳	・プールは現規模と同程度とし、他のトレーニング器具などを見直しダウンサイジングしたほうがよい ・利用者が少ないのは広報不足であり、他にも多目的活用できるような設備が必要 ・いずれにせよ、市民の健康増進のためにぜひ存続させてもらいたい
60～69 歳	市民プールはぜひとも存続させてほしい。健康維持に利用しようとしたが、コロナで辞めざるを得なかった。やっとコロナも落ち着いてきて活動が始められると思ったときにプール休止。とてもショックを受けた。市民にとって誇れる施設であり、少々の規模縮小はあっても再開されることを望む。可動屋根の維持管理が高額なら、違う形を考えても良いと思う
60～69 歳	向日市民だけでなく、周辺自治体からも利用できる工夫。誰もが気軽に利用できる工夫など

60～69 歳	シニア以上の人は健康維持に対して高い意識を持っている。その健康維持を助けていたのが市民プールだったのではないかな。近くにあることで、続けて行くことが出来るというメリットもある。これからの高齢化社会を考えると、規模を小さくしても健康維持に役立つプールをぜひ残してほしいと思う
60～69 歳	今回のアンケートよりも、参考資料の利用者の意見がごもっともだと思う。利用者の意見を大切に進めてもらえればうれしい
60～69 歳	子ども達が気軽に行けるプールを、縮小されたとしても存続してほしい。遊ばせるところが少ないうえに、コロナで親子共少しでも運動できる場所を残してほしい
60～69 歳	健康増進のために市民温水プールは不可欠だと思っている。様々な教室やイベントを広く行いPRして、市民が楽しく参加できる環境が欲しい。福利厚生というところで、公園の整備・緑化・体育館の運用など、市民が健康に過ごせる市をつくってほしい
60～69 歳	・将来的なことも考え、縮小化することも必要と思われる ・市外の人の利用が多いので、利用料金を見直すことも必要 ・市民が利用しやすい施設にするよう広報すべき ・運営は積極的に効率化すべき
60～69 歳	市民プールがあったから、汗を流してでも自転車をこいで行っていた。唯一の楽しみ、娯楽施設のように思っていた。なくなるのは寂しい。この1～2年の利用者が少ないのはやはりコロナ禍。落ち着いたらたくさんの方が利用するのではないかな。新幹線からも見えて、シンボルのように思っている。どうか存続してほしい
60～69 歳	・トレーニングジムは民間施設でも増えているが、プールは貴重な施設なので、ぜひ存続させてほしい ・トレーニング室の機能は体育館のトレーニング室に集約して運営した方が無駄がないのではないかな ・設備が改善されるだけでなく、利用者の励みになるような取組が工夫されればよいと思う。献血のように、利用した回数や泳いだ距離などを記録し、何らかの段階に到達したら証明（評価）カードがもらえたり、1回無料で利用出来たり、記録が公表されたり……
60～69 歳	高齢者社会の健康保持や、障がい者の方のリハビリ等、民間ではできない施設になるよう希望する。効率化だけを優先しないでほしい
60～69 歳	存在を知らなかった。もっと広報をするべきではないかな。利用料金や利用方法もわからない。できれば存続してほしい
60～69 歳	・利用料金の値上げや駐車場の有料化など、少しでもお金が入るように工夫して存続 ・競技会などいろいろなイベントを企画し、利用する人の増加 ・お風呂はいらない
60～69 歳	向日市にプールができた際とても喜んでいた。ぜひ継続してほしい
60～69 歳	年数がたてば建て替えなどのリニューアルは予想できるはず。急にクローズして今後を考えるとというのは、恥ずかしい過程を辿っていると思う。バス運行はそのまま放っておくのか？空気を運ぶバスにいくら投入するつもりなのか。建て替えが5億円でできるのなら、ネーミングライツなども含めてよく検討してほしい。あれだけの土地と建物を遊ばせて、誰も責任を取らないのはおかしい。市職員はもっと真剣に取り組んでほしい

60～69 歳	向日市民と市民以外の利用料金の差をもっとつける必要があると思う。市民がお得感を感じる施設にすれば、市民の利用者も増えるかと思う
60～69 歳	・公営温水プールがない長岡京市と共同運営する ・他の市民の利用は割高に設定する
60～69 歳	・ゆめパレアむこうの施設利用により、健康の維持や増進がなされ、向日市民の豊かな生活に寄与すると思う。これにより、医療費等の削減につながる。怪我や障がいでの陸上での活動が困難な場合でも、プールでの運動が可能なことも散見される。向日市民にとって必要な施設だと思う ・既存施設を取り壊さずに、安全管理の観点や設備の劣化度合を精査し、順次補修・修繕する ・お風呂・サウナ等の運用は廃止を視野に入れる。第2トレーニング室も利用が少ないようなので、トレーニング室の整備を行う ・市民以外の利用者の利用料金を増額する ・令和2年度、3年度の利用者減少は、新型コロナウイルスの感染対策による影響が大きいと思われる。新型コロナウイルスの流行状況をみて施設運用再開することが必要 ・問5の設問の①は、全面改修しか設けられていないが、順次改修も設定すべきと思う。設備は設備毎に劣化度合を違っていると思う
60～69 歳	現在仕事をしているため、プールの利用がなかなかできていない。しかし、退職したらプールでウォーキングをして、ジムで体力アップをしようと楽しみにしていた。休館していると知り、とても残念に思っている。市民の声も参考に進めてもらいたい。書かれている文章を読むと、市として継続したくないように感じる。多額の予算が必要になるが、継続していいのか？ と市民に問いかけて、存続に反対する意見を市民の声にすることないか。それなら、JR向日町駅の整備にも多額の予算が必要とされている。それに関しても市民アンケートを取ってもらいたい。利用者が減少しているのであれば、増加するような活動をするのが市の仕事だと思う。向日市に誇れるものはあるのか？
60～69 歳	長い間利用していたが、急に利用できなくなり、子どもたちも残念がっている。これから運営していくのが難しいとも理解できるが、再開を希望する。
60～69 歳	太陽熱温水器の利用、ソーラー発電の利用
60～69 歳	全面改修ではなく、維持管理費を下げた存続できないか。指定管理者次第ではないか。敦賀きらめき温泉リラ・ポートというところが似ているが、管理者のゴタゴタがあったものの、再オープンされている。売店、レストラン、宴会場、カラオケボックス、大浴場、露天風呂、仮眠室などをやめている
60～69 歳	市民の福利厚生のためにも健康のためにも、新しい市民プールの建築を望む

60～69 歳	・市民温水プールは、他の自治体にない特色ある施設だが、市民の利用が3割という現状では、今後も市民以外の利用のために多額の費用を投入する必要はないと思う ・現状の規模のままの建替は反対である。一部の利用者のための施設なら存続する必要はない。より多くの市民が利用できる施設になるということであれば存続しても良いが、向日市の身の丈を考えると規模は縮小すべきと考える ・向日市民の施設として、もっと市民が利用できる環境にすべき。例えば、昼間の稼働率を上げるために小中学校の水泳の授業で活用する。夜間や土日は、市民がもっと利用しやすい方法を考えるべき。仮に小中学校のプールの授業を市民温水プールで行うとした場合、温水プール一箇所では難しいと思うが、学校のプールも維持管理費が掛かり、学校施設そのものも老朽化しているため、近い将来、プールを作り直さなければならないと思う。それなら、自前でプールを持たずに市民温水プールや民間のプールを借りた方が経費が安価で済むのではないか。まずは1校からでも、水泳の授業を市民温水プールで行ってみてはどうか
70～79 歳	プールは泳ぐところだと思っていたが、他では歩いたり泳ぐ以外の利用方法があるらしい。年寄りにも利用しやすい事があれば考えてもらえたら、年配者もプールに行くと思う。もっと中高年が平日に利用できるものを考えてもらえたら、皆行くのではないかと
70～79 歳	同じ自治体の施設なのに、トレーニング室が両方にあり、トレーニングは体育館を利用していた。なんだか無駄な感じがした。泳ぐことは好きなので、プールはぜひ残してほしいと思う
70～79 歳	自転車を通うには交通の便が悪いが、誰もが利用しやすい公共施設は残してほしい。市民の健康増進のためにもなるのではないかと。利用する方の意見をよく聞いて、市の財政に見合った、市民のためのものであってほしい
70～79 歳	早く決めてもらいたい
70～79 歳	・料金をプールのみ、プールと風呂のセット料金、夢パレアとの三点セットで変えるべき。今までの料金は安すぎる。市民料金と市外民との差別化も図る ・市外からも行きたいと思ってもらえる施設をつくってほしい ・高齢者の夢パレア、プール、風呂の優遇料金は安すぎたのではないかと。あり得ない料金だと思う ・今までの運営の仕方を、市は大いに反省してもらいたい
70～79 歳	存続すべきだと思う。PR 不足を感じる
70～79 歳	特に夏休みには孫が来た時、必ず温水プールを共に利用させてもらうことが楽しみの一つだった。施設をコンパクトに集約してもらったり、無駄な個所を排除・検討してもらったり、少々利用料金が上がっても構わないので、存続を希望する
70～79 歳	資金があれば、他の設備も取り込む
70～79 歳	向日市には市民が利用できる施設があまりない。親子で利用できるプールは大変良いと思う。風呂はいらないので、シャワーを増やし、サウナをもう少し大きくしてほしい
70～79 歳	今回の休館で非常に残念に思っている。障がい者の支援は他の市内の民間プールでは困難であり、市民温水プールが唯一の利用できる施設だった。今後のプールの管理維持は5年くらいを目途で長期にわたって存続できるようにポイントを押さえた方策をしてほしい。いきなりストップするのは良くない。プールの存続と再開を一日も早く切に望んでいる
70～79 歳	プールはお風呂と一緒に希望する

70～79 歳	改修の方法を検討するべき。もっと安くできるのではないか。廃止ありきの改修費用に見える。建物はそんなに悪いと思わない。設備改修も要検討では？
70～79 歳	数少ない市民の健康増進施設であるため、全世代の市民が大勢参加できるような運営を工夫し、一日も早い再開をすべき
70～79 歳	コロナ禍を期に、脱 CO2 や SDGs の社会を具体化していくうえで何が必要なのか考え直した方がよい
70～79 歳	プールのおかげで元気だという後期高齢者の利用者が多く見受けられる。医療費や介護保険料の軽減につながっているのではないか。市の財政は軽減できるところが他にもあり、上手に節約できるところを削れば良いと思う
70～79 歳	既存施設を取り壊し、プールを同規模程度で建て替えてほしい
70～79 歳	我々高齢者にとっては、生きがいが必要であり、そのために最低限の体力がいる。そのため、このような福祉施設は必要だと考えている
70～79 歳	存続を提案する
70～79 歳	・既存施設はそのまま、他の用途に利用する（スケートボード練習場など） ・体育館側駐車場に新規小規模プールを新設する ・駐車場の有料化 ・市内企業への応援要請 ・クラウドファンディング等を活用し、寄付を募る
70～79 歳	内装・什器をシンプルに、建物もすっきりと見た目良いものにしてほしい。また、手入れや掃除が簡単にできるようにして、人件費や時間を節約してほしい
70～79 歳	利用したことはないが、皆の元気の源になれば良いと思っている
70～79 歳	向日市民として、市民温水プールは誇りである。ぜひ存続してほしい
70～79 歳	家から近く、孫が父母と共に夏休みに遊びに行っていたため、続けて利用出来たらうれしく思う
70～79 歳	・中止もやむなしと思うが、残念に思っている ・小中学校にプールは完備されているのか。日を決めての使用、幼稚園（親子）での使用などはどうか ・年を重ねると交通の便が困る
70～79 歳	休館日をスポーツクラブなどの休館日と重ならないようにしてほしい
70～79 歳	規模を縮小して、サウナは廃止。市民以外の利用者が多いことは逆に良いことで、市内のみではやっていけないと思う
70～79 歳	屋根を解体し、リーズナブルな構造の屋根を新築する。プールは補修。市外の利用者に対しては使用料を高くする
70～79 歳	市民が気兼ねなく利用できる公共施設が大事であるとともに、健康維持にも欠かせない。ぜひ存続を希望する
70～79 歳	あまり立派なプールでなくても、今の状況や先の事も考えて、みんなが使いやすいプールであってほしいと思う。コロナが落ち着いたら利用しようかと思っていたが、休館と聞いて残念に思っている

70～79 歳	・市民温水プールは既存のまま改修すればこそ誇れる施設だと思っているが、向日市の財政もわからず、将来的な事を考えると迷いもある。建て替えることになったとしても、絶対に同規模にしてほしい。また、改修と建て替えどちらになったとしても、大まかでよいので再開館の時期を示してほしい ・西京極プールでは水泳教室の方が多く、教室の内容も充実しており、ほぼ一日中途切れることなく教室が行われている。利用料金や水泳教室料で運営工夫をしているのかと思われる。向日市でも水泳教室を今まで以上に増やし、空いている時間には学校やマスタース参加者グループにコース貸しをするなど、人件費のあまりかからないイベントを開催しても良いと思う。また、夜は利用状況に応じて早めに閉館してもよいと思う ・利用料金は今までが安すぎたので、市内も市外も共に値上げする。駐車料金も取る。向日市に収益が入るようにしてほしい
70～79 歳	利用料金は値上げしてでも継続していくべき。駐車場は有料にして当然。風呂・サウナは必要なく、シャワーで十分。これらを一つ一つ見直して、シンプルで機能的な「ヘルス&ウェルネス」を望む
70～79 歳	・全国の自治体で温水プールを持っている中で、効率よく運営しているところからアイデアをもらえるのではないか ・民営で温水プールを運営し、黒字を出しているところからも学べる（レジャー施設も含め） ・老若男女問わず多くの市民から温水プールの施設のアイデアを募集。温水プールだけだと面白くない ・講習会などのイベントを行う。高校、大学、社会人の水泳、シンクロなどの選手やコーチを招いての講習会を行うなど ・まず温水プールにいったみようと思うこと。そして行って楽しかったからまた行ってみようと思える施設でないと、利用者は増えないと思う ・利用者が減ったのは新型コロナの流行が原因だと思う
70～79 歳	夏休み子ども達が楽しみにしているため、存続すべきだと思う。高齢者もウォーキングでリハビリになると思う
70～79 歳	ロビーなどを縮小し、駐車料の有料化を行う
70～79 歳	夢ある町づくりのためにも存続してほしいと思う。運営方法の見直しや、市民へのアピールなどを改善して、利用者の増員を考えてほしい。市民プールの存在意義は多大だと思う
70～79 歳	存続になるように願っている。腰が痛く、運動するための唯一の施設である
70～79 歳	トレーニングで汗をかき、お風呂やシャワーを浴びるのは良いが、サウナを必要とする人は別料金を設定してはどうか。障がいのある人に向けて、介助員の配置も必要だと思う
70～79 歳	公共のプールが減っている昨今。なんとか存続を
70～79 歳	・愛知県稲沢市の友人は、民間スポーツジムの利用時、市から一部負担してもらえるとのこと。これも一案ではないか ・障がいを持った人などの意見も広く聞き、きめ細かい対応が必要 ・民間スポーツジムも多くできている。スポーツ関係のみに限らず、いろんな企業や業種との参加も視野に入れ、いろんな人の意見が参考になり、新しい視点での案が生まれてくるかもしれない

70～79 歳	利用料について、市民割引とか、敬老割引とか、他市との差はあっても良いと思う。市民が使いやすい市のプールの存在価値は大きいと思う
70～79 歳	市民が皆再開を希望している
70～79 歳	近隣類似施設で安価で利用するのは難しく、人口減少も大きな問題であるが、老人の人口増加の中健康寿命のことを考えると必要ではないか。シャワーだけで十分ではないか？
70～79 歳	市民の老齢化に伴って、健康維持のため、また身体的な面での体力増進のため、プールは最適な施設だと思う
70～79 歳	温水プールについて、もう少しいろいろな方向から考える必要がある。目的は何か？ 向日市民が何を温水プールに望んでいるのか？ 運営方法は？ パート・ボランティアなどの活用など…
70～79 歳	市民にとって、健康増進につながることであり、もっと多くの人に利用しやすくする。現在利用している人は毎日健康のためコミュニケーションの場として熱心に活用している。若い人にも利用してもらえると、子育ての一環として役に立つと思う。災害の時にも役に立つ場所だと思う。壊すのは簡単だが、市民の意見を聞き、最善になるように願っている
70～79 歳	歴史的経緯も考えれば、市民プールは長年の向日市民の願いに沿った施設であり、絶対に廃止してはならない。多少縮小した施設となっても存続すべき
70～79 歳	お風呂とサウナはいらないと思う
70～79 歳	市民のプール存続願いの署名が提出されたことや、京都市・長岡京市・大山崎町の人たちもプールの存続を願っている。これらの自治体にも協力してもらい、乙訓地区全体の健康増進センターの施設の一つとして、プールをリニューアルするとか、企業に呼び掛けて半民半官の施設にするとか、市民のために努力し頑張ってくれることを願う。小さな小さな向日市に、近隣の市にない公共のプールがある…素晴らしいことだと思っている
70～79 歳	向日市は市民が楽しめる施設が少ないと思う。お風呂やサウナはいらない。シャワーだけで十分
70～79 歳	向日市民にとって自慢のプールだった。もし新しくするなら、温泉的に楽しめる 40 度以上の小プールもあればよいし、「まちテラス向日」のような食の楽しみも。
70～79 歳	多くの人がプールで健康維持をしているため、出来れば縮小してでもプールを存続してもらえればと思っている
70～79 歳	市民にとって魅力的な向日市になるため、温水プールの有無だけでなく、もっと市民にとって誇れる向日市にしてほしい。そのためには地元企業、健康関連企業とコラボし、アイデアを募って、新しい公共施設と運営方法を探してほしい。また、元気な高齢者にボランティア参加してもらえる仕組みも考えてもらいたい。市民の寄付・地元企業の寄付・ふるさと納税等、皆が寄付したくなるようなコンセプトを創出してほしい
70～79 歳	市は高齢者の健康維持にもっと積極的になってほしい。プールの利用者のほとんどは高齢者だった。その利用目的は、全員が健康維持である。高齢者は移動手段を考えると、近距離の施設こそ利用が可能であり、その意味でも市民プールは理想的な施設だった。突然の閉鎖でその機会を失い、心身ともに打撃を受け、嘆いている人を多く知っている。何故市は存続の方法を多方面に模索・働きかけをしないで、閉鎖という最も安易な手段を取ったのか納得できない。料金を上げる（大幅な値上げも選択肢）、定期利用者には他のスポーツクラブのような月謝制

	度の導入、運営そのものを民間業者に委託する、駐車料金の導入など、様々な策を検討し、閉鎖を撤回してもらいたい
70～79 歳	老朽化すればなくしたらいいものではなく、子どもから高齢者、障がいをもった人たちのための唯一の場であり、全身運動のできる、健康には欠かせない場でもある。市民の楽しみをなくさず、存続してほしい
70～79 歳	・低料金での活用を望む ・場所はあるのにプールがないのはおかしい ・管理不備で利用者離れが増えた ・複数回答可にする必要があったのではないか
70～79 歳	何とか継続的に運営できるよう、知恵を振り絞って頑張ってもらいたい
70～79 歳	利用したことはないが、健康のためにも良いことだと思う。市民プールまでのバスはあるのだろうか？また、介護者の人の利用もできるのだろうか？
70～79 歳	向日市民の財産である。障がい者・子ども・大人・老人のための健康保持・向上のために絶対になくさないでほしい
70～79 歳	やっと「向日市コミュニティバス」も開通し、私生活が落ち着いたところに利用したいと考えていたが、廃止の案もあると聞き驚いている。改善し、お知らせも分かりやすくすれば、利用者も伸びると考えられる。設置目的に賛同する
70～79 歳	JR 東口開設に伴う再開発事業に 50 億円近い税金が投入される一方で、金がない……はどうか。施設については、コミュニティバスの充実など交通面での改善を行ってほしい
70～79 歳	国土交通省は更なる超高齢化を迎えるにあたって、「健康・医療・福祉のまちづくりの推進ガイドライン」を示し、増大する医療費を抑制するために健康づくりを推進し、住民が運動しやすいまちづくり・環境整備に取り組むとしている。目先の費用に目を奪われずに中・長期的視点に立ち、ゆめパレアの活用は市民の健康への投資でありリターンは医療費の減少と考えればよい。官民連携と言って、個人資産となるタワーマンションなどに補助金として市税を投入するより、向日市民や近隣の市民の健康増進のためにゆめパレアの運営や課題が利用者からいろいろな指摘されている。今後の具体的な設備や運営方法については、ワークショップなどで市民の意見をじっくりと聞き、官民連携も活用して魅力度をアップし運営の効率化を図ってもらいたい
70～79 歳	・大人と子どもが一緒に使えるプールは近くに他に無い ・今後増えていく高齢者が、健康にこの町で生きていくことは医療費の削減にもなり、プールの存続はこの先市の財政を改善することになると思う ・今よりも使いやすくするために、まず交通の便を良くして欲しい。今のコミュニティバスでは不十分。土・日、昼休みの時間も運行する。せめて長岡京市のように午後は反対向きにも走るなど、もっと工夫してほしい ・NHK、E テレ、ハートネット TV「地域とつくる”ごちゃまぜ”福祉」という番組があった。天然温泉・飲食店・スポーツジム、障がい者グループホーム、障がい児児童などの複合施設。障がい者を雇用して飲食店のスタッフになってもらい、プール、入浴の清掃などの仕事をってもらう等、総合福祉施設とすれば、補助金も出て、建築費も維持費も安くできるのではないかと。京都みねやまでもされている。市の部署を越えて知恵をしぼり、他での経験も学び、向日市に

	しかない良い施設を作してほしい ・修理・建て替えにあたっては、ソーラー、緑化等温暖化対策を徹底してほしい
70～79 歳	・行きたいときに気軽に行ける温水プールが有るということは、大変ありがたい。ぜひプールだけは存続させてほしい ・体育館からプールまでの一帯は向日市の素晴らしい憩いの場でもあり、その一部が無くなると、折角の良い場所・部分を失うことになり残念
70～79 歳	・今のプールの場所は、南の端の方にあり、寺戸・物集女の人たちにとっては行きにくい所である。子ども達はどのように利用しているのか。泳げるようになる教室はあるが、市民全体がなかなか利用できないなら、お金もかかるため縮小して建て直すしかないと思う。遠い高齢者で始めたい人は、近くの私営のプールに通う方が安全で、時間も短く行ける ・もっと市民全体が利用出来るよう、中身を考えるべき
70～79 歳	・利用したことがなく、答えにくい設問だった。要求があるのならプラス思考で考えなければならぬと思う。最も難しいのは財源の問題のようだが、財源の多くは税かと思うので、もっと広く市民の声を聞いてもらいたく思う ・今まで遠く、手段もなかったため行くことが出来なかった。洛西口西側の開発地域への移転が実現すれば少々高額の利用料でも利用したい
70～79 歳	グラフからみると、利用者数はコロナ以前はほぼ横ばいだった。コロナとの共存の今はどうなのか。私は再開を望んでいる。規則を守る事をきっちり決め、市民の為のプールなら、他市町からの人たちには少し料金の見直しをしてはどうか
70～79 歳	近隣にはない、一般市民がいつでも利用できる施設で、体の不自由な方等、高齢者等の健康維持にも必要だと思う
70～79 歳	できれば、また市民プールに参加したい
70～79 歳	もっと早くから計画的に運営すべきで、コロナの理由にするのは、違うと思う。老朽化が進む中、子どもから老人まで利用者は多く、向日市にとって今後とも大切な施設になると思う。巡回バスとセットで考えてほしい。車・自転車等の利用者もいずれは乗れなくなることを考えて、有料バスを往復で、駅や公園などいくつかの場所を決めて1時間単位等で定期券等を発行するなど考えてほしい。プールの利用料について、フリーの人の利用は 500 円以上で考えてもよい。170 円は安すぎる。向日市民はプール＋シャワーのみの回数券を配布するなどしてはどうか
80 歳以上	健康維持のためには実費が必要と考えているため、料金の値上げはやむを得ないと思っている
80 歳以上	存続すべき。他都市にない。割安で、毎日通っている人が多くいる
80 歳以上	民間企業にも協力してもらってはどうか
80 歳以上	温室プールとシャワー室だけにして、あまり利用されていない健康増進センター等は不要である。空いた場所に物産店などを設置してはどうか
80 歳以上	少々高くなってもよい。むしろ今までの安すぎると思っていた
80 歳以上	利用時の交通機関があれば良い。有料でも構わない
80 歳以上	プールに行きたいと思っても行けないため、残念に思っている。今後も市民のために存続してほしい

80 歳以上	会員にならずとも、一日券で利用できたのがよかった
80 歳以上	軽食の取れるところも併設されると行きやすい
80 歳以上	交通の便が悪く一度も利用したことがない
80 歳以上	幼児教育の一環としても利用していたため、家族みんなで楽しめる場所を残してもらえたらありがたい
80 歳以上	他の市にはこのようなプールはないため、子ども達のため、元気な老人の大切な体力づくりのために必要だと思う。利用している人にとっては大切な施設である。改修工事に必要な費用については、スポンサーを募って少しでも協力を願ってはどうか。また利用する金額も、他のスポーツセンターのように年間予約などを考え、金額を上げて良いかと考える。老若男女が水泳に興味を持っている昨今、無くならないように願っている
80 歳以上	交通の便が悪い。他都市の方もやってくるような PR も必要。存続の方向でぜひお願いしたい
80 歳以上	向日市は海や浜から遠く、川遊びは時に危険を伴う。民営のプールはクラスに入って水泳を練習するのが主である。幼児や子どもが親と一緒に水に親しむ場は皆無であるため、行きたいときに家族や友人と行けるプールはぜひとも残してほしい。また、向日市には高齢者が運動できる設備がほとんどない。プールでの運動もぜひ残してほしい。健康増進センターと体育館のトレーニング室は重複しているため、どちらかに一体化するべきでは？
80 歳以上	早期の開館を願う
80 歳以上	夏が近づくと、いつでも気軽に利用できるプールがごく身近にあるのは実に心強い。若く元気な人にとっては、ことさらその便利さがありがたいと感じるのではないかな。財政的に重荷になっているということでない限り、今後とも存続するように強く希望し、期待している。向日市に住んでいてよかったと思う理由の一端を、このプールが担っていることは確かだと考える
80 歳以上	子ども達の体力向上および高齢者の健康維持のため、存続を希望している。民営化するのはどうか
80 歳以上	・こまめに保守をすれば長く使用できる ・利用者を多くするには、学校関係も考えてはどうか ・空調修理、防災設備、中央監視装置、重要設備の費用が出ているが、そう変える必要はないと思う
80 歳以上	利用している人は、ある程度料金が高くなっても良いと考える。年間利用人員から計算して、赤字にならない程度の料金設定をしても良いのではないかな。小中高の生徒にも利用してもらえたら……
80 歳以上	健康増進センターにのみ参加していた。一日も早い再開を望んでいる。この件について報告がないか、広報を楽しみにしている
80 歳以上	私たちが子どものころは川で溺れながら泳ぎを覚えていた。今の子ども達にそんなことをさせたくないなので、プールは必要だと思う
80 歳以上	温水プールの管理・運営を民間に委託する場合は、市役所内で管理者に相当する人が交代で出向（約 3 年ごと）して責任を持たせる
80 歳以上	交通を便利にしてほしい

②廃止すべきである (186 件)

年齢区分	意見・要望
20 歳未満	市民プールが綺麗になれば行ってみたいと思う。また、プールよりも遊べる施設がある方が若者としてはうれしい
20 歳未満	財政に余裕があるのなら当然存続させてほしいが、お金や時間に余裕のある年配利用者は近隣の民間経営の施設を利用すればよいと思う。向日市で生まれ育って感じたのは、お年寄りに優しいが子育てや教育に十分でないことだった。そういったところにお金をかけるようにシフトしていかないと、若者は流出し、年寄りだらけの町になりかねない
20～29 歳	若い人も利用しやすい施設が欲しい。小さい頃に家族で行ったり、プール教室に通ったりしたのがとても懐かしく思う。あの賑わいが戻ってきたらよいが、このままでは厳しいかと考える。若い人も行けるようなイベントがあればよいと思う。しかし、お金がないのと、周辺に類似施設があるため、このままでは若者の利用客が増えないと思う
20～29 歳	施設を継続するために係る修繕費を考えると、向日市の財政難をより厳しいものにすることにつながるのではないかと。向日市の福祉サービスの充実、道路設備や防犯カメラの増設など、より向日市民の安心安全な毎日の生活を確保することにお金を使ってもらいたい
20～29 歳	子育て支援を充実させた方がよい
20～29 歳	・赤字の要因は何なのか ・値上げによるシミュレーション この二つの資料がなく、分析をしていないのが問題である。 また、施設についても工夫や付加価値が見られない。今まで通りではNG。もっと考えてほしい
20～29 歳	市で運営するには負担が大きすぎる。個人で教室を経営している方に部屋を貸し出すなど、レンタル部屋としてはどうか
20～29 歳	市全体の状況を総合的に考えて、市民温水プールの運営を継続することは最優先事項ではないと考える。今すべきことに投資してもらいたい
20～29 歳	存在すら知らなかった。参考資料の意見の中でも、同世代の方は見受けられないように感じた。そうすると、年配の方や子ども達の利用が多そうだが、今後子どもは減り、もっと高齢者が増えることを考えると、10 億円もかけて存続すべきとは思わない。未来を見据え、もっと他に使うべきところがたくさんあるのではないかと。また、物集女方面から向かうには、車で行くにも自転車で行くにも、道が狭く気が引ける
20～29 歳	アンケート用紙・参考資料の紙の質を下げしてほしい
20～29 歳	他のスポーツ施設…例えば野球場・アスレチック・ドッグランが出来る場所・テニスコート・ゲートボール等。併設施設としてクラブハウスや市民が集えるカフェなどがあればうれしい。市民温水プールはいらない
20～29 歳	市民温水プールは特定の人しか利用していないと思う。維持管理費・人件費を考えると、廃止してもっと有効なサービス（福祉・子ども・老人だけでなく、働く若者にも還元できる形で）にその費用を充ててほしいと思う。また、どうしても継続ということであれば、使用する人にはそれなりの金額を払ってもらうなど、不公平感のない方法を考えてほしい。特定の人しか使わないのであれば、1,000 円以上でも良いと思うが、そうすると民間のプールで良い。やは

	り廃止が望ましいと思う。オムツ等、排せつの自立が難しい人の使用もやめてほしい。衛生面が気になり、水に入ることなく帰った
20～29 歳	市民の利用者が 3 割以下となっているのであれば、廃止すべきではないか。存続し続けてほしいという声があるのはわかるが、今後人口が減っていく中で、削減できる費用は削り、ほかの事にお金を回すべきだと考える。改修や建て替えてまで、市民温水プールがあるべきだとは思わない
30～39 歳	利用者の年齢層はどういった割合なのか。予想するに、年配の方が多いのではないだろうか。市の負担を減らしていき、未来のために、もっと若い子たちにフォーカスしていったらどうか。別のところに税金を使ってほしい。この施設を「知らなかった」、「知っているけど利用したことがない」割合でいうと、向日市民の何パーセントになるのだろうか
30～39 歳	向日市に住む子どもの数が増えてきたため、子どもも利用しやすい温水プールであれば市民の利用率も上がると思う。駅前のスイミングスクールなどは子どもでいっぱいであり、利用料も少し高くても良いのではないかと思う
30～39 歳	市が維持管理する公共建築物およびインフラ施設の中で、温水プールは優先順位が低いと考える。生活インフラである上下水道や、小中学校などの教育系施設に優先的に予算を充てるべき。向日市内に温水プールがあるのは便利だが、高齢者や子どもが健康のために泳ぎたいのであれば、民間のスイミングスクールに行けばよいと思う。市の予算に頼らず、自らの健康は自らの予算で維持するべき。今回のアンケートを受け、平成 29 年 3 月に出された「向日市公共施設等総合管理計画」をホームページで見つけ、読んでみた。公共建築物の更新需要予測には驚かされた。学区教育系施設に今後 30 年間で 313 億かかるとの予測だが、市民の健康維持より教育系施設の管理・維持の方が優先度が高いと思う。優先順位を決め、本当に必要なものから予算を使うべきである
30～39 歳	利用者数、市民割合と比べ、運営規模は明らかに不釣り合いである。今後も収益改善もなかなか見込めないと思う。ぜひ他の行政サービス改善に費用を活用してもらいたい
30～39 歳	プールまで子どもを乗せて自転車を通うのは遠すぎる。車を持たない者としては利用しにくい。ため、そのお金を向日市のどこに住んでいても通いやすいものに替えてほしい。皆が必ず使うであろう道路の整備など。その方が不公平感はないと思う
30～39 歳	例えば亀岡市のガレリアカメオカ内にある「かめまるランド」のような施設に作り替えてほしい。児童・生徒の施設を増やしてほしい
30～39 歳	立地が悪いため、利用者が限られる
30～39 歳	テナントを入れて、飲食可能な芝生公園にしてほしい
30～39 歳	かかった金額に見合う施設だとは思えない。行きたくなるような魅力的な施設であれば高額であっても支払って行くと思う。老人が多く行っているイメージで清潔感を感じず、若い頃から行きたいとは思えなかった
30～39 歳	プールは衛生面からも管理が大変だと思うが、健康促進のための施設はあっても良いと思う。例えば屋外テニスコートや、人工芝でゆったりできるような場所があると嬉しい。コロナ禍でも健康を維持できる施設があれば、利用していきたい
30～39 歳	プール自体を民営化できたら一番良い。それが無理なら、他のサービスでも何でも構わないので民営化、もしくは売却で良いと思う

30～39 歳	子育て世代だが一度も利用したことがない。子どもが楽しめるような魅力が全くない施設であり、亀岡市民プールや太陽が丘など、近隣の市の施設に行っている
30～39 歳	将来の負担を考えると廃止が妥当と考える
30～39 歳	色んな花を見れる場所が近くに欲しい。花の中を歩くことで心と体の健康につながると思う。花好きの親を歩かせたい
30～39 歳	主人と子どもは利用していたが、存続すべきであると答えている。他に利用できる温水プールがないのが理由だと答えている
30～39 歳	健康づくりより、温水プールに行くまでの足がない。不自由な者にお金を使って欲しい。バリアフリーが向日市はできていない。温水プールは民間にやってもらえば良い。路線バスなど、もっと生活に目を向けた行政になってほしい
30～39 歳	・利用者の年齢層を公表してほしい。高齢者が大半を占めるのであれば、施設自体不要だと思う ・改修工事費用だけでなく、年間の維持費も公表すべき。改修したとしても維持費用によっては本当に不要だと思う ・子育てに注力すべき。子育て世代が増え、希望する保育園に入園できず、子育てしやすいとは言えない
30～39 歳	向日市民より他の所の方の利用の方が多いのに、そこに税金を使ってほしくない
40～49 歳	他市の利用者が多すぎる。その利用者のために税金を払っているのではない。参考資料で、プール利用者が令和3年度に約9万人となっているが、複数回利用している人も多いはずで、実数がわからない。仮に利用者アンケートの329名がその実数であれば、329/56000となり、割合が少なすぎると考える。プールを残すなら、この方々は利用料金を値上げしても良いと言われていることから、思い切った値上げをしてもいいのではないかと考える。プールをなくし、もっと維持管理費の安い公園などにしてはどうか
40～49 歳	子育て、老後の生活を思うとこのような施設があっても良いと思うが、もっとコンパクトで、いつでも通いやすい施設の変更がよいと思う。長岡のじゃぶじゃぶプールのように。プールより、水遊びが出来る・散歩コースがある・バーベキューが出来るなど、人が集まりやすい方が利用者も増えるし、良いと思う。老人の方にはボランティア活動の推進と、サークル活動の活性化により、プールより社会活動を行政がすすめていく方が良いと思う。また、災害時の対応ができるようにすることも必要かと思う
40～49 歳	健康増進というならば、老人向けだけでなく、子ども達の運動できる場を作るべき。遊具のある公園では、中高生は譲らなければならない
40～49 歳	建て替え費用と維持コストを利用者収益のみで賄えないだろうか。ごく一部の市民（と市外）の方々のみに対する施設の赤字補填を市財政が負うのはいかかかと考える
40～49 歳	今後少子高齢化社会が進むことを考えると、多額の税の使い方について議論が必要であると思う
40～49 歳	・当自治体のみでのさらなる存続には無理がある ・現在の利用者（当市民以外の他市からの車での利用者）からはとても魅力があるとのことをよく聞いている ・廃止の時は京都市の西京極のプールへ行くことを考えている ・近隣の自治体で取り組んでやれば、負担も少なく済むのではないか
40～49 歳	今後人口減（＝利用者減）となるのは目に見えている。民間施設で十分だと思う

40～49 歳	向日市民として、あればもちろんうれしいが、コロナ禍のこともあり、正直そこまでの魅力を感じない。修繕に税金が使われるのであれば、もっと緊急性の高い住民サービスをしてほしいのが一番である。プールとなると、「そこに通えるほど余裕のある人たち」のみへのサービスである。市民全体に公平な還元をしてほしい
40～49 歳	少子化が進む中、外に一つプールがあるため必要ないと思う。財政も豊かではない。年金は毎年減らされるばかり。その反面、物価は上昇している。これからの生活、本当に大変である。もっと年寄りが安心して暮らせるように、軽費老人ホームを待ち無しで入れるように力を入れてほしい。ヤングケアラーが現在増え続けているため、若者が安心して働けるように、また学校に行けるように考えてほしい
40～49 歳	無駄が多いように感じる。市民の3割しか利用していない施設に多額の税金を投入するのはやめてほしい。もっと違う形で市民が利用できる場所を、今ある既存の施設で考えてほしい。もっと税金を大切に使って欲しい
40～49 歳	閉鎖させ、その分を他の行政サービスに注いでほしい
40～49 歳	現在の世界情勢から、原油価格や資材の高騰は不可避で、施設の建て替え・その後の維持管理はさらに厳しくなることが予想される。故に市民温水プールは廃止し、民間施設を利用する方が、向日市の財政・企業経営・市民の税負担の観点から賢明であると考え
40～49 歳	公共施設にするなら、全市民にとって使いやすく分かりやすいものにしてほしい。民間のプールなども新しい施設になれば、ぜひ利用したい
40～49 歳	すべての市民が便益を享受している施設でもないのだから、維持が困難なものは廃止で仕方ない
40～49 歳	当該施設を売却し、高層のマンションを建てることで、水害時の一時避難先とすることができ、安全面にも役立つのではないかと
40～49 歳	子ども達が遊びに利用するプールではなく、お年寄りの憩いの場になっている気がする。これでは市の高齢化は否めず、若い子育て世代を呼ぶために向日市のやっていることは間違っていると思う。プールにするくらいなら、大きな遊具がある公園やドッグラン、芝生など向日市には全くないものを作るべき。あまり行かない人を排除する感じのプールはやめたほうが良い。若いお母さん方はものすごく見られる
40～49 歳	・市民以外の利用者が多い施設に多額の費用を使うのは無駄だと思う ・ある特定の人物だけにメリットがある施設ではなく、市民全員が利用できるような施設に費用を回すほうが有効である ・ジムとして利用している者が多いのであれば、一般のジムを利用すればよいと思う。わざわざ市民から徴収した血税を投入すべきではない ・今後人口減少が予想されている中であると、さらに運営を継続する費用がかさみ、増税されると困るため、廃止すべき ・黒字運営できないと無駄であると思う
40～49 歳	今後、自分の子どもに負担がないように考えてほしい。マイナス面は今で終わらせてほしい
40～49 歳	利用しないプールに税金を使わないでほしい
40～49 歳	JR 向日町の改札も増えるのであれば、利便性は良くなると思う。どうせなら亀岡市民プールのようになれば来場者も増えるのではないかと。温水の必要は感じない。しっかり駐車場料

	金も入場料金も回収して運営してほしい。市民のための施設が市民の負担にしかなくていいのであれば、税金の無駄に感じる
40～49 歳	一般のジムより安価だと思う。存続する場合値上げが妥当ではないか。ただし維持費を賄えない場合は、他の行政サービスに振り替えるべきだと感じる
40～49 歳	温水プールやジム施設などは民間のものを利用できる。市の行政サービスとしては、市民の健康増進に関わる他のサービス（不定期の運動教室など、大規模な施設や維持費が必要ないもの）を充実させるだけで十分だと思う
40～49 歳	モノよりも人。人が必要としているサービスに財源がまわるとありがたい。管理・維持にお金がかかるものは規模を縮小するなど、コンパクトになるとよい
40～49 歳	高齢化が進む中、費用がかかる割に利用できる人が限られるプールよりも、コンパクトな市ならではのきめ細かい住民サービスにお金を振り分けてはどうか。とはいえ、各世帯にアンケートを配っている姿勢は感動的である
40～49 歳	何でもかんでも役所がするべきではない。民間で十分。市民の税金を無駄遣いしないほしい
40～49 歳	存続の声も一部では上がっているのは知っているが、利用していない市民が多いと思うので、廃止で良いと思う。プールの改修に税金を使うのならば、老朽化が目立つ小・中学校の改修や建て替えに使ってほしい。こんなに小さい市なのに、もっと有効な税金の使い方を強く希望する。市役所の建て替えや、東向日の別館、旧上田家住宅など、こんなものよりもっとまともなお金の使い方をしてほしい。プールを廃止するのなら、跡地を有効活用してもらいたい。図書館をもっと車が駐車しやすい場所に移転するとか、もしくは別館をつくるとか、地域と連携した総合病院を誘致するとか…小さな市で、面積のわりに税収もあると思う。もっと魅力的な市を目指してほしい。特に、きちんと市民に目を向けた事業を行ってほしい。景観をよくするために、電柱とか電線の地中化をした方がよっぽど美しい市になると思う
40～49 歳	市民の利用者が少ないと思われるのに、税金を施設に使うのはおかしい。廃止すべき
40～49 歳	利用したことがないため必要性を感じないが、今まで利用してきたお年寄り・子育て世代の方は困るだろう…という気持ちもある。今は子どもから大人まで楽しみ方が変わってきて、昔ほどプールは人気がないのかもしれないと感じた。将来的にはまた変わるのかもしれないが、ボルダリングやスケートボード場なら行ってみたいと思うし、管理もしやすいのではないかな。場所が不便なため、高齢者のコミュニケーションの場に本当になっているのだろうか、と疑問に思っている。介護になる前の段階で、現状維持できるような歩くことが出来るリハビリ施設を作るのはどうだろうか。また、平日にお年寄りを乗せてゆめパレア行きの専用バスを運行して、行きやすくするのはどうか
40～49 歳	犬と一緒に入れるお店や公園がないため、ドッグランの設置を望む
40～49 歳	こうした施設を行政が運営する必要はない。民間事業者に任せるべき
40～49 歳	お風呂・サウナは必要ないと思う。利用料金も安すぎると思う。駐車場も有料にすべきではないか
40～49 歳	プールがあれば市民としてありがたいが、この小さな向日市でプールを維持し、市民として財政を考えると負担であると思う。プールを維持するのであれば、その経費を、向日市民ならジムを使う時に割引もしくは開放などをしてもらえたらよいと思う

40～49 歳	維持管理に多額の費用がかかるなら、今後はプール以外で比較的費用の少ない、体を動かすための施設（ジムなど）を整備して、市民の健康増進を図ってもらいたい。また、施設利用にあたっては市税が投入されているのであれば、市民と市民以外で利用者の料金には差をつけてもらいたい
40～49 歳	今後のあり方を一言で言うと、「スケートボードパーク」の建設を視野に入れてもらいたい。この先、未来の向日市が全国的に注目されるとすれば、スケートボードの場所だと思う。オリンピックでも金メダルを取った事により、今日本は最も海外において注目され、SNS の活用により時代は変わっている。日本が世界に対して、スケートボードが一番強いスポーツであると言える時代が、もうすでに動きは始めている。一度調べ、考えてもらえないか
40～49 歳	もしプールの施設を維持するのであれば、長い目で見て採算がとれるよう、多少高額な出費でもこの地域で一番のスポーツ施設にすべく、プールに限らずボルダリングやラケットボール（スカッシュ）、ヨガ・ピラティススタジオなどの様々な施設も備えた、スポーツを中心軸にした複合施設を建設し、内外から人を集められるようにする。 ・様々なインドアスポーツを楽しめるようなスポーツテーマパーク ・食事ができる場所 ・シャワー、お風呂、サウナ施設
40～49 歳	テニスコートや野球場などグラウンドとしての利用がよい
50～59 歳	水道の水圧が低い。そのため、温水プールなどに税金を使ってほしくない。水道事業を見直してほしい
50～59 歳	一部の利用者のためだけに、市民の血税を流すことには反対。スポーツジムなどが近隣にあるのだから、すべて自費で利用すればよい。税金は多くの市民のために上手に使ってもらいたい
50～59 歳	正直、一度も使ったことがないため必要性が全く理解できない。近隣にたくさんプールがあるため、それを利用すればよい。向日市のような小さな市に公営の大きな施設は不要ではないか。きわめて一部の市民のために、市税を投入するのは不公平である。継続するのなら、現在の利用者以外に、もっと多くの市民が利用できるようにしてほしい
50～59 歳	具体的な金額や規模がわかるアンケートならもっと回答しやすかった。添付されていた参考資料をみると、規模縮小・利用料金の値上げ・駐車料の有料化などの意見があったが、これらをもとに、これくらい縮小した規模にして、現在の利用者数であれば利用料は月額いくらになる…といったアンケートの方が身近に感じられた。月額いくらなのか、1 回いくら必要なのか、という情報は利用する者にとっては重要である。財政が困難な時に維持費のかかる施設の改修工事は控えるべきかと思う。負の遺産になるのであれば、反対である。採算がとれるのなら存続も良いかと思う。市民の意見を聞いてもらえるのはありがたいが、財政が破綻して困るのは市民である。理想と現実をしっかりと見極めた判断を願う
50～59 歳	遠いから今は行かない。交通手段がないと不便である。一部の利用者のために、市民と言われても他の市民が利用していないのだから無駄である。利用者が多くないものを運営しなくてもよい
50～59 歳	コロナ・インフレ・高齢化の中、本当に必要なことに税を使用してほしい。利用者が限定される、温水プールに多額の費用を使うのは不公平感が強い
50～59 歳	現状ではお年寄りのサロンであり、本当にプールを利用したい市民が利用しづらい環境である。多額のコストがかかり続けるプール、本当に必要なのだろうか。お年寄りも大切だが、現

	役世代の負担の大きさと、全体の効用を比較してもらいたい。選挙対策のための政治はもう終わるときが来たのではないかな
50～59 歳	維持管理を考えると、無くても良い。アンケートもお金をかけすぎている。向日市のポスターやカラーの広報誌も考えてほしい。以前のもので十分
50～59 歳	この程度のアンケートのために上質な紙を使い、郵便代や集計のための人件費を使うことこそ無駄に感じる。これからの向日市の在り方を考えるのであれば、LINE などを活用してアンケートをするなどして、若い世代の意見をもっと聞くべき。問2で「3. わからない」と回答した人が問6の「廃止の理由」を聞かれるなど、わけのわからないアンケートである。参考資料も、現在の利用料金がどの程度なのかもわからない
50～59 歳	感染症にも弱い施設であり、廃止しても良いと思っている。有意義に利用している人の存続の意見もわかるが、財政難にならないように熟考してもらいたい
50～59 歳	多額の費用・利用者の割合などを考えると、廃止以外に選択肢はない。市長には勇気をもって政治的決断をしてもらいたい
50～59 歳	・利用者が限定されるため、もっと市民全体に関わることを充実させてほしい ・利用しようにも交通の便が良くない ・先にこのようなアンケートを実施したほうがよかったのではないかな ・民間施設利用の際の助成があれば良い
50～59 歳	同封されていた参考資料の民間事業者からの主な意見の通りだと思う。解体・撤去し、民間に委託してはどうだろうか
50～59 歳	プールがあった方がよいとは思いますが、また赤字運営になると思うと将来が怖い。近所の人たちは、自宅で湯を沸かすより安くつくから毎日通い、自宅の湯を使わないと聞いたが、こんなことを平気で続けてきたら事業が赤字になるのは当然。民間ならもっと必死に黒字になるように頭を使っているだろうと思う
50～59 歳	利用者の利用頻度・年齢層・目的を調査して、他の施設で利用可能であれば廃止するべきだと思う
50～59 歳	・今後は少子化で税収が減ると思う。無駄遣いはしないほうがよい ・これからはお年寄りが増えるため、そちら向けの税金を使ったほうがよいと思う ・プールはプール熱などの感染症も発生する恐れがあるため、要らない
50～59 歳	遠く、交通の便が悪いため利用しづらい
50～59 歳	いらない
50～59 歳	血税で運営されているプールの利用者が市民3割ならば、市民プールの意味がない。民営にするほうがよい。無理なら廃止、もしくは民営の他の施設として活用する
50～59 歳	出来る限り多くの市民に財政を活用してもらいたいと思っている
50～59 歳	利用者の減少はコロナの影響もあったのかもしれない。もう少し幅広い視点をもって、時に合った運営・行政であってほしいと思う。廃止すべきとしたが、向日市に転入してくる子育て世代が利用しやすい、向日市のアピールポイントとして使っていけるなら魅力ある施設だと思う。ただ、家族観や働き方が多様化する中で、画一的な大規模な施設はハイリスクに感じる
50～59 歳	家から遠いため行きづらい。阪急東向日駅近くに役所の別館が来たように、駅前近くに施設を集めた方が使いやすい

50～59 歳	金額であつたり利用条件であつたり、向日市民と他との差別をもっとしたほうがよい。何度か利用したことがあるが、結構順番であつたり開館時等、品の悪い人多すぎる。常連意識の人たちの独壇場になっていて、向日市民である自分はとても利用する気にならなかった。現在は体育館を利用している
50～59 歳	立地がとても悪く、老人・子どもには利用しにくいものだった。駐車スペースも満車だった。全ての地区の市民の利用を考え、このような施設は交通の便の良いところに作るべきだとずっと感じていた。今回は廃止を強く望む
50～59 歳	建設するときに、今後の維持について考えなかったのだろうか。今でもバスが行くようにはなかったが、楽に行けるところにプールがあるわけでもなく、車を使える人しか行きづらい。お年寄りには大変。これからの年寄りだらけの向日市には無理な大きな箱モノである。真剣に税金の使い方を考えてほしい
50～59 歳	亀岡のプールを望む。子ども・孫が楽しめるプールを望む。利用料金は上げればよい
50～59 歳	一部の人が利用する施設に対して、多額の費用をかけることは問題だと思う。しかし、小中学校の水泳の授業で使うようにすれば、誰もが必ず使う施設になるし、公平だと思う。これまでと同様の運用であれば廃止すべきと考えるが、教育施設として活用できるのであれば存続しても良いと考える。その場合は施設を縮小して整備してほしい
50～59 歳	建設・改修に多くの費用が必要であり、またその施設を管理していくにも費用がかかる。近くに同じような施設があり、市役所が設置しなければならない施設でもないため、廃止したほうがよいと思う。多目的グラウンドの一部にしてはどうか
50～59 歳	廃止後には跡地を社会福祉サービスを行う目的に活用してほしいと思っている。困っている人へ活用してほしい。その他の活用案としては、企業に売却し、法人税を得ることも考えている。向日市は衰退していると思っている。発展の明かりが欲しい
50～59 歳	良い施設ではあるため、できればそのまま民間に払い下げなどにはできないか。正直、近所の人しか利用していないと思う。使いにくい場所にあり、わかりづらく、アクセスも悪く、道路も良くないため…
50～59 歳	今後は少子高齢化が進み、利用者が減るのではないかと。向日市は駅周辺以外は交通の便の良くないところもあるため、プールへ通う利用者も限られてくると思う。税金を無駄なく使って欲しい
50～59 歳	少し場所が遠く、利用するのが大変。とても多くの費用がかかるため、他の事へ費用を使ってほしい。道路の整備や、市民の安全などの福祉へ…
50～59 歳	最初から維持費がかかることはわかっていたと思う。必要ないと言っている人・プールだけでも残してほしい人…意見が分かれているが、個人としては改修工事・維持費を考えると廃止すべきだと思う。単一の自治体で維持していくのは無理だと思う
50～59 歳	他の市区と連携し、使用料金の補助をして、プール使用者の保護をして良いと思う
50～59 歳	維持管理費が膨大なため、残念だが市民プールは廃止し、収益を生む事業として道の駅を運営するのはどうか。国道からも近く、駐車スペースも十分確保でき他府県からの人流も期待できる。店舗構成、展示内容など収益を生む案件は多数ある。法的に問題がなく賛同してもらえるなら、乙訓として二市一町での運営とすれば内容が拡充し、コスト分担が出来るので一考の余地がある。ただ、渋滞発生時や自家用車の無い方の対応など問題も同時に浮かんてくる

50～59 歳	プールの施設維持には大きな費用がかかり、それを市で負担することはない。健康のために市税を使うなら、近隣の民間スポーツ施設に通う人に補助金を出してあげる方が少額で済む。向日市の年代別人口比率を考えると、高齢化が進み日々の買い物や通院が困難な人が多い。とても温水プールへ通う人が多いとは思えない
50～59 歳	・ゆめパレアむこうは交通の便が悪い場所にあり、車を運転しない者には行きづらい。JR あるいは阪急の駅から安全な道で徒歩 20 分以内ぐらいで行ける場所にしてもらえると、利用者が増えて有効に活用されると思う。向日市は住宅密集地で余剰地が少ないと思うので難しいかもしれないが… ・最近では機能回復に特化したジムも存在するが、そういった市の施設があると、介護予防にとっても有効だと思う ・向日市は、運動系施設と文化系施設を比較すると、運動系に偏っており、文化系が無いに等しいように思われる。心身の健康や成熟したまちのためには文化系施設もあってほしい
60～69 歳	プール等を自治体が運営を行う必要があるとは思えない。使用する人が相応の利用料等の負担をするのが当然だと思う。廃止されるのが良いと思う
60～69 歳	市民の健康維持増進という目的であっても、施設の維持管理コストを考慮して運営してもらいたかったと思う。今になって財政負担というのは、考えが甘すぎるのではないか。税金を活かしてほしい
60～69 歳	市民温水プールと言いながら、市内の人よりも市外の人たちの方が多く、プール自体必要ない
60～69 歳	参考資料を読んで、プールとシャワーのみにして、駐車料を有料にし、他市の人からは応分の負担をしてもらう等が実現できるなら、存続しても良い
60～69 歳	・市外の方の利用が多い施設を存続させるのはいかなものか ・向日市として本当に必要な施設なのか、一部の利用者のための施設になっていないか ・多額の経費が掛かるのなら、他の施策も考えるべき
60～69 歳	少子化に向かう現在、市の財政は必要でないものへの負担は極力抑えるべきだと考える。高度成長的な考えは極力持つべきでないと思う。必要不可欠なものを確実にける財政を願う
60～69 歳	人口 5 万人の小さな市で温水プールを維持すべきではない。一度作ると、毎年の費用が多すぎる。固定費を増やすべきではない。もっと住み良い町、環境の良い町に投資すべき。一部利用者の大きな声に引きずられるべきではない。近くに民間の施設がたくさんあるため、プールはそちらを利用してほしい
60～69 歳	市民以外の利用が多いのに、多額の税金を使うのはおかしいと思う。維持管理費も多く、一部の人しか使わないものにお金を出すよりも市民全員に還元するようにしてほしい
60～69 歳	存続希望の声も理解できないわけではないが、修繕費用や維持管理費がかかりすぎだと思う
60～69 歳	以前数か月利用していたが、常連客が幅を利かせており、遠慮しながら利用することになった。限られた一部の市民のために、何億もの市税を使うのは反対である
60～69 歳	子ども世代・子育て世代のために直接的に費用を使うべきだと考える
60～69 歳	どうしても必要であれば、維持と運営は民間委託してはどうか
60～69 歳	市内にある一般企業のプールやジムなどで、向日市民は入会金なし・月々の会費も安くなるなど、市が負担することで市民が利用しやすくなればよいと思う。車で行かないと行けない場所なので、行きたくても行けない人が多いのではないかと

60～69 歳	民間企業に委託して営業できれば
60～69 歳	昔市民プールに行ったが、民間企業の施設ができ、そちらに変更した。サービスや設備、営業時間、フィットネス事業もあり便利だったため。公営でその水準にすることは不可能だろう
60～69 歳	自宅でお風呂に入らなくて済み、水道代・ガス代等が減り家計が助かると利用者から聞いた。近くの人には都合の良い話だと思った。財政負担の増大は困る。例えば向日市の小学校に一カ所温水プールを作り、小学生のみ利用できるようにする。これからの子ども達に大切な税金を使ってほしい
60～69 歳	地域によっては利用しにくい。各地域の施設を必要に応じて利用するのが公平に感じる
60～69 歳	シェルターをつくる
60～69 歳	解体すべき。ついでに「あすもあ」「天文館」も無駄である。批判が出たとしても英断すべきである。「ゆめパレア」は銭湯になっている。どうしてもプールが必要なら規模の縮小は必須だが、そうすると利用者が減るだろうから、やはりプールは不要である
60～69 歳	向日市として費用が大変だと思う。スペースは面積的にも良いと思うため、民間に買い取ってもらえるとよいのではないかと。利用したい人は、利用代や駐車場代を有料にしたうえで、夏休みに各小学校を利用してもらうのはどうか
60～69 歳	せめて過去 10～20 年間の利用者数、維持管理費、収入などのデータを参考資料として掲載すべきだと思う
60～69 歳	・向日市に引っ越してきたとき、市民温水プールがあると知り、財政豊かな市だと驚いた ・利用しようと思って施設まで行ったが、一部の人たちが楽しんでいる閉鎖的な雰囲気を感じてしまった ・財政破綻になると言われている京都市が高価な漆塗りのエレベーターを作ったり、駅直結の地下道を作ったりしていると聞くと、向日市はあのようになってほしくないと思う ・市民温水プールの大規模改修および以降のランニングコストを思うと、他に優先するものに回した方がよいのではないかとと思う
60～69 歳	温水プールを一つの市で負担するのは重過ぎる。箱モノ事業は現在のニーズに合っていない。もっと行政サービスの内容を検討してほしい
60～69 歳	温水プールはあっても良いが、もっと規模を小さくしてはどうか。使用者も市民より市外の人が多いのは、料金が安いからではないか。それに、サウナやお風呂まで必要だとは思わない。これからは子どももだんだん少なくなりそうだし、場所も車でないといけないところにあるため、年を取ると行けなくなる。何十億もかけるのなら、もっと他に利用すべきではないか。低所得者のためにもっと考えてほしいことは色々ある。そちらにお金を使ってほしい
60～69 歳	向日市のみでなく、近隣市町村を含めて広域的に議論すべきだと思う
60～69 歳	10 億円もかけて市民プールを継続することはやめてほしい。生活が大変なのに、プールどころではない。絶対反対！
60～69 歳	CO2 削減や省エネが必要とされるご時世に、市が温水プールに多大な支出をするということは間違ったメッセージの発信となり、エコ意識を低下させることにつながる（太陽光発電は費用や安定性などの問題でももちろん反対）。人口 56,000 人の市にとって、10 億円は一人当たりの単純計算では大きな額で、市民全体の利益につながるような有意義な使い道が他にいくらで

	もあるはず。健康維持増進のための方法ならいくらでもあるので、市が温水プールに多額の費用を使うべきではない。
60～69 歳	必要ない。本来向日市のような小規模都市は、行政が非効率になるため、京都市に編入するのが妥当だと思うし、無理なら少なくとも長岡京市・大山崎町と合併して、公共施設を共有化して、行政の無駄をなくさないといけない。財政規模が小さいため、行政サービスや公共施設の充実に限度がある。近隣都市町の施設（図書館など）も利用できるようにすべき。プールのような特定の利用者しか使用しない施設はいらないし、民間の施設を利用すればよい
60～69 歳	健康増進のためとはいえ、施設を建築・維持するのはお金の面で負担が大きい。継続を望む市民に対しては、近くの民営の施設と提携して、市民割料金の設定をして、市の補助のもと安く利用してもらってはどうか
60～69 歳	循環バスの活用
60～69 歳	市民の使用が少ない所に多額の費用を使うのはやはりおかしいと感じる。もし可能なら、ニュースポーツをする場所として整備すると需要があると思う。市民体育館の大室を気軽に少人数で借りるわけにはいかず、また小学校の体育館となると夜間などに限られるため、たくさんの方に使用できる施設を考えてほしい。残念だが、市民温水プールは閉めて別の物を考えてもらいたい
60～69 歳	一部の人間しか利用できないような不便な地にある市民プールは、あってもなくても一緒。同じように市民税を支払っているのに、不公平である。廃止して予算や跡地を有効利用してほしい
70～79 歳	財源が無限にあれば、たとえ受益者が一部の市民であってもサービスして差し支えないが、資料によると一か月に利用している市民は延べ 1,000 人（実数はそれ以下）に過ぎない。市内には民間事業者のプールもできているらしく、どうしても泳ぎたい人はそれを利用すればよい。もっと少ない金額で、もっと多い市民に便宜を与える事業を考えるべきである。例えばコミュニティバスの安定的運行、図書館で新刊書を買う経費を年に数百万円増額。お買い物クーポンも、もし 10 億円があれば全世帯に何万円も配れる
70～79 歳	孫たちもお世話になり、低料金で駐車場も無料で、よく利用させてもらった。また、健康増進センターもよく利用させてもらった。しかし、改修・新築にしても、今後すごく経費が掛かると思う。人口も減少しつつあり、また子どもも少なくなり、心情的には続けてほしい気はあるが、民間の施設もあるため廃止が妥当だと思う
70～79 歳	向日市以外の方が多く、将来的にみても維持費がかかりすぎる
70～79 歳	交通の便が悪く、利用しにくい。市内・市外の人にかかわらず、特定の人しか利用していないのではないかと。近所の人々で利用しているという人は全くと言っていいほど聞かない
70～79 歳	子育ての若い人（30 代～）は必要。75 歳以上の人との考え方は違うため、なんとも言えない
70～79 歳	民営化を望む
70～79 歳	一部の人のために市民税を使うのは、不公平すぎると思う
70～79 歳	市民サービスと維持管理費を考えると、改修費用と合わせて負担は大きくなると思う。少子化が進み、将来の利用人数は望めない。企業誘致や洛西口付近の人口増加で税収は増えるかもしれないが、10 年先は展望が見えるのか。それよりも、子どもの数が増える対策、人口が増える環境をどう作るのか、難しい問題ではあるが考えてほしい
70～79 歳	児童の教育や福祉に役立つ施設をつくるのはどうか

70～79 歳	向日市は何事に対してもスタートが遅い。前もって計画すべき。一般企業では手遅れになる
70～79 歳	近くに他の施設があるため、要らない
70～79 歳	今まで一度も利用したことがない。自宅から遠いため、利用できない。
70～79 歳	民間のジムやスポーツ施設に一人当たりの限度額を決めてチケットまたはカードを出す
70～79 歳	もっと早くこれらの検討をすべきだったのでは？
70～79 歳	交通の便が悪い
70～79 歳	もっと規模を小さくして、また家から遠いため、できれば2カ所あればありがたい
70～79 歳	アンケートで存続が多数であれば、受益者負担を市民と市民以外で分けて、両方とも値上げが望ましい。駐車料金も同様に。お風呂とサウナは必要ないと思う。シャワーだけで十分である
70～79 歳	交通の便が悪く、車がないと通えない
70～79 歳	プールを利用することはない。運動は歩くことができるくらいであり、泳ぐ気にはならない
70～79 歳	・一部の人が利用している施設で、存在にかかる費用を考慮すると必要ないと思う。近くにある施設を利用すればいいのではないか ・向日市民以外の利用が多いのは料金が安いからで、経費の無駄にしかになっていない
70～79 歳	建設時から多額の費用が見積もられ、将来の維持管理ができるものか心配していた。設備の内装、給湯器、ろ過施設等。今回の再開には多額の費用がかかる、当市では財政的にもなく、修理に積立金もない、利用状況も他市が多い。修理・再開をするにしても、将来的に利用料金・駐車場料金値上げにより、将来の修繕代金が積み立てでき、次代市民の負担にならないような料金改正をする。風呂・サウナなどは当然個人負担。プールには必要なく、個人で行くべき
70～79 歳	市民温水プールの市民利用者が3割未満という実態では、存続する意味がないと思う。存続希望者の大半は市民以外の方ではないか
70～79 歳	継続するなら、多くの企業からの寄付や、民間企業との協業で、市民税の投入をできるだけ少なくしてほしい。税金の無駄遣いはしてほしくない
70～79 歳	あまりにも交通の便が悪いため、一度も利用したいと思わない。健康維持のためにスポーツ施設を利用したいとは考えているが、向日市の施設には魅力を感じない
70～79 歳	行政は向日市民全体のことを考慮して、幅広く市民が利用・活用できることに先んじてほしい
70～79 歳	5～20 億円の費用を使うのであれば、他の事、向日市の市民、全ての人のためにそのお金を使うことを考えてほしい
70～79 歳	最近はお風呂だけの利用をする人が多いと聞く。しかも、向日市以外の方がたくさん利用しているとのこと。向日市民はなかなか入れないと聞く。もうひとひねりしてはどうだろうか
70～79 歳	市の財政を考えると厳しい。アンケートのパンフレットにある通りだと思う。廃止が妥当ではないか
70～79 歳	とにかく交通の便が悪い。基本に立ち返り、向日市全体から計画を考え、住み良い市にしてほしい
70～79 歳	現状の市財政では施設運営維持は無理だと考える。人口減少が今後予想され、さらに収支は悪化する。向日市民の利用者は少なく、利用料金を上げてさらに利用者の増加が起こるとは考えにくく、収益の改善は望めない。施設は改装または安価な施設を新築し、新たに種目も増し、若者や高齢者にも利用できる新たな健康増進施設にしてほしいと思う

70～79 歳	市民プールの修繕費用や、今後続けていくにしても、維持管理していくには莫大なお金がかかるように思う。市民の利用者が少ない中、利用料金や駐車場の料金を値上げしても採算が取れないと思う。そうでなくても向日市の財政難の中、運営を続けることは難しいように思う
70～79 歳	財政に余裕があれば、市としてプールを持つことが理想的であるが、納税者人口の減少が明らかである中で、建設費用に加えてランニングコストの費用を考えると、向日市の規模でのプール運営は、未来の市民にとって負の遺産となるのではないかと。向日市、長岡京市にある民間のジムのプールを利用してもらい、そこに通う費用を（低所得者対象に限り）市が補助していく方が、市としての負担は軽くなるのではないかと。2階の健康増進センターはぜひ再開してほしい。市民の健康増進にとっても役立っていると思う。受講待ちで並ぶのは、時間のロスが大きすぎるため、ネットなどで前もって予約できるように改善してほしい。若い年齢層の方も利用しやすいように、予約方法、利用時間なども改善してもらいたい
70～79 歳	プールは廃止し、健康増進センターは存続
70～79 歳	すぐ近くにスイミングスクールがあり、細い道で乗り降りする車が多く、自転車で買い物等をしているが、道が混んで危険に思うことが多い。市民プールをスイミングスクールに変え、広い駐車場を用意し、ゆっくり利用できるスペースにしてもらえたら……市民プールは遠過ぎて一度も行ったことはないが、現在高齢になりますます行く機会がなくなった。京都会館のような歌手のコンサートや舞台・芝居を楽しめる場所などはどうだろうか
70～79 歳	温水プールは老朽化が激しく、大規模な修繕代が市の財政を圧迫しているならば、即刻廃止すべきだと考える。市民の税金は、もっと優先度の高い施設に投入していくべき
70～79 歳	・温水プールはコンパクトにして、乳幼児と成人を区分し、子連れで利用出来るよう、特に気を配る ・シャワーのみにし、サウナや風呂は不要。銭湯になっている ・プール料金を値上げし、市内の銭湯より高くする。市民より、他市民は料金を高くする ・交通の便が悪いため、駐車場は必要。駐車場を有料化する ・ネーミングの一本化を行い、「健康増進センター」にする ・オムツ使用者は利用の中止、または別のプールを準備する ・全体的に明るい施設にする
70～79 歳	時代の流れではないか。健康維持の方法が変わっており、行ってまで泳がないのではないかと
80 歳以上	交通の便が不便であり、利用の価値がない
80 歳以上	・寺戸町に住んでいるが、高齢者が多く、足もない ・近くに有料プールがあり、高い改修費を使用する必要はないと思う ・改修してでもプールを存続してほしいという意見が多ければ、異存はない。若い利用希望者の意見は尊重してほしい
80 歳以上	高齢者には所在が不便なところにあり、現在の向日市運営のバスの走り方では利用できない。行けないから反対である。現在の市営バスを双方向に改革することが先決！
80 歳以上	プールに限らず、全ての支出を締めて、税金や各種保険料を減額できるように努力すべきである。本アンケートや「広報むこう」についても、もっと税金を使わない方法などを知恵と工夫を凝らすべきである
80 歳以上	コロナの流行で、向日市の財政も大変だと思うが、民間に移行して運営してもらってはどうか

80 歳以上	向日市は老人が多く、税金が入らなくて大変になるだろう。プールに多額の費用を要するの も、考えるにはいい機会かと思う
80 歳以上	スポーツ施設で汗をかき、シャワーを浴びることはあれど、お風呂やサウナは必要ないと思う
80 歳以上	市の中心部で他の娯楽施設に近くプールはコンパクトで3～4階建てで体力向上娯楽施設等 に変えてほしい
80 歳以上	向日市の中心で便利なところがあれば、利用者も増えると思う
80 歳以上	子ども達のためにも残してあげたいが、まず少子化問題に市としてどのように取り組んでい くのか、向日市の現財政をどのようにしてしっかりと確立していくか。向日市の現状では、温 水プールの継続だけが市の発展に寄与しているとは思えない。もっと緻密な予算の活用が必 要ではないか。教育や子どもに対する施設を中心に、質の高い支援が必要と考える
80 歳以上	健康のため、または友との触れ合いの場として利用されていると思うが、継続するための建設費 と維持管理費などの多額の費用を考えると、利用している人には残念だが反対せざるを得ない
80 歳以上	健康で心豊かに生活するためには文化施設は必要だと思うが、行政の財政に負担が大きいも のであれば考えるべきだと思う。財政に余裕のある場合は別だが……箱モノの経年劣化に、想 定以上のコロナ禍の障害も加わったこと等も残念だが、少子高齢化の現実も止むを得ない。こ れ以上、財政の重荷になるのは良くないと思う
80 歳以上	廃止した方がよいと思う

③わからない

(121 件)

年齢区分	意見・要望
20 歳未満	利用したことがないが、そもそも行きにくいところであるため、バスなどが出れば利用してみたいと思う。もし廃止になってしまうのであれば、その費用を子育て・障がい児支援に充ててほしい。もう少し、他の困っている市民にも目をやるべきかと思う。人口の多い都市で、子育て世帯も多いため、明石市を見習って頑張ってもらいたい。ジムだけでなく、子どもが遊べる施設などが併設されればよいと思う。洛西口のガタゴトのように、市民と他で差別化するのも良いと思う
20 歳未満	復活させるのであれば、料金の値上げ・向日市民の優遇・規模の縮小等を進めていくべき。民間企業と手を組むというのもありではないか
20 歳未満	みんなが平等に使えるようにするべきである
20～29 歳	存続・廃止、どちらにしても税金を使ってしまうことであり、利用者・非利用者共にメリットがある方がよいと思う。料金の値上げや駐車場の有料化、色々な意見を取り入れて検討してほしい
20～29 歳	小学生の時に水泳を習ったとき以来利用していない
20～29 歳	仕事終わりの時間に利用できると大変助かる
20～29 歳	今回のアンケートで存在を知り、利用してみたいという気持ちになった
20～29 歳	現時点で利用することはないが、今後ライフステージの変化によって利用することがあるかもしれない
30～39 歳	過去に数回利用したが、常連の高齢者のための施設のような雰囲気、子育て世代や子どもたちは利用しづらいと感じた。市民プールに限らず、行政サービスは高齢者向けのものが多く、もっと若い世代にも恩恵を受けられるようにしてもらえれば、少子化の解決にもつながるのではないかとと思う。子どもたちのために活用できる市民プールであればぜひ残してもらいたいが、そうでなければ、費用は子どもたちのためになりそうなサービスに回してもらえたらありがたい。また、利用料が大変安くありがたいが、向日市民の行政サービスであるため、市民以外の料金は一般的なプール利用料金としてもっと高くしないと採算がとれないのではないかとと思う
30～39 歳	赤字を補填するために利用料金を増やすのはあり。住民税など、プールを使っていない人の負担が上がることはあってはならない
30～39 歳	規模を縮小してでも存続できるのであれば、現在利用している人のためにも継続の方向で検討してはどうか
30～39 歳	まだ市民プールを利用したことはないが、行ってみたいと思っていた。コロナ禍になってしまい行けなかったのが残念。駐車場が利用しやすく清潔であればぜひとも利用したい
30～39 歳	・市外から転入してきた人への広報が十分でない ・「ダウンサイジング」の意見が寄せられているが、どのようなダウンサイジングが検討できるのか ・「サウンディング型市場調査」について、数値比較や図式化をしてほしかった ・ゆめパレアむこうに親しみを持つきっかけになるようなイベントを開催し、市内や近隣市外在住者に向けてアピールする ・ゆめパレアむこうを利用することで、市内で少しお得なサービスを受けられる機会を設ける ・向日市として、存続させたいのかどうか、方針が伝わってこない。意見を書こうとしてもま

	とまりがなくなってしまう。また、記載することでこういった活用がされるのか、結果の情報開示はどのようにされるのかなど、不透明に感じる
30～39 歳	長らくの管理運営に感謝している。今後はもっと、どんな施設があるのか・できるのか、たくさんアピールしてほしい
30～39 歳	今後存続すると判断された場合、懸念されることは「無駄なランニングコストがかかっている」ことと、「利用者が少ない」ことが挙げられる。利用者が本当に必要だと思うものを重点的に残し、無駄だと思われるものは減らす。そのうえで利用料金の見直しをはかることが必要だと思う。また利用者の増加に向けて、掲示板、SNS、道の駅や市役所など活用して発信していくことが重要
30～39 歳	存続するのであれば、子どもが大きくなったら行かせたいと思う。しかし、学生・独身・大人はあまり利用しないのではないかなと思う。子どもやお年寄りのためのプールというイメージがある。そのため、費用が大きくなるのであればなくても良いと思う。市外から来るのが多いのであれば、市の予算でする必要はない。その分を教育や子育て関連にサポートしてもらえたらうれしい
30～39 歳	利用したことはないが、安価でプールを利用できるのは非常にありがたいし、子どもとの遊び場としても有用。設備として、温水などは必要かは明確な理由が必要。子育て世代としては、向日市には大きな公園や子どもが集まれる場所が少ないと感じる。今後の子育て世代を増やすためにも、大きな広場や図書館など、スポーツと文化の両立がしやすい施設もよいと思う。それが魅力的であれば、市外からの利用者也増え、市内利用者也行きやすい。施設規模を見直すのが現実的か。もしくは完全リニューアルで街の価値アップにつながる取組を期待したい
30～39 歳	子どもの時は安い料金で楽しく遊ばせてもらった記憶がある。現在は自宅からやや遠く、時間も仕事等で余裕がないため、利用していない。プールの修理や維持についての費用負担を考えると、市営ではなく、民営に払い下げるのが妥当ではないかなと思う。市民以外の利用者が多いという点から、向日市外からのニーズがあり、使いやすいなど何かメリットがあるのではないかな。このメリットを活かし、例えば民営としながらも向日市民の憩いの場、あるいは市外からの利用者が何か向日市で消費してもらえる地域経済活性化の地点としていけないかな。また、アクセスの悪さがあるため、使って欲しい年齢層をターゲットに送迎バスを走らせるなどの対策も考えられる
30～39 歳	今まで利用したことはないが、子どもが大きくなってきたため存続するのであれば利用したい。しかし、費用や維持費を考えた時、本当に必要な施設かといわれると、そうは思わない。費用はわからないが、もう一つ体育館でもよいと思う。体育館でできるスポーツに力を入れるのもありなのではないかな
30～39 歳	現在は自宅から通いやすい距離のスイミングスクールに子どもを通わせている。料金改定については、施設運営に必要であれば仕方ないと思っている
30～39 歳	自分が子育てをするようになったらまた利用するかもしれないが、財政負担を考えると無くなってしまっても仕方がないと思っている。日々の運動のために利用している人もいるが、他のスポーツジムもあるのではないかな
30～39 歳	子どもが小さいためまだ利用したことはなかったが、小学生になるとたくさん利用していたと思う。利用料金を値上げしても、必要な人はこれからも利用すると思う

30～39 歳	・新築する場合、工事が長期になるため、これまでの利用者が他施設に行くことになるかと思う。そういった人たちが戻ってくるような魅力ある施設を計画することが必要になると思う ・コストと休館期間を最小にするのであれば、ダウンサイジング改修が最も合理的であると感じた。コロナによる利用者減が今後回復するのか、横ばいなのか見通しが立たない状況では、本件にかかるコストは最小限に抑え、最悪の条件でもダメージを最小にできるようにした方がよいと思う
30～39 歳	そもそも勝山中学にプールがないから小学校卒業後プールが必要と思えない。入ろうとしたら水着も必要になるので使わない。個人的に図書館の本の返却ポストが欲しい
30～39 歳	プールはあるのは嬉しく、子育てしてる身としては安くて夏遊びに行けるため、利用したいと思う。しかし、そのせいで困っている人へのお金が少なくなったり、財政負担したりというのは違うと思う。他の市の人が利用して利益になるならよいが、元を取れるのはいつになるのか。メリットが大きいなら、綺麗にして縮小して続けてほしいと思うが、お金がかかるだけなら不要ではないか
30～39 歳	教室の時間があるため、一般客で行ってみようと思いましたが、子どもだらけで行きづらかった。また、古いのでどの年齢の方が行っているのか分からず、行くのを躊躇した
40～49 歳	存続するのであれば、プール教室の値上げ（特に向日市外）や駐車場の有料化（あまり高くなるのも利用者減になるし、かといって駐車場は必須。施設利用証明で、30 分または1 時間は無料）など、いろいろやり方はあると思う。ただ、それほど使わない人間（向日市のほとんどの人）にとっては、それほどそれに固執していない
40～49 歳	現在の土地を利用して、別の施設として活用してほしい。例えば、遊具付きの広い公園・営利目的可能なレンタルスペースなど
40～49 歳	入場料をもっと安くしてほしい
40～49 歳	子どもが幼いため利用したことはないが、無くなってしまっただけ残念に思った。近隣のスイミングスクールも生徒が増えて混雑してきている。向日市民に優遇される形での復帰を希望する
40～49 歳	自分自身はプールを利用していない。しかし、自分の子が小さい頃に何度か利用した時は子どもが喜んでいたので、あってよかったと思う。ただ、今後建て直しなどで向日市の財政を悪くするのであれば、他の事に使ってもらいたい。大切な税金の無駄遣いは避けてほしい
40～49 歳	このアンケートに係る費用でもかなりの事が出来たのではないかな。このアンケートくらいなら、ネットでもよかったのではないかな。紙代・郵便代・人件費、いくらかかっているのか
40～49 歳	存続・廃止については難しいラインだと思う。多少の値上げなら許容範囲だと思う。運営のために大きく値上げする必要があるのであれば、近隣でもよい。ダウンサイズもありだと思う。あの値段であの施設を利用できていたからこそ価値があったように感じる
40～49 歳	市民の健康増進の施設であれば、プールにこだわらない。より健康を目指せるような、利用しやすい場を希望する
40～49 歳	更衣室が衛生面的に嫌な感じだった。また、なぜ大人まで帽子を強制的にかぶらなければならないのか分からない。規制が多い割には衛生面が悪い。存続の意味も分からないし、駐車場も少なすぎる
40～49 歳	近隣駅から直行・経由する市バスがあれば使いやすい
40～49 歳	民間に入ってもらい、一から立ち上げてほしい

40～49 歳	子どもが小さい時に利用していた。ロッカーなどにお金がかかったり、時間制であったためあまり利用しやすい施設ではなかった。今は近隣にプールも備えているスポーツクラブなどもあり、利用者も減っているのではないかな。JR 向日町にタワマンができるらしく、それにも向日市の税金がかなり使われているらしい。
40～49 歳	人口減少になるため、財政負担を考えると運営を続けることは難しくなると思う。広場が少ないため、空地のようにしてほしい
40～49 歳	機会があれば利用したいと考えていた。無くなってしまったら残念だが、改修や建て替えにかかる費用も大きいと、仕方がないとも思う。もし存続するのなら、他市から利用する人は利用料金を差別化することを希望する
40～49 歳	健康増進とのことで、高齢者のためというイメージがあり、大きい方は高齢者、小さい方は幼児という考えで、今は行っていない。ジムに関しては存在を知らなかったが、それも高齢者用かな、と思っている。今は利用することはない
40～49 歳	子どもが小さい時にはプールを習っていたが、もうみんな大きくなり、使うことはない。ただ、小さな子は近くにプールがあると楽しいし、習い事のプールは子どもの成長、特に男の子にはありがたかった
50～59 歳	・市民温水プールについては、長年利用しなくなっている立場より考えると、民間委託して、そちらを利用したほうが使いやすいように繋げてあげられたら良いのではないかなと思う ・特に、健常者はそういうところで大丈夫だと思うが、障がい者の方が使えるのはどうすればよいだろうか、と考えさせられる思いである ・高齢者の介護予防の点でも、そういう対象の人が使えるような工夫が欲しい ・新しい建物や施設より、民間の類似施設と連携できる市民サービスにお金を使っても良いのではないかなと思う
50～59 歳	子どもが幼稚園児の頃に利用したが、年配の方から「子どもだったらもっと別のところで遊べばいい」と数名から何度も言われ、居づらくなり早々に帰った。以降、水遊びは亀岡の市民プール横の噴水へ行くのが恒例となった。迷惑になるようなことはしていなかったのに、自分たちが住むところで利用しづらいところはいらなく考える。利用したいと思える施設が少ないので、市民がありがたいと思えるものに予算を使ってほしい
50～59 歳	子どもが小さなころは、安全で健康的に遊べるため、よく利用していた。普段仕事の夫が子どもと一緒に楽しくリラックスできる場でもあったと思う。子どもが大きくなってからは全く利用しなくなったが、今度は自分の心身の健康のために利用することもあるかもしれない、と考えていた。現在楽しく利用している人が多いのであれば、もう少し簡素化（シャワー・サウナは必要か？）されたとしてもあった方がよいと思っている
50～59 歳	市民のためのスポーツ施設があるのはとても良いことだと思うが、ジムや体操などそういう施設でも良い気がする。原油高・コロナ禍など、今までと同じように使用するには厳しい状況であると思う。億のつくお金は有効に市民に平等に使ってほしい。プールも行ける人だけのよう気がする。市民以外の利用者が多いのも、市の税金を使って他の地域の方に還元されているのはどうなのか。利用料金に差をつけるなどして、市民のためのものであってもらいたい
50～59 歳	老後に運動したり、人と関わりが出来る場所があれば良いと思う
50～59 歳	JR 阪急の駅から遠く、利用しにくいと思っていた

50～59 歳	・子どもが小さい時に、夏休みのプール体験などでお世話になった。自分自身は少し距離があるため、なかなか足を運ぶまでには至らなかった ・市営であるため安く手軽に利用できるメリットはあるが、利用者が減っていたり、他の近くの民営プールができたりと、建て替えてまで必要なのだろうか ・建設費や維持費について、採算がとれるのか疑問がある。もっと利用が増えるような、増客を見込めるプール以外での施設にするのを考えてみてもいいかもしれない
50～59 歳	建て替えは財政負担が大きすぎる。高齢化で税収入が減ると思われるため、何か他の施設で健康維持に役立つものがあればよい。もしプールを新しく作るのであれば、値上げあるいは向日市民以外から多めに利用料を取るなどの対策が必要と思う
50～59 歳	レジャープールでなく、泳ぐ・歩くのみのプールにしては豪華すぎると思う。小さい市に相応しくない。将来の負担も大きく、改修も建て替えも大変だと思う。廃止するとあの建物はどうなるのか。維持費のかからない健康施設はないのか？
50～59 歳	今回初めて知ったが、お金がかかっていると思う。昨今では無料ではなく有料が前提。老人ホームと連携して高齢者の水中運動促進、プールのない学校に貸し出し、近所のジムと連携して大会を開催など、何らかの形でプールを利用し、アイドルタイムをつくらないことが必要ではないか
50～59 歳	プールのアンケートを何千件に送っているのか。費用の無駄遣いだと思う。この経費をもっと有効に使うべきではないか
50～59 歳	ジムは利用料が高くなってもよいのでできれば再開してほしい。温水プールもあれば利用したいが、市民負担が増えるなら無理をして再開しなくてもよいと思っている。財政状況に見合う形で検討してもらいたい
50～59 歳	市民プールを存続するのなら、もっと他に道路整備や信号が必要な交差点などの見直しをしてほしい
50～59 歳	子どもが小さい時に何度もお世話になった、大好きな場所である。当時、ロッカールームの寒さ、キャノピーが開いている時の日陰の寒さ、営業時間の利用しづらさなどが気になった。ゆめパレア・市民体育館など、どういう違いや、やっている中身などわからないことも多く、足が遠のいている。併設にカフェや図書館などがあれば利用したいが、交通の便も悪く…ヨガや貸しスペースなど、文化的な活動にも使えるように改修してはどうか。
50～59 歳	もし建て替えをするのであれば、利用料金をいろいろ作ってみてはどうか。料金が高くても利用したいと考える人もいるため、年会費制や一時利用、また向日市在住かそれ以外などで選べるようにすればよいのではないかな。できるだけスマートな形で運営してもらえたらうれしい。健康講座なども、いろいろあれば足を運んでもらえるのではないかな。毎日何かを開催していると、行きたくなると思う
50～59 歳	高齢者の健康維持・介護予防につながるような施設をつくってほしい
50～59 歳	財政的に他の行政サービスとのバランスもあり、近隣に類似施設があればそれでよいと思う。しかし、規模の縮小や利用料値上げ、風呂・サウナなど必要な設備の検討などをすることで存続可能なのであれば、それもアリだと思う。民間で同様のものが利用できるのであれば、行政でなくてもいいのかな、と思う
50～59 歳	今の状況で閉鎖状態はもったいないと思う。駐車場などの活用を考えてほしい

50～59 歳	近くにあれば利用していたかもしれない
50～59 歳	プールは子どもの遊び場。小さい子どもがいる家庭は、繰り返し利用していると思う。子ども達のために残す方向で考えてほしい
50～59 歳	憩いの場所はあった方がよいと思う。プールでなくても、子ども達が安心・安全に過ごせる場所が必要。高齢の方も集まったら良い。天気を問わず、市民が集う場所であってほしい
50～59 歳	居住地間での不公平がある。市民が広く健康維持できるように、民間のスポーツジムなどを利用する際に金銭的な補助を市で行えば無駄がないように思う。プールの将来にわたる維持費を考えると、希望者にスポーツジム利用料を助成する方が安く済むし、万が一市が財政難に陥った場合は、簡単に助成を中止できる。しかし、一度大きな箱モノを建設してしまったら、簡単には軌道修正できない。後戻りできない、子孫の代に迷惑をかけるようなことだけはやめてほしい
50～59 歳	泳げないため、回答が役に立つのかわからない
50～59 歳	・民間のプールでは入会費や月額が必要になるが、市民プールだと都度利用ができるので、子どもから高齢者まで自由に利用できることが利点 ・存続しても財政難になるのは困る ・存続するのであれば、老後の健康維持の為に利用したいと思う
50～59 歳	存続させるなら、風呂やサウナなど利用スペースの見直しや利用者の利用料負担の見直しを検討してほしい
60～69 歳	・現在使用できている年齢、回数などで検討してみるとよいのではないか ・プール迄の移動について。場所として、何かの乗り物が必要と思われるのが……行きたいときに行けて、利用できる人がどれだけいるのだろうか。自転車、バイク、車などが無くなると限られると思う ・市民プール自体はあるとよいものだが、維持にかなりの費用を必要とするため、利用できない人にとっては良い思いが出ないかもしれない ・個人としては、自分が利用できない状態でも市民プールに不快感はない。ただ、それを利用し、楽しめる人の割合はどの程度なのだろうか
60～69 歳	市の北部、物集女町にも公共施設があれば、利便性もよく阪急・JR の駅も近く、向日市民のほかの利用者も見込め、施設の収益アップになり、健全経営・税収アップにつながるのではないかと。物集女には何もなくて、プールも遠い、スポーツジムは以前利用していたが続かなかった
60～69 歳	子ども達の楽しめるプールならばとても良いが、大人のためのみはどうかと思う。モラルのない人もたくさんいる。それよりも地域の子供達がみんなで楽しい時間が持てる場所にあれば良いと思う
60～69 歳	自分自身はプールを利用しようと思っていない
60～69 歳	スタッフの態度や口の利き方が悪く、施設がある・ないよりも、存続するならするで考えてもらいたい。お金を取るなら、マナーは絶対に守るべきである。すごく不快な思いをしたため、利用者の減少原因の一つであると考えている
60～69 歳	自分自身は一度も利用したことはないが、多くの人が必要とするのなら残してあげたらよいと思う。個人的な考えとしては、10 億円以上も修繕費にかけるとなると、老人が生きやすく、楽しんで喜んで暮らせるまちづくり、また若い人たちが子どもを産んでも暮らしやすいまちづ

	くりにしてくれたらよいと思う。一部の人だけが喜ぶプールの修繕より、寺戸町の買い物難民を救ってほしい
60～69 歳	民間施設より割安で利用できるのは、市民にとってありがたい。継続するのなら、規模を小さくして駐車場を広くするのが良い。駐車料金は、施設利用者には無料か格安にして、利用者でないものには近隣の相場程度にしてもらいたい。それから、お風呂はなくしてシャワーだけにしたらよいと思う
60～69 歳	プライバシーが守られ、気楽に使用できればよいと思う。行きやすい場にしてほしい
60～69 歳	場所が不便。近くにバスなどの交通があれば集客率も上がる。資金については、クラウドファンディングしてみてもどうか
60～69 歳	もっと向日市民が利用しやすいパンフレットなどを配布すればよいのではないかな。以前から入りにくい感じがするため、せつかくの施設が本当にもったいなく感じる
60～69 歳	向日市の財政困難の中、建設・維持には費用がかかりすぎる。健康維持のため、何もかも公的施設に頼らず、民間の設備を利用し、そのための自己負担もやむを得ないと思う
60～69 歳	収益が赤字ならば廃止すべき。税金の無駄遣いである
60～69 歳	水泳があまり好きではないため、プールをつくるのならヨガやフラダンス、コンサートなどのイベントを開く場所にしてほしいと思っている。この頃はなんでもスマホやPCを使わないと申し込みや参加ができないため、市民が気軽に楽しめる場所があると高齢者にはありがたい
60～69 歳	今のまま建て替えても税金をどんどんつぎ込んでいくだけ。一部を貸すなど、幅広く企業などから使い方を募集してみてもどうか。家から遠く、本当に泳ぎたければ近くにもプールがたくさんできている
60～69 歳	運営が困難であれば廃止も仕方がない
60～69 歳	・ なんとなく、廃止の方向への参考資料やアンケートのような気がする ・ 体育館などを含めた運動施設、また文化的施設、ボランティア活動への補助など、行政側に一体性がなく、無駄が生じている気がする ・ 温水プールはあれば良いと思うが、5万人ほどの市には負担が大きいとも思う
60～69 歳	利用していた人たちが存続を希望しているのであれば、利用していない人たちが納得できる内容で存続するのも良いのではないかな
60～69 歳	・ 財政的に維持が可能であれば、市民サービスとして存続させるのがよいと思う ・ 規模の小さな市であっても、市民が誇れる施設があるのは大変良いことだと思う ・ 赤字が膨らんでいくだけのお荷物になっているのであれば、廃止も視野に入れるしかない ・ 存続に向けて最大限の努力をすることが求められていると感じる。廃止は簡単だが、そうすると二度と作ることはできないだろう
60～69 歳	市民以外の利用者のために市の税金を使って存在するのは疑問に思うが、どうしても存在するのであれば、将来に禍根を残さないように、よほどの策を考えないと難しいのではないかなと思う。昨今は世界情勢も厳しい
60～69 歳	公園として残してほしい
60～69 歳	市民の利用が3割を下回っていることを知って驚いている。多くの市民が利用できる、あるいは納得のできる内容のものにつくりかえる検討を進めた方がよい

60～69 歳	参考資料には、収支計画書がないため判断ができない。計画において、利益がでるなら存続すべきである。計画において損失が出るなら、検討すべきである。まず、温水プールの当初の建設費用について 36 億 8 千万円とあるが、そのうちの用地取得費はいくらなのか不明。用地に関しては減価償却はできないが、土地は立派な市の資産なので、今後の計画では土地は省くべき。収入予想と耐用年数を考慮し、建築費や修繕費・維持管理費を上回る高収入が得られるのであればそのようにすればよいが、収入計画書がないため、我々市民の税金の使途としての判断ができない
60～69 歳	・温水プールができた当初、よく利用していた ・プリペイドカードができた際に購入したが、その後忙しくなったり、向日市を離れた時期があったりで、利用しなくなった。残高が残っているが、返金してもらうことはできないか
60～69 歳	水耕栽培の施設はどうか
70～79 歳	家からの便などを考えると、車も乗らなくなり、利用しにくい
70～79 歳	あまりにも施設運営に高額が必要ならば、その費用を民間の施設の補助に用いて、利用者はそちらを利用してもらうようにすれば良いのではないかと。一から色々な見方で考えてほしいと思う
70～79 歳	何故、最初のスタート時に年間の維持費を考えていなかったのか。うまくいかないから潰す…では、プールも人もかわいそうである
70～79 歳	年を取るほどに、自身の健康のためにプールやジム（健康増進センター）に行きたい気持ちは多々あるのだが…行くまでの交通手段に悩む。地下通路は狭く、自転車でも怖い。道路整備・循環バス等で利用しやすいようにしてほしい
70～79 歳	もっとこれから利用される若い人に意見を聞くべきだと思う
70～79 歳	予算が限られているため、これからの向日市に大きく貢献できないのであれば、廃止もやむを得ないかと思う
70～79 歳	体の調子だけでなく、いろいろな年齢の方との交流で、刺激も心の豊かさもたくさん得て幸せだった。
70～79 歳	遠いため行きづらい
70～79 歳	市民温水プールの存在を知らなかったため、もっと PR してほしい
70～79 歳	立派なプールも欲しいが、学校の施設を思うと、学校より先にプールを……とは言えない気がする。大人になって遠くに住むことになっても、母校を誇れるほどに特色ある立派な学校にしてあげてほしい
70～79 歳	子育て真っただ中の頃は必要に思っていたが、70 代の今では利用できなくなり、不要のものにも見える。それぞれ年齢や環境で考えが違って当然だと思う
70～79 歳	その費用を高齢者が安価で利用できる施設などに考えてほしい。入所・通所などのスタッフ賃金アップなど…
70～79 歳	市民プールまでが遠い
70～79 歳	公営であることの安心感は捨てがたい。市民の利用率の低さが気になる。維持経費の額が参考資料に載っていないように思った。府への移管なども考えてよいのではないかと
70～79 歳	あってもなくても良い、とあまり関心のない市民の方が多いのではないかと。トレーニング室は体育館で十分。サウナや風呂があるとは知らなかったが、無駄ではないか
70～79 歳	もし同じ場所に再建するのであれば、巡回する送迎バスなどでさらに利用しやすくしてもらえるとうれしい

70～79 歳	何億もかけて建てる意味があるのか。同じお金をかけるのであれば、向日市民に本当に役立つものを建ててほしい
70～79 歳	幼児から年配まで使用できる施設として温水プール存続を望む。使用料金負担は多くなっても仕方ないと思っている
70～79 歳	・この二年ほどの減少はコロナの影響ではないか ・運営費がこれほどかかるとなると、存続について少し考えてしまう
70～79 歳	人口減少や財政負担を考えて施設をコンパクトにして他の事業に活用することを希望する
70～79 歳	市民以外の利用者が多いとのこと。市民の健康増進のためにはあまり役立っていないと思われる。高齢者が多くなるため、高齢者が憩える場所をつくってほしい
70～79 歳	長岡京市や大山崎町には公的施設はない。近隣の民間運営施設で十分ではないか
70～79 歳	存続するならば、駐車場の代金、他市からの利用者の料金問題。民間の事業者に願うのはどうか
70～79 歳	子どもからお年寄りまで広く利用できるのに、存続が望ましいかと思ったが、資料を読んでいるうちにわからなくなってしまった。規模を縮小して建て替え、行政サービスにも活用してほしい
70～79 歳	継続するなら料金的大幅アップ・駐車料金の有料化をするべき
70～79 歳	今あるプールを改修するより新しく建てる方が安いのであれば、プールより介護センター（老人ホーム）等もっと多くの市民が利用できる必要な物を考えた方が良いのではないか
80 歳以上	十分に年齢もとっているため、今となっては利用することはないが、若い年齢の人のためにも存続してほしいと願う。親子でプールを楽しめるため、なくすのはもったいないと感じる
80 歳以上	・老人福祉のための施設で、気軽に利用できる方向で考えたらよいと思う ・不便で行きにくい、交通バスが少ないので一部の人たちの利用になっているのではないか ・人口減少の中、市民の税負担が大きくなるのではないか ・民間委託か、完全に民間に移すのも有りかと考える
80 歳以上	少し立派すぎると思う。あること自体には賛成である
80 歳以上	取り壊して、規模を縮小し、利用料金や駐車場の有料化などを見直して、維持管理ができるように。浴室やサウナは必要なく、シャワーのみで十分ではないか

④問 2 で回答がなかった方 (8 件)

年齢区分	意見・要望
40～49 歳	プールの存在を知らなかったのと、子どもがまだ小さいため、しばらくは使用しないが、今後は利用するかもしれないためなんとも言えない。ただ、近くに市民プールがある町というのは、良い町なのではないかと思っている。他にも、図書館や子どもが遊びに行ける場がたくさんあれば、向日市に人が集まると思う
40～49 歳	市民のためのプールとして、親子でいつでも行けるという形が必要なのではないか。経営としては、官民一体というのは無理なのだろうか
70～79 歳	安いのが一番の利点だが、プールだけにこだわるより、この先老朽化による他の施設にも問題が出てくるかと思う。避けて通るわけにはいかないため、断腸の思いだろうがここは決断の時かと考える。向日市がよくなるためにはつらい決断も、良い決断だったと振り返ったときに思えたらうれしい
70～79 歳	ジムだけでも存続してほしい。駐車場は有料でもよいと思う
70～79 歳	存続には賛成する。郵送された参考資料、民間事業者からの意見 P 4 (4 項) に賛同する。福利厚生施設として、市民の健康を増進し、生活を豊かにする？自分自身、市民プールや健康センター等は一度も利用したことがなく、どこにあるかすら知らない。今後についても利用は考えていない。他県・他の自治体に自慢できる、特別格別な設備や建物は必要ない。向日市・向日市民の身の丈に合った施設で良い。施設の利用者(受益者)には相応の負担は当然の事。最も費用が少なく、収入以下の経費で施設の維持ができる事を願う
70～79 歳	向日市民であれば、その日に行って住所・名前を書くだけでプールに入れる。お金は例えば 300 円・500 円だったらその日その時間には入れるくらいのことはしてほしい。面倒くさいことを言われると、プールに行く気がなくなる
80 歳以上	あまりにも維持管理の負担が大きすぎる。一概に廃止というよりは、現在の三分の一程度に縮小してはどうか
80 歳以上	健康増進センターには 20 年近くお世話になった。おかげさまで健康な日々を送れたため、ぜひ再開してほしいと願っている

市民温水プールに関する
アンケート調査
結果報告書

発行：向日市 市民サービス部 地域福祉課
TEL：931-1111
FAX：935-1346

発行年月：令和4年8月

○向日市民温水プールあり方検討会議設置要綱

令和5年3月31日
告示第44号

(設置)

第1条 向日市民温水プールの今後のあり方を協議するため、向日市民温水プールあり方検討会議（以下「検討会議」という。）を設置する。

(協議事項)

第2条 検討会議は、向日市民温水プールの今後のあり方を協議するものとする。

(検討会議の構成員)

第3条 検討会議の委員は、次に掲げる者のうちから市長が委嘱する。

(1) 学識経験を有する者

(2) 市民又は利用者の代表

(3) その他市長が必要と認める者

2 委員の任期は、委嘱の日から委嘱の日の属する年度の翌年度末までとする。ただし、委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(検討会議の運営)

第4条 検討会議に会長1人及び副会長1人を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選により定める。

3 会長は、検討会議を代表し、会務を総括する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

5 会長及び副会長の任期は、委員の任期による。

6 検討会議は、委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない。

7 議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数の場合は会長が決するところによる。

8 会長は、必要があると認めるときは、委員以外の者の出席を求め、意見又は説明を聴くことができる。

9 検討会議は原則として公開とする。

10 検討会議の庶務は、地域福祉課において処理する。

(その他)

第5条 この要綱に定めるもののほか、検討会議の運営に関して必要な事項は、会長が別に定める。

附 則

この告示は、令和5年4月1日から施行する。